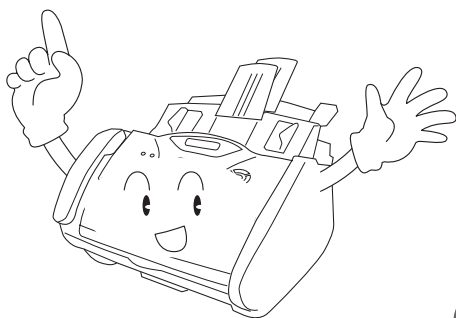
有効にご活用いただくためにに必ずお読みください。

# ファクシミリ
# 取扱説明書
# MFC-4800J

基本の準備と設定だけですぐ使えます。

## やりたいこと 目 次

やりたいこと別の一覧があります。

❾ ページをご覧ください。

**お客様相談窓口 0120-143410**

この商品の取り扱い・操作についてご不明な点がございましたら、上記お客様相談窓口にお気軽にお申し付けください。
受付時間 9:00～18:00（土曜日のみ17：00まで） 営業日 月曜日～土曜日
（日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます）

※本書は、なくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

versionB

# 安全にお使いいただくために

このたびは本機をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

**注意**　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 特定しない禁止事項 | | 分解してはいけません | | 水に濡らしてはいけません | | 火気に近づけてはいけません |
| | 特定しない義務行為 | | 電源プラグを抜いてください | | アースをつないでください | | |
| | 特定しない危険通告 | | 感電の危険があります | | 火災の危険があります | | |

●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お客様相談窓口0120-143410へご連絡ください。

●本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●このファクシミリの設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもとになりますので絶対におやめください。

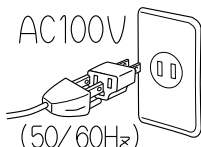
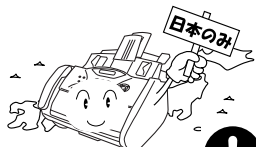
●取扱説明書等、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店へ申し出ていただければ購入できます。

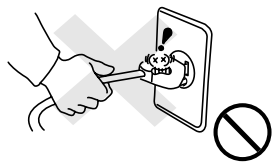
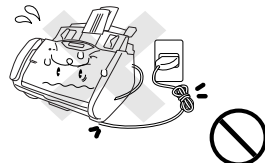
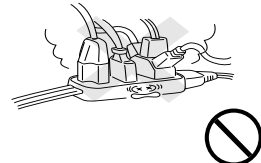
ご使用の前に、次の「警告・注意・お願い」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

## ● 電源について

火災や感電、やけどの原因になります。

### 警告

電源は AC100V、50Hz または 60Hz でご使用ください。

国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。

ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。

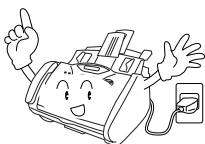
電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずにプラグの本体（金属でない部分）を持って抜いてください。

電源コードの上に重い物をのせたり、引っぱったり、たばねたりしないでください。

タコ足配線はしないでください。

感電や火災防止のため、電源コード及び 3 極 -2 極変換アダプタ（日本国内でのみ使用可）は、必ず付属のものを使用してください。

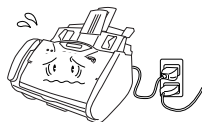
感電防止のため必ず保護接地を行ってください。付属の電源コードは、保護接地端子のある 3 極の電源コンセントに接続するか、付属の 3 極 -2 極変換アダプタ（日本国内でのみ使用可）を使用して、電源コンセントの保護接地端子に変換アダプタのアース線を確実に接続してください。

保護接地線のない延長用コードを使用しないでください。保護動作が無効になります。

## 注意

雷がはげしいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。
また、電話機コードを本機から抜いてください。

電源コードはコンセントに確実に差し込んでください。

## お願い

電源コンセントの共用にはご注意ください。
複写機などと同じ電源はさけてください。

## ● このような場所に置かないで

以下の場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。

## 警告

**湿度の高い場所**
ふろ場や加湿器のそばなど。

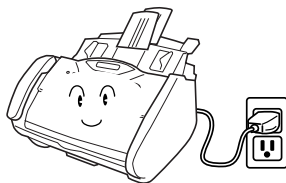
**超音波式加湿機を使用している部屋に本機を設置しないでください。**
内部が汚れ、読取りや記録不良の原因になります。

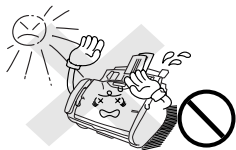
**アース線を取り付けてください**
万一漏電した場合の感電防止や外部からの電圧（雷など）がかかったとき本機を守るため、アース線を取り付けてください。取り付け方については、19ページの「本体をセットする」を参照してください。

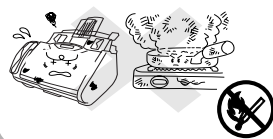
■取り付けられるところ

●電源コンセントのアース端子
●銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
●設置工事（第３種）が行われている設置端子

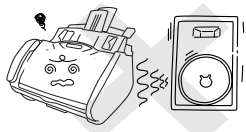
■絶対に取り付けてはいけないところ

●電話専用アース線
●避雷針

## 注意

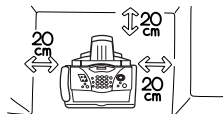
**温度の高い場所**
直射日光の当たるところ、暖房設備のそばなど

**不安定な場所**
ぐらついた台の上や傾いたところなど

**油飛びや湯気の当たる場所**
調理台のそばなど

## お　願　い

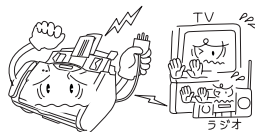
**いちじるしく低温な場所**
製氷倉庫など

**磁気の発生する場所**
テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど

**高温、多湿、低温の場所**
本機をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。

**温度：10 ～ 32.5 ℃**
**湿度：20 ～ 80%**
**（結露なし）**

**壁のそば**
このファクシミリを正しく使用し性能を維持するために設置スペースを確保してください。

**傾いたところ**
水平な机、台の上に設置してください。傾いたところに置くと正常に動作しない場合があります。

**◎急激に温度が変化する場所**
**◎風が直接あたる場所（クーラー、換気口など）**
**◎ホコリ、鉄粉や振動の多い場所**
**◎換気の悪い場所**
**◎揮発性可燃物やカーテンに近い場所**

**電波障害時の対処**
近くに置いたラジオに雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したり、コードレス電話の子機で通話できなくなる場合があります。その場合は電源コードをコンセントから１度抜いてください。電源コードを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。
・本体をテレビから遠ざける。
・本体またはテレビなどの向きを変える。
・本体をコードレス電話の親機から遠ざける。

## ● もしもこんなときには

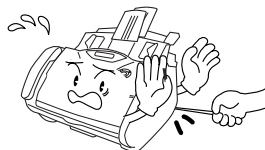
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

**警告**

**煙が出たり、異臭がしたとき**
すぐに電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

**本機を落としたり、キャビネットを破損したとき**
電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

**内部に水が入ったとき**
電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

**内部に異物が入ったとき**
電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

## ● その他のご注意

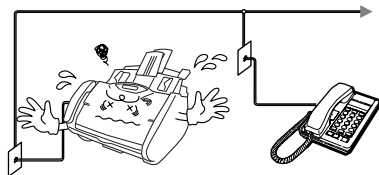
故障や火災、感電の原因となります。

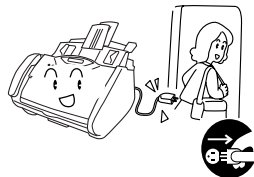
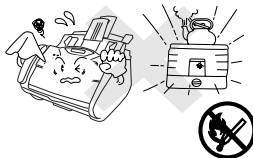
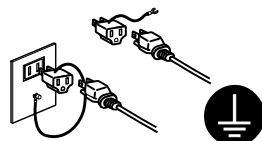
**警告**

**分解しないでください。**
法律で罰せられることがあります。

**改造しないでください。**
修理などは販売店にご相談ください。法律で罰せられることがあります。

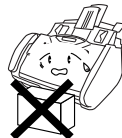
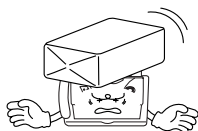
**本機の上に水、薬品などを置かないでください。**

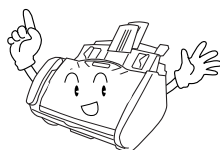
１つの電話回線に並列接続すると通信エラーなどの原因になりますのでおやめください。

## 注意

**長期不在するときは電源コードをコンセントから抜いてください。**

**火気を近づけないでください。**
故障や火災・感電の原因となります。

**アース線について**
万一漏電した場合の感電防止や外部から雷などの電圧がかかったときに本機を守るため、アース線を取り付けてください。

## お　願　い

**落下、衝撃を与えないでください。**

**動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。**

**記録紙の排出の妨げになりますので本体前方には物を置かないでください。**

**このファクシミリの上に重い物を置かないでください。**

**室内温度を急激に変えないでください。**
装置内部が結露するおそれがあります。

**指定以外の部品は使用しないでください。**

**本機に貼られているラベル類ははがさないでください。**

**梱包されている部品は必ず取り付けてください。**

**海外通信をご利用になるとき**
回線の状況により正常な通信ができない場合があります。

**NTT の支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので、最寄りの NTT の支店、営業所へご相談ください（116 番）。**

## ● 停電がおきたときは

### お　願　い

**停電時にはデータの種類によってただちに消去されるデータがあります。**

●消去されないデータ
・短縮ダイヤル
・グループダイヤル
・各種登録・設定の内容

●消去されるデータ
以下のデータは、停電後 2～3 日は保存されます。
・送信メモリー文書
・通信管理レポート
・受信メモリー文書

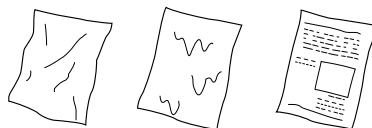
**停電復旧時について**
1 日以上停電が続いた場合は、日付の再設定をしてください。

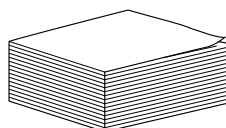
**停電中はファクスの送受信ができません。**

外付電話機は機器によって使用できます（外付電話機の取扱説明書をご覧ください）。本機の機能はすべて使用できなくなります。

## ● 記録紙について

### お　願　い

**使用する記録紙にはご注意ください。**
しわ、折れのある紙、湿っている紙などは使用しないでください。

  

**保管は直射日光、高温、高湿を避けてください。**

# 本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

## マークについて

| | |
|---|---|
| 注意 | 本機をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。 |
| 補足 | 本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。 |
| メモ | 知っていると役に立つ情報や、関連事項の参照ページをご案内しています。 |

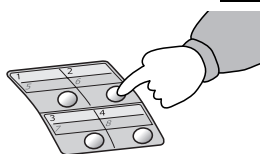
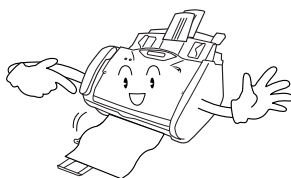
## 商標について

Windows®95 の正式名称は、Microsoft® Windows® 95 operating system です。
Windows® 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 2000 の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 operating system です。
Windows® Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows NT® 4.0 の正式名称は、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 です。
Windows®XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
本文中では、OS 名称を略記しています。
Microsoft 、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh は、アップルコンピュータ社の商標です。
Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
Adobe、Photoshop は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

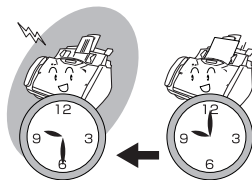
# やりたいこと目次

あなたの「〇〇したい」から該当ページを参照できます。
各機能をご利用になる前に「第２章　ご使用前の準備」を必ずお読みください。

## ファクス

● 簡単に送信したい。
（短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル、電話帳）P. 65

● 自動で受信したい。
（自動受信）P. 89

● ファクスをきれいに送りたい。
P. 74

ファクス画質

● 指定した時刻に送信したい。
（タイマー送信）P. 84

● きちんと送信されたかどうかを確認したい。
（通信管理レポート）
P. 121

ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ

ｼﾞｺｸ : 00-05-15-15:25

| No. | ﾋﾂﾞｹ | ｼﾞｺｸ | ｱｲﾃｻｷ ﾒｲｼｮｳ | ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ | ﾍﾟｰｼﾞ | ｹｯｶ | ｺﾒﾝﾄ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| #01 | 05-15 | 12:04 | ﾀﾅｶ ﾖｳｺ | 24 | 01 | OK | TX ECM |
| #02 | 05-15 | 12:07 | ｲﾉｳｴ ﾀﾂﾔ | 24 | 01 | OK | TX ECM |
| #03 | 05-15 | 12:26 | ｻｶｲ ﾋﾃﾞｵ | 24 | 01 | OK | TX ECM |
| #04 | 05-15 | 12:27 | ｲﾄｳ ｻﾄｺ | 24 | 01 | OK | TX ECM |
| #05 | 05-15 | 12:31 | ｽｽﾞｷ ｴｲｲﾁ | 24 | 01 | OK | TX POL ECM |
| #06 | 05-15 | 13:45 | ﾀﾅｶ ﾏｺﾄ | 27 | 01 | OK | TX ECM |
| #07 | 05-15 | 13:47 | ｶﾄｳ ﾏﾘｺ | 25 | 01 | OK | TX ECM |
| #08 | 05-15 | 13:55 | ﾀﾅｶ ｲﾁﾛｳ | 25 | 01 | OK | TX ECM |
| #09 | 05-15 | 14:52 | ｻﾄｳ ｺｳｼﾞ | 25 | 01 | OK | TX ECM |

SO : ｿｳﾌｼｮ
ME : ﾃﾞﾝｺﾞﾝﾒｯｾｰｼﾞ
POL : ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
RET : ﾘﾄﾘｰﾊﾞﾙ
TX : ｿｳｼﾝ
RX : ｼﾞｭｼﾝ

● 送付書を付けて送信したい。P. 77

==ｿｳﾌｼｮ==

TO: ________

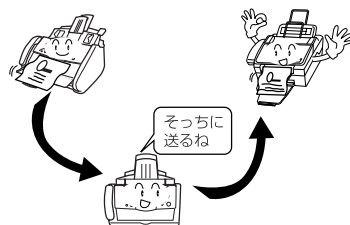
FROM: ________
FAX:
TEL:
ﾍﾟｰｼﾞ ｵｸﾘﾏｽ

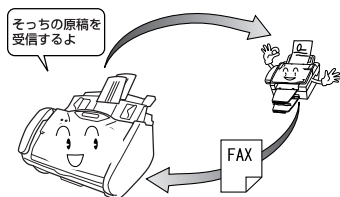
ｺﾒﾝﾄ:

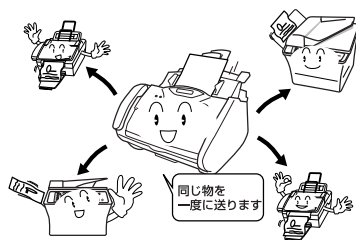
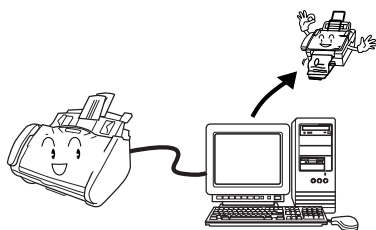
● 海外に送信したい。

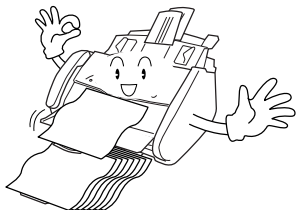
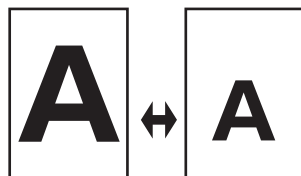
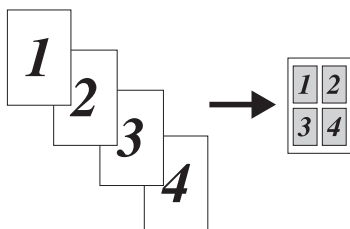
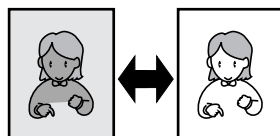
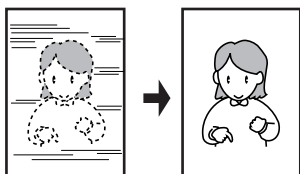
（海外送信） P. 83

● 外出先で受信したい。

（ファクス転送） P. 116

● 受信側ファクシミリからの操作で原稿を受け取りたい。

（ポーリング） P. 105

● 複数の相手に同じ文書をまとめて送信したい。

（同報送信） P. 80

● PC からファクスを送信したい。 P. 166

## コピー

● たくさんの文書を連続コピーしたい。
（自動原稿送り装置）
P. 127

● 拡大 / 縮小コピーしたい。P. 130

● 複数の文書を 1 枚にコピーしたい。
(2in1、4in1) P. 135

● 画質を明るく（暗く）したい。
P. 133 P. 138

● 画質をきれいにコピーしたい。P. 132

## プリンタ

● プリンタとして使いたい。P. 142

# 目　次


本書の表記 ........ 7
やりたいこと目次 ........ 8

## 第 1 章　操作パネル........ 7

各部の名称とはたらき ........ 8

## 第 2 章　ご使用前の準備........ 11

商品を確認する ........ 12
- 付属品を確認する ........ 12

記録紙について ........ 13
- 記録紙の規格 ........ 13
- セットできる記録紙枚数 ........ 13
- 使用できる記録紙 ........ 14
- 推奨する記録紙 ........ 14
- 記録紙の印刷可能範囲について ........ 15

接続をする ........ 17
- ドラムユニットを取り付ける ........ 17
- 本体をセットする ........ 19

回線種別を設定する ........ 23
- 自動で回線種別を設定する ........ 23
- 手動で回線種別を設定する ........ 24
- 利用中の電話回線の種別を調べる ........ 25

ご使用前の設定をする ........ 26
- 日付・時刻を合わせる〔時計セット〕........ 26
- 名前と電話番号を登録する〔発信元登録〕........ 27
- 発信元登録を消去する ........ 28
- 文字入力をする ........ 29
- 受信モードを選ぶ ........ 31
- 本機の接続イメージ ........ 32

## 第 3 章　ご使用前の基本設定........ 37

ディスプレイの特徴 ........ 38
- ディスプレイについて ........ 38

機能設定する ........ 39
- ナビゲーションキーを使った基本操作 ........ 39
- ダイヤルボタンを使った基本操作 ........ 40

機能一覧 ........ 40

基本設定を変更する ........ 46
着信ベルの音量を調節する ........ 46
キータッチ音量を変える〔キータッチ & ブザー音量〕 ........ 47
スピーカー音量を調節する ........ 48
受話器の音量を調節する ........ 49
トナーを節約する ........ 50
スリープモードを設定する ........ 51
印刷濃度を調節する ........ 52
ディスプレイの表示言語を切り替える〔英語・日本語〕 ........ 53

第 4 章 ファクス送信 ........ 55

ファクスを送信する前に ........ 56
原稿サイズ ........ 56
原稿の読み取り範囲 ........ 57

ファクスを送信する ........ 58
ADF から送信する〔自動送信〕 ........ 58
ファクスを手動で送信する ........ 60
ファクスを送信する〔デュアルアクセス〕 ........ 60
オンフックボタンを押してダイヤルしたとき ........ 60
ファクス送信を途中で止める ........ 61

便利にダイヤルする ........ 62
ダイヤルのしかた ........ 62
同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕 ........ 63
電話帳を使って送信する ........ 64

電話帳を作成する ........ 65
ワンタッチダイヤルを登録する ........ 65
ワンタッチダイヤルを変更する ........ 67
短縮ダイヤルを登録する ........ 68
短縮ダイヤルを変更する ........ 69
グループダイヤルを登録する ........ 70
グループダイヤルを変更する ........ 72

ファクスを便利に送信する ........ 74
画質を設定する〔一時的に変更する〕 ........ 74
画質を設定する〔設定内容を保持する〕 ........ 75
原稿濃度を設定する ........ 76
送付書を付けて送信する ........ 77
送付書のオリジナルコメントを登録する ........ 79
同じ原稿を数か所に送信する〔順次同報送信〕 ........ 80
原稿を直接送信する〔リアルタイム送信〕 ........ 82

海外へ送信する〔海外送信モード〕........................................... 83
指定した時刻に送信する〔タイマー送信〕.................................... 84
送信する時刻を固定する〔タイマー送信時間〕.............................. 85
メモリー内の文書を同じ相手に一括送信する〔取りまとめ送信〕... 85
送信待ち確認・送信待ちファクス解除 .......................................... 86

## 第 5 章　ファクス受信 ...................................... 87

### ファクスを受信する............................................. 88
受信モードについて ......................................................................... 88
受信モードを選ぶ ............................................................................ 92
メモリー代行受信について.............................................................. 93
着信ベル回数を設定する ................................................................. 93
呼び出しベル回数を設定する .......................................................... 94
手動でファクスを受信する.............................................................. 95
親切受信で受信する ......................................................................... 96
外付電話機からファクスを受信させる〔リモート起動〕................ 97
リモート起動設定のしかた.............................................................. 98
自動的に縮小受信する ..................................................................... 99

## 第 6 章　ファクスの応用機能........................ 101

### 相手の操作で原稿を送信する.............................. 102
ポーリング送信の設定 ................................................................... 102
機密ポーリング送信の設定............................................................ 103

### 本機の操作で相手の原稿を受信する.................... 105
ポーリング受信の設定 ................................................................... 105
機密ポーリング受信の設定............................................................ 106
時刻指定ポーリングの設定 〔タイマーポーリング受信〕............ 107

### メモリー受信を設定する..................................... 108
メモリー受信を設定する ............................................................... 108
メモリーに入ったファクスを出力する ......................................... 109

### 電話呼び出し機能とファクス転送 ....................... 110
電話呼び出し機能について............................................................ 110
電話呼び出し機能の設定を行う.................................................... 110
ファクス転送について ................................................................... 111
ファクス転送の設定を行う............................................................ 112

### 外出先から本機を操作する : リモコンアクセス ..... 113
リモコンアクセスをする ............................................................... 113
リモコンアクセスで設定できる機能〔コマンド一覧〕.................. 115
暗証番号を設定する....................................................................... 118

# 第 7 章 レポート・リスト ............................ 119

## レポート・リストのプリント ............................. 120

機能案内リストをプリントする ............................. 121
ダイヤルリストをプリントする ............................. 121
通信管理レポートをプリントする ............................. 121
送信レポートをプリントする ............................. 122
設定内容リストをプリントする ............................. 122
消耗品シート（ご注文シート）をプリントする ............................. 122

# 第 8 章 コピー ............................ 123

## コピーをする前に ............................. 124

コピー機能について ............................. 124
原稿サイズ ............................. 125
コピーの読み取り範囲 ............................. 125

## コピーをする ............................. 127

ADF を使ってコピーする ............................. 127

## コピー設定：一時的に設定する ............................. 129

拡大・縮小コピーをする ............................. 130
コピー枚数を設定する ............................. 131
原稿のタイプを設定する ............................. 132
コピーの明るさを設定する ............................. 133
複数部コピーをする〔スタック／ソートコピー〕 ............................. 133
マルチレイアウトコピー ............................. 135
記録紙のタイプを設定する ............................. 136

## コピー設定：設定内容を保持する ............................. 137

お買い上げ時の設定を変更する〔原稿タイプ〕 ............................. 138
お買い上げ時の設定を変更する〔コントラスト〕 ............................. 138
お買い上げ時の設定を変更する〔記録紙タイプ〕 ............................. 139

# 第 9 章 プリンタとして使う ............................ 141

## プリンタとして使用する前に ............................. 142

ドライバをインストールする ............................. 142
プリンタとしての特長 ............................. 142

## プリンタドライバの設定をする：Windows® ............................. 145

## ドライバでの設定内容：Windows®95/98/98SE/Me/XP/NT4.0 ............................. 147

[ 基本設定 ] タブでの設定項目 .................................................. 147
[ 拡張機能 ] タブでの設定項目 .................................................. 150
[ サポート ] タブでの項目 ......................................................... 158

ドライバでの設定内容
：Windows®2000 ................................................ 159
[ レイアウト ] タブでの設定項目 ............................................... 159
[ 用紙／品質 ] タブでの設定項目 ............................................... 160
[ デバイスの設定 ] タブでの設定項目 ......................................... 162

プリンタドライバの設定をする
：Macintosh™ ................................................... 163
Macintosh™ でプリンタドライバの設定をする ......................... 163

**第 10 章 PC-FAX ...................................... 165**

PC-FAX を利用する：Windows®95/
98/98SE/Me/2000/XP/NT® 4.0 .......................... 166
PC-FAX を利用してファクスを送信する ..................................... 166
ファクススタイル画面を使用してファクス送信する ................... 166
シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する ................... 168

PC-FAX を使用するための設定：Windows®95/98/
98SE/Me/2000/XP/NT®4.0 ................................ 169
個人情報を設定する .................................................................. 169
送信の設定 ................................................................................ 170
電話帳にメンバーを登録する ..................................................... 171
ワンタッチダイヤルに相手先を登録する .................................. 172
登録した相手先をワンタッチダイヤルから削除する ................... 173
同報送信用のグループを設定する ............................................. 174
メンバー情報を編集する ........................................................... 175
メンバーやグループを削除する ................................................. 176
電話帳をエクスポートする ........................................................ 176
電話帳にインポートする ........................................................... 178
送付書を作成する ...................................................................... 179

PC-FAX を使用する：Macintosh™ ..................... 181
PC-FAX を利用してファクスを送信する ..................................... 181
Macintosh™ のアプリケーションからファクスを送る ............... 182
電話帳に宛先を新規登録する .................................................... 183
新規グループを登録する ........................................................... 184

# 第 11 章日常のお手入れ.................................. 185

## 紙詰まりについて ................................................ 186

紙詰まりのときのメッセージ ..................................................... 186
コントロールパネルの前側で原稿が詰まったときは.................... 186
給紙カセットで記録紙が詰まったときは..................................... 187
記録紙が本機内部で詰まったときは............................................ 188

## 本体の掃除 ........................................................... 190

キャビネット内部のお手入れ ...................................................... 190
プリンタのお手入れ.................................................................... 192
ドラムユニットのお手入れ.......................................................... 193
トナーカートリッジの交換.......................................................... 194
ドラムユニットの交換 ................................................................ 198

# 第 12 章困ったときには.................................. 201

## 困ったときには .................................................... 202

こんなときには............................................................................ 202
エラーメッセージ ....................................................................... 203
本機で問題が発生した場合.......................................................... 206
故障かな？と思ったら ................................................................ 213

## 本装置の規格......................................................... 223

国際エネルギースタープログラム ............................................... 223
VCCI 規格 .................................................................................... 223

## 本装置の仕様......................................................... 224

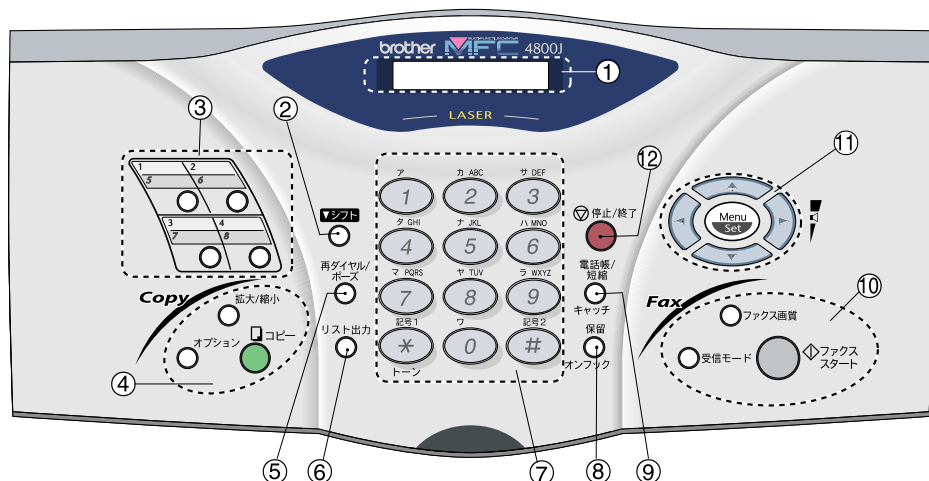
ファクシミリ ............................................................................... 224
プリンタ ...................................................................................... 225
電源と使用環境............................................................................ 225

## 主な仕様................................................................ 226

コンピュータ環境〔Windows®〕................................................ 226
コンピュータ環境〔Macintosh™〕............................................. 227

# 操作パネル

■ 各部の名称とはたらき .................................................................. 8

# 各部の名称とはたらき

## ①ディスプレイ

月日、時刻、宛先、電話番号、各動作の状態やエラーメッセージを表示します。

## ②シフトボタン

ワンタッチダイヤルの 5 ～ 8 を登録またはダイヤルするときにこのボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。

## ③ワンタッチボタン

あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたはグループダイヤルを使用するときに押します。

付属の宛名ラベルをご利用ください。

## ④コピー機能

- **拡大 / 縮小ボタン**

  拡大 / 縮小コピーをするときに押します。P. 130

- **オプションボタン**

  コピーの設定を一時的に変更するときに押します。P. 129

- **コピーボタン**

  原稿をコピーするときに押します。

## ⑤再ダイヤル / ポーズボタン

最後にダイヤルした番号を再びダイヤルするときに押します。P. 63

ダイヤル番号の入力時にハイフンを入れるときに押します。

**⑥リスト出力ボタン**

各種レポートやリストを印刷します。P. 121

**⑦ダイヤルボタン**

ダイヤルするときや発信元データなどの文字入力をするときに押します。

**⑧保留／オンフックボタン**

電話中に保留したいときに押します。
受話器を上げずにダイヤルするときに押します。

**⑨電話帳 / 短縮／キャッチボタン**

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルやグループダイヤルに登録されている電話番号を検索するときに押します。P. 64
あらかじめ登録した短縮ダイヤルをダイヤルするときに押します。
キャッチホンを受けるときに押します。

**⑩ファクス機能**

- **ファクス画質ボタン**

  ファクス送信する原稿に合わせて、解像度を一時的に設定するときに押します。P. 74

- **受信モードボタン**

  受信モードを変更するときに押します。P. 92

- **ファクススタートボタン**

  ファクスを送信するときや受信するときに押します。

**⑪ナビゲーションキー** P. 39

- Menu Set

  各種機能の設定に入るとき、各種データを登録するときに押します。

- 

  メニューから選択肢を指定する際、これらのボタンを押せば、前・次のレベルのメニューに移動します。

  また、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルとして登録されている番号に対する名称をアルファベット順に検索する場合にも、これらのキーを使用できます。

- 

  メニューや選択項目をスクロールするときに押します。

  スピーカーの音量、受話器の音量、または着信ベルの音量を調節するときも、これらのキーを使用します。

**⑫停止 / 終了ボタン**

ファクス送信または操作を中止するとき、機能設定を解除するときに押します。

2章

# ご使用前の準備


■ 商品を確認する........................................12
付属品を確認する........................................12

■ 記録紙について........................................13
記録紙の規格........................................13
セットできる記録紙枚数........................................13
使用できる記録紙........................................14
推奨する記録紙........................................14
記録紙の印刷可能範囲について........................................15

■ 接続をする........................................17
ドラムユニットを取り付ける........................................17
本体をセットする........................................19

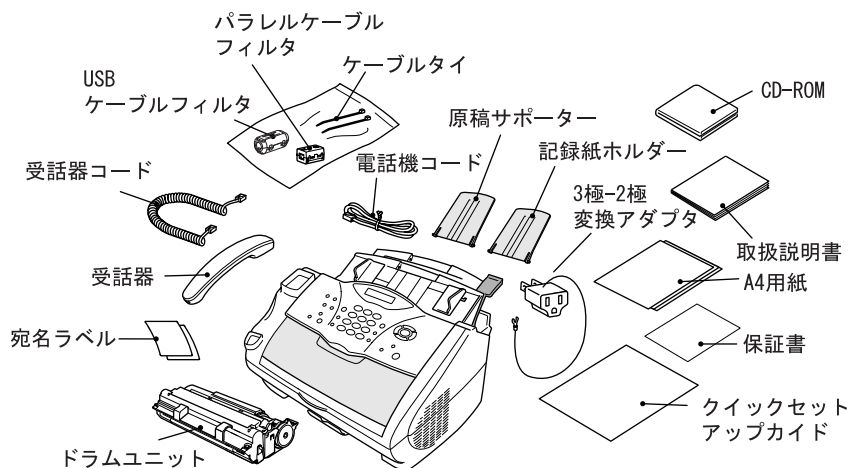
■ 回線種別を設定する........................................23
自動で回線種別を設定する........................................23
手動で回線種別を設定する........................................24
利用中の電話回線の種別を調べる........................................25

■ ご使用前の設定をする........................................26
日付・時刻を合わせる〔時計セット〕........................................26
名前と電話番号を登録する〔発信元登録〕........................................27
発信元登録を消去する........................................28
文字入力をする........................................29
受信モードを選ぶ........................................31
本機の接続イメージ........................................32

# 商品を確認する

## 付属品を確認する

次の物が揃っているか確かめてください。万一、足りない物があったり、取扱説明書に落丁があったときは、お客様相談窓口 0120-143410 にご連絡ください。

メモ

●「クイックセットアップガイド」には、簡単に設定できるように設定の順序や方法が記載されています。

注意

■ 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お客様相談窓口 0120-143410 までご連絡ください。

■ お客様または第三者が本製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ 本製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

■ 本体を輸送するときは、付属品と本体を同梱し、確実に固定して輸送してください。固定しないで輸送した場合、保証の対象外になることがあります。

# 記録紙について

## 記録紙の規格

| | 普通紙 |
|---|---|
| 坪量 | 64g/m$^2$ ～ 158g/m$^2$ |
| 厚さ | 0.08mm ～ 0.2mm |
| 水分含有量 | 重量の 4% ～ 6% |

## セットできる記録紙枚数

給紙カセットの最大積載は、高さ 22mm（用紙ガイドの▼マークまで）です。

| 種類 | 記録紙枚数 |
|---|---|
| 普通紙（75g/m$^2$） | 約 200 枚 |
| OHP シート | 1 枚 |
| はがき | 約 30 枚 |
| 封筒 | 約 10 枚 |

メモ

● 排紙トレイにスタックできる枚数は普通紙（75g/m$^2$）の場合、約 50 枚です。

## 使用できる記録紙

本機では下記のサイズの記録紙が使用できますが、受信したファクスは A4 サイズでのみプリントできます。

| 種類 | サイズ |
|---|---|
| 普通紙 | A4、レター、B5、リーガル、A5、A6 |
| OHP シート | A4、レター |
| はがき | 官製はがき（100mm × 148mm） |
| 封筒 | 洋形 4 号（105mm × 235mm）、<br>洋形定形最大（120mm × 235mm） |
| システム手帳用紙 | バイブルサイズ |

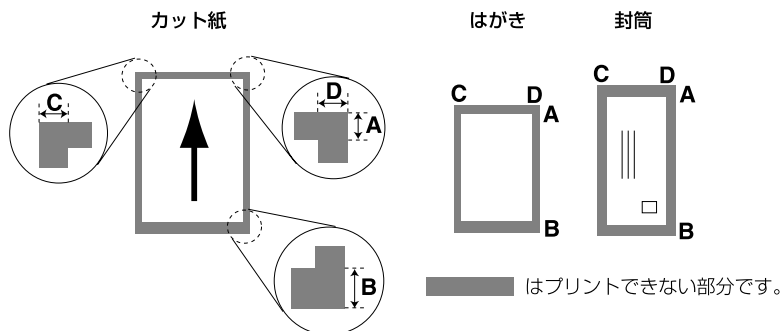
## 推奨する記録紙

- 富士ゼロックスオフィスサプライ P 紙（64g/m$^2$）
- NBS リコーマイペーパ（64g/m$^2$）

メモ

- 特殊なサイズや種類の記録紙を使用する場合は、最初にテストを行ってください。
- 宛名ラベル、OHP シートなどは、レーザープリンタ用の物をお使いください。
- 最高のプリント品質を得るために、たて目用紙を使用されることをお奨めします。
- 本機は再生紙を使用できます。

# 記録紙の印刷可能範囲について

記録紙にはプリントできない部分があります。
以下の図と表に、プリントできない部分を示します。なお、図と表の A、B、C、D はそれぞれ対応しています。

（単位：mm）

| 種類 | サイズ | モード | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|---|---|
| カット紙 | A4 | ファクス | 4.5 | 4.5 | 2.0 | 2.0 |
| | | コピー | | | 3.0 | 3.0 |
| | | プリンタ | | | 3.5 | 3.5 |
| | エクゼクティブ | プリンタ | 4.5 | 4.5 | 3.5 | 3.5 |
| オーガナイザー | バイブルサイズ | プリンタ | 4.5 | 4.5 | 3.5 | 3.5 |
| はがき | 官製はがき | プリンタ | 4.5 | 4.5 | 3.5 | 3.5 |
| 封筒 | 洋形定型最大<br>洋形４号 | プリンタ | 4.5 | 4.5 | 3.5 | 3.5 |

メモ

● プリントできない部分の数値（表中の A、B、C、D）は、概算値ですので、目安として参考にしてください。また、お使いの記録紙やプリンタドライバによっても値が変わってきます。

注意

■ 一度、カラーコピーをした記録紙、またはカラーレーザープリンタで印刷した記録紙、インクジェット紙は絶対に使用しないでください。

■ 一部をすでに使用した宛名ラベルの印刷は避けてください。故障の原因になります。

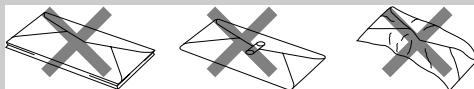
■ ビニールコーディングされた記録紙を使用しないでください。

■ 極端に滑らかな記録紙は使用しないでください。

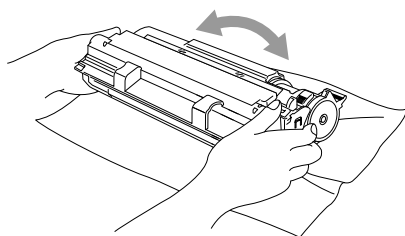
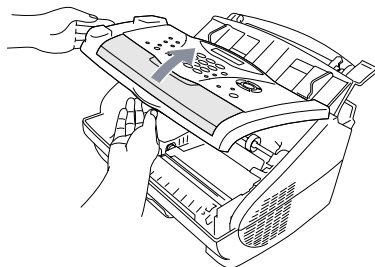
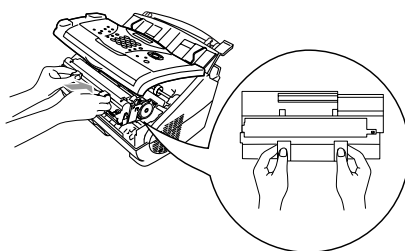
■ ルーズリーフなど穴の開いた記録紙を使用する前には、紙をよくさばいて、給紙がスムーズになるようにしてください。

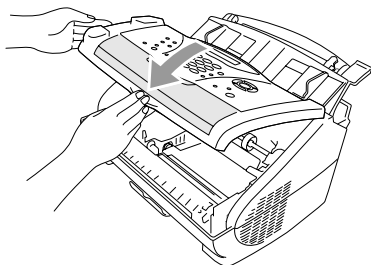
■ 記録紙がカールしていないか、確認してください。もしカールしている場合は、まっすぐにしてからご使用ください。カールしたままの記録紙をご使用になりますと、紙詰まりなどの原因になります。

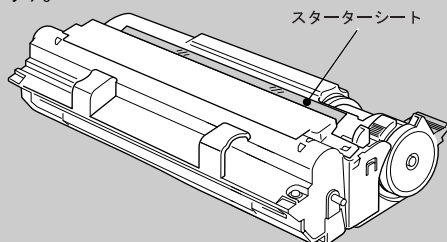
■ 以下のような封筒は使用しないでください。

- 長形封筒
- 傷がついていたり、カールしていたり、しわが入っている封筒
- 規格外の封筒
- 表面に光沢があったり、表面がすべりやすい封筒
- 留め金付きの封筒
- エンボス加工（紙に凹凸がある）を施した封筒
- ふたに粘着のりが付いた封筒
- 一度レーザープリンタでプリントされた封筒
- マチ付きの封筒
- 内側にすでに印刷されている封筒
- きちんと折り目が付いていない封筒
- 積み重ねたときに、一定に積み重ねられない封筒

# 接続をする

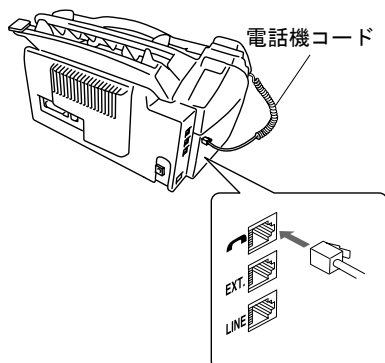
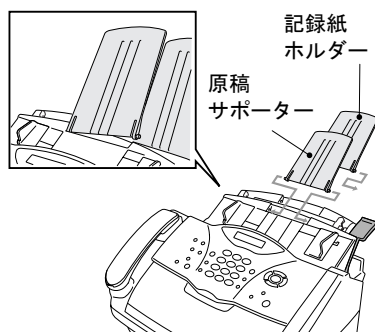
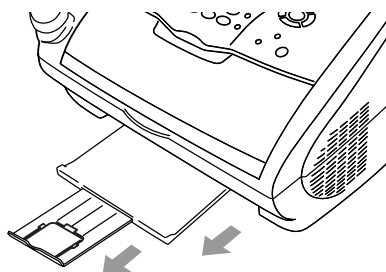
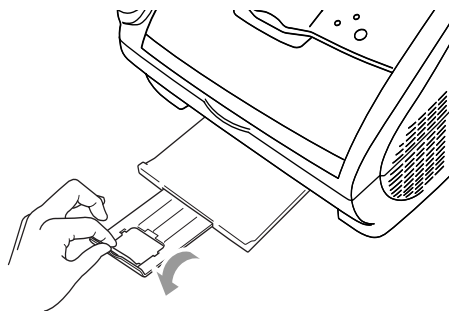
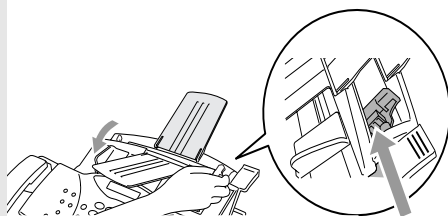
## ドラムユニットを取り付ける

**1.** ドラムユニットを袋から取り出して、トナーがカートリッジ内で均一に分散するように、左右に軽く5、6回振ります。

**2.** トップカバーを開きます。

**3.** ドラムユニットを図のように取り付けます。

**4.** トップカバーを閉じます。

**注意**

■ ドラムユニットに 2、3 分以上光を当てないように注意してください。ドラムユニットが損傷を受ける場合があります。

■ スターターシートを取り外さないでください（このシートは本機が動き始めると排出されます）。

## 本体をセットする

**1.** 受話器を接続します。

受話器コードを本機へ、もう一方を受話器に接続します。

**2.** 原稿サポーターと記録紙ホルダーを取り付けます。

**3.** 用紙トレイを２段階に引き出します。

**4.** A4 サイズを使用する場合は、用紙ストッパーを手前に引き出して伸ばします。

**5.** 使用する記録紙サイズにガイド幅を合わせます。

**6.** 記録紙をよくさばきます。

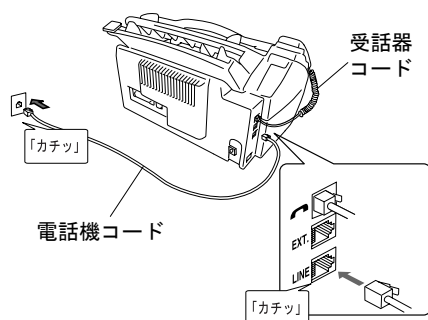
**7.** 用紙レバーを下に押しながら、その状態で記録紙をセットします。

記録紙をセットするときは、印刷面を裏にしてセットします。また、記録紙の高さが用紙ガイドよりも下にくるようにしてください。

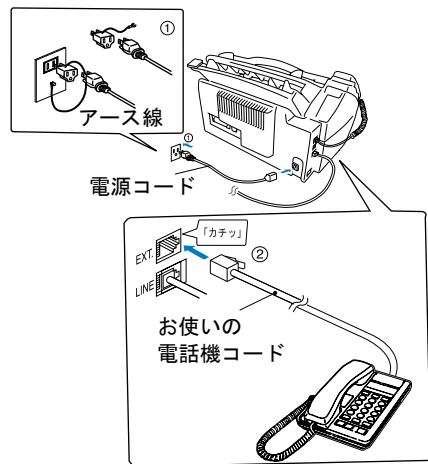
給紙カセットには 200 枚までの記録紙をセットすることができます。封筒であれば 10 枚までセットできます。

## 8. 電話回線を接続します。

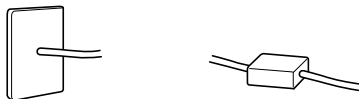
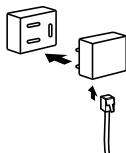
付属の電話機コードを本体の回線接続（LINE）端子と電話機コンセントに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

電話機コンセントについては、P. 21 の「補足」を参照してください。

## 9. 電源コードを電源コンセント（AC100V）に差し込みます。

必ずアース線を接続してください。

電源投入後、本機は自動で回線種別の設定を行います。

## 10. お使いの電話機を、本機に接続する場合、ご使用の電話機のコードを外付電話（EXT.）端子へ「カチッ」と音がするまで差し込みます。

**補足**

- 電源コンセントは、保護接地端子を備えた 3 極コンセントを使用するか、付属品の 3 極 -2 極変換アダプタを使用して、アダプタから出ている緑色のアース線を電源コンセントの保護接地端子に接続してください。
- 電話機コンセントのタイプが直接配線の場合（ローゼット／プレート）は、最寄りの NTT 窓口にご相談ください（局番なしの 116 番）。

- 電話機コンセントのタイプが 3 ピンプラグ式コンセントの場合は、市販のモジュラ付きの電話キャップをお買い求めください。

注意

■ 磁気を帯びている場所には設置しないでください。雑音や受信障害の原因となります。

■ 落雷は、本機を破損する場合があります。雷が激しい場合は、電話機コードと電源コードをコンセントから抜いてください。

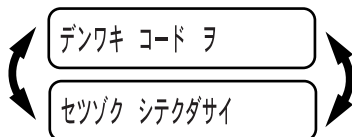
# 回線種別を設定する

## 自動で回線種別を設定する

電話機コードと電源コードが接続されると本機は回線種別の自動設定を行います。
回線種別の自動設定が行われた後、ディスプレイには以下のいずれかが２秒間表示された後、待機表示に変わります。

| 表示 | |
|---|---|
| PB カイセン デス | ：プッシュ回線に設定されたとき |
| 10PPS カイセン デス | ：ダイヤル回線（10PPS）に設定されたとき |
| 20PPS カイセン デス | ：ダイヤル回線（20PPS）に設定されたとき |

メモ

● 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、下記のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。P. 21
正しく接続しないまま 10 分以上放置すると、回線種別は「PB」に設定されます。

● 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、下記のメッセージが表示されたときは、自動的に回線種別を設定することができませんでしたので、手動で回線種別を設定してください。手動回線種別設定については P. 24 を参照してください。

カイセンセッテイ シテクダサイ

## 手動で回線種別を設定する

自動で回線種別を設定できなかったときや、引越しなどで電話がかからなくなったときは、以下の手順で、利用中の電話回線に合わせて設定します。

**1.** Menu/Set 1 6 を押します。

6.カイセンシュベツ セッテイ

**2.** ▲▼ で回線種別を選択します。

シュベツ:PB

**3.** Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

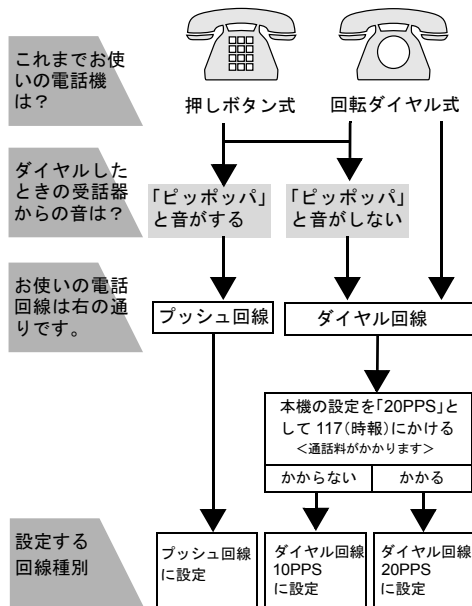
**4.** 停止/終了 を押して操作は終了です。

メモ

- 回線種別の表示を以下に示します。
  プッシュ回線のとき : PB
  ダイヤル回線 10PPS のとき : 10PPS
  ダイヤル回線 20PPS のとき : 20PPS
  自動設定を行うとき : ジドウ セッテイ
- プッシュ回線または ISDN 回線をお使いの場合は、「PB」を設定してください。
- 設定を間違えると、間違った相手にかかったり、ファクスが送信できないことがありますのでご注意ください。
- 回線種別を選ぶとき、▲▼ を押すごとにディスプレイの表示は次のように変わります。

## 利用中の電話回線の種別を調べる

回線種別は、次の手順で調べることができます。もし、分からないときは、最寄りのNTTの支店・営業所またはNTT窓口（116：無料）にお問い合わせください。

メモ

- 電話回線には「プッシュ回線（PB）」と「ダイヤル回線（10PPS または 20PPS）」の 2 種類があります。本機では、ご利用中の電話回線の種類に合わせて自動的に回線種別を設定することができます。
- 構内交換機など一般と異なる回線につないでいる場合は、自動設定できないときがあります。
- 通話中は自動設定できません。
- いったん、自動設定すると電源コードを差し込み直しても再度、自動で回線種別設定は行われません。設定し直したいときは、手動で設定し直してください。

# ご使用前の設定をする

## 日付・時刻を合わせる〔時計セット〕

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻はディスプレイに表示されます。また、ファクス送信したとき、相手側の記録紙にもプリントされます。

1. Menu/Set 1 1 と押します。

   1.トケイ セット

2. 年号（西暦の下２桁）を入力します。
   例：2002 年の場合は「02」

   ネン:02

3. Menu/Set を押して、月を２桁で入力します。
   例：５月の場合は「05」

   ツキ:05

4. Menu/Set を押して、日付を２桁で入力します。
   例：３日の場合は「03」

   ヒヅケ:03

5. Menu/Set を押して、時刻（24 時間制）を入力します。
   例：午後３時 25 分の場合は「15:25」

   ジコク:15:25

6. Menu/Set を押します。

   ウケツケマシタ

7. 停止/終了 を押して登録を終了します。

**補足**

● 設定終了後、ディスプレイには次のように日付と時刻と受信モードが表示されます。

05/03 15:25 FAX

● 間違って入力した場合は、停止/終了 を押し、初めから入力し直すか、または、◀ で間違えた箇所まで戻り、入力し直してください。

メモ

● 長期間電源を切ったままにして、時刻が合っていないときは、もう一度現在の日付と時刻に合わせてください。時刻はあくまで目安ですので、気になるときは1か月おきに合わせてください。
● 1日以上停電した場合は日付の再設定をしてください。

## 名前と電話番号を登録する〔発信元登録〕

発信元登録を行うと、ファクスを送信したとき、登録した情報（お客様の名前と電話番号とファクス番号）が相手側の記録紙にプリントされます。

**1.** Menu Set  1（ア） 2（カ ABC） と押します。

2.ハッシンモト　トウロク

ファクス：

**2.** ファクス番号を入力して Menu Set を押します。

デンワ：

**3.** 電話番号を入力して  を押します。

ナマエ：

**4.** 名前を入力して Menu Set を押します。

ウケツケマシタ

**5.** を 停止/終了 押して登録を終了します。

メモ

● ファクス番号・電話番号は20桁まで登録できます。ファクス番号・電話番号には数字しか入力できません。
● 入力した名前や番号を消すときは、手順　2、3、4　でそれぞれカーソルを番号や名前のはじめまで ◀ ▶ を使って移動させ、停止/終了 を押すと、入力済みの名前や番号を消すことができます。文字入力のしかたについては P. 29 を参照してください。

● 数字を入れ間違えたときは、◀ ▶ を押して修正する文字までカーソルを移動し、正しい文字を上から入力し直します（上書き）。
挿入はできませんので、途中の数字を入力し忘れたときは、間違えた箇所までカーソルを移動し、それ以降の数字も入力し直してください。

● 発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと、送付書 P. 77 を送信することはできません。

## 発信元登録を消去する

**1.** Menu/Set 1 2 と押します。

**2.** 1 を押して「ヘンコウ　1. スル」を選びます。

**3.** 停止/終了 を押して、登録内容を消去します。

**4.** Menu/Set を押します。

## 文字入力をする

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤル・電話帳の相手先の名前の登録や、発信元データの登録などで文字を入力するときに利用します。入力できる文字は 20 文字までです。

### ● 文字配列

ダイヤルボタンの数字ボタンには、下記の表のように、押す回数に応じてカタカナ、アルファベット、数字が割り当てられています。また、記号ボタンには各種の記号などが割り当てられています。

| 押す回数 / ダイヤルボタン | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ア 1 | ア | イ | ウ | エ | オ | ァ | ィ | ゥ | ェ | ォ | 1 | | | | | |
| ABC 2 | カ | キ | ク | ケ | コ | A | B | C | 2 | | | | | | | |
| サ DEF 3 | サ | シ | ス | セ | ソ | D | E | F | 3 | | | | | | | |
| タ GHI 4 | タ | チ | ツ | テ | ト | ッ | G | H | I | 4 | | | | | | |
| ナ JKL 5 | ナ | ニ | ヌ | ネ | ノ | J | K | L | 5 | | | | | | | |
| ハ MNO 6 | ハ | ヒ | フ | ヘ | ホ | M | N | O | 6 | | | | | | | |
| マ PQRS 7 | マ | ミ | ム | メ | モ | P | Q | R | S | 7 | | | | | | |
| U ヤ T V 8 | ヤ | ユ | ヨ | ャ | ュ | ョ | T | U | V | 8 | | | | | | |
| ラ WXYZ 9 | ラ | リ | ル | レ | ロ | W | X | Y | Z | 9 | | | | | | |
| ワ 0 | ワ | ヲ | ン | ゛ | ゜ | ー | 0 | | | | | | | | | |
| 記号1 * トーン | スペース | ! | ” | # | $ | % | & | ’ | ( | ) | * | + | , | ー | . | ／ |
| 記号2 # | : | ; | < | = | > | ? | @ | [ | ] | ^ | _ | | | | | |

## ● 基本的な文字入力のしかた

文字を入力するときは、次のような手順で入力します。例えば、発信元データの「ナマエ」の項目に「スズキ　ケイコ」という名前を入力するときは、「文字配列」を見ながら以下の手順で入力します。

**1.** サ DEF 3 を3回押します。

ナマエ：ス

**2.** ► を押してカーソルを右へ移動します。

ナマエ：ス_

**3.** サ DEF 3 を3回、ワ 0 を4回押します。

ナマエ:スズ_

**4.** カ ABC 2 を2回押します。

ナマエ:スズキ

**5.** ► を2回押します。

ナマエ:スズキ _

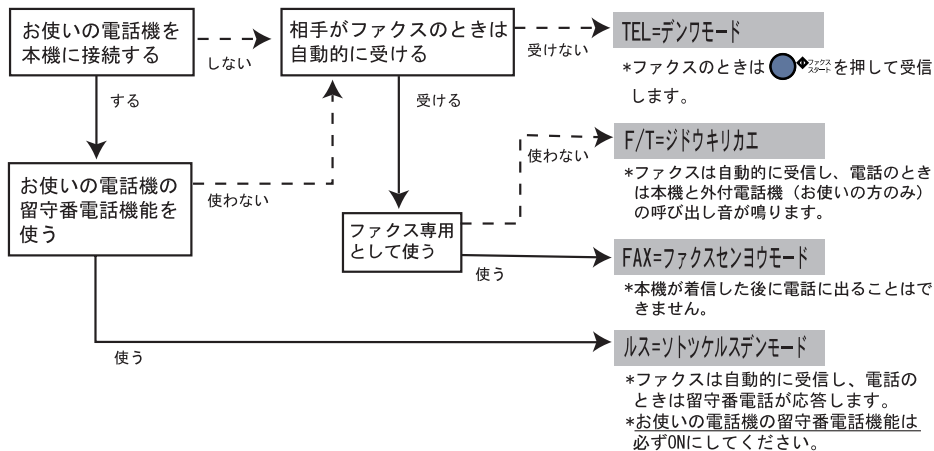
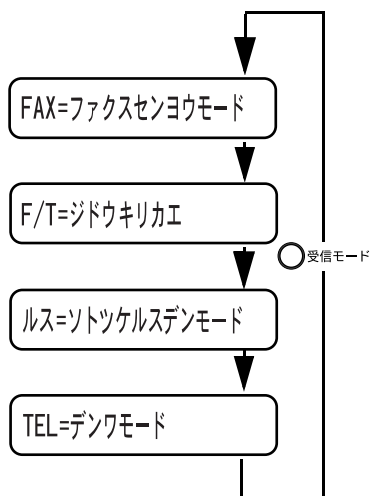
**6.** カ ABC 2 を4回、ア 1 を2回、カ ABC 2 を5回押します。

ナマエ:スズキ ケイコ

メモ

- 間違えて入力した場合は、◄ ► を押して、修正する文字までカーソルを移動し、正しい文字を入力し直します。途中の文字を入力し忘れたときは、文字を挿入できませんので挿入する箇所までカーソルを移動し、正しい文字を上書きしてください。
- 同じダイヤルボタンを使って入力する文字が続くときは、► を押してカーソルを移動させて、文字を入力します。移動させないと文字が上書きされてしまいます。
- 文字の入力は20文字まで入力できますので名前だけでなく他の情報も入力できます。
- 文字と文字の間にスペースを入れるときは、記号1 ✳ トーン を1回押すか、► を2回押します。

## 受信モードを選ぶ

本機の使用目的に応じて、受信モードを選びます。

モードを選択した場合の、ディスプレイの表示は以下のように切り替わります。

**1.** 受信モード を押してモードを選択します。

**2.** 停止/終了 を押して操作は終了です。

メモ

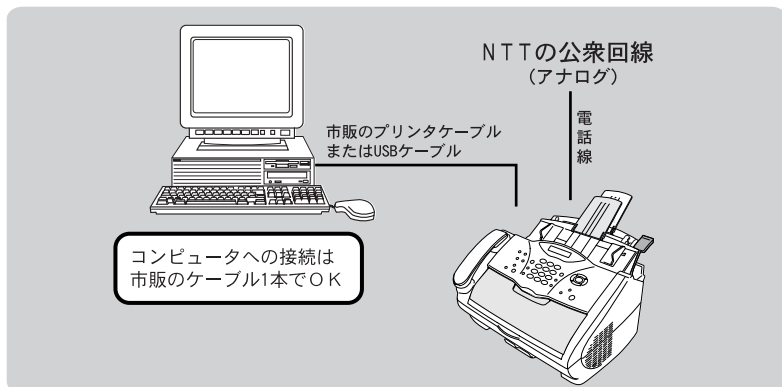
● 選択した受信モードは、ディスプレイに日付、時刻とともに表示されます。お買い上げ時は「FAX 専用モード」に設定してあります。

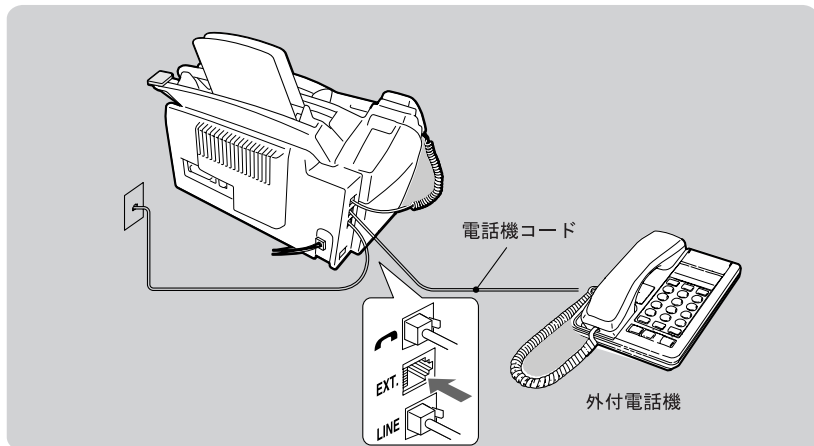
● 受信モードについての詳細は P. 92 を参照してください。

## 本機の接続イメージ

本機ではいろいろな接続の方法があります。以下は一例です。間違った接続は他の機器に影響を与える場合がありますので、正しく接続してください。なお、お使いのコンピュータがネットワーク接続されている場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
本書に記載されているイメージとは違う接続をしたいときは販売店にご相談ください。

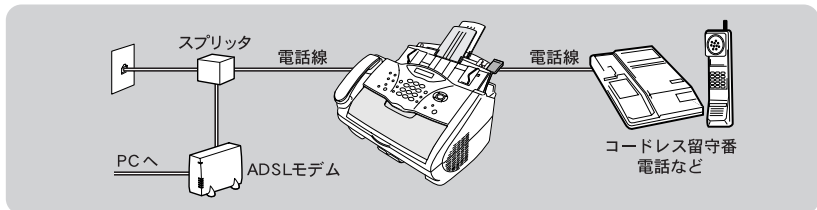
### ● 公衆回線に接続する場合（プリンタとファクスとして使う場合）

受信モードを「FAX= ﾌｧｸｽｾﾝﾖｳﾓｰﾄﾞ」に設定します。

## ● 公衆回線に接続する場合（お使いの電話機を接続する場合）

お使いの電話機を接続し、電話番号１つで電話とファクスを兼用する場合の接続方法です。受信モードを「F/T=ジドウキリカエ」に設定することをお奨めします。

メモ

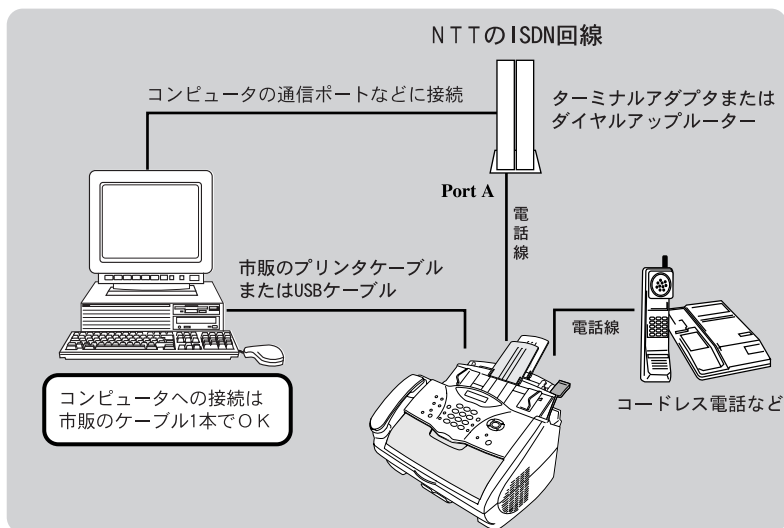
- お使いの電話回線に、すでに何台かの電話機が接続されている場合は、本機または外付電話機がご使用になれない場合があります。この場合、配線工事が必要です。工事には「電話工事担任者」の資格が必要となりますので、親子電話・ホームテレホン・ビジネスホンの取付工事を行った販売店か、最寄りの NTT 窓口（116 番）にご相談ください。
- ナンバーディスプレイ対応の電話機を外付電話機として接続する場合は、本機の着信時の呼び出しベル回数を 8 回以上に設定してください。

## ● ADSL（タイプ 1）回線に接続する場合

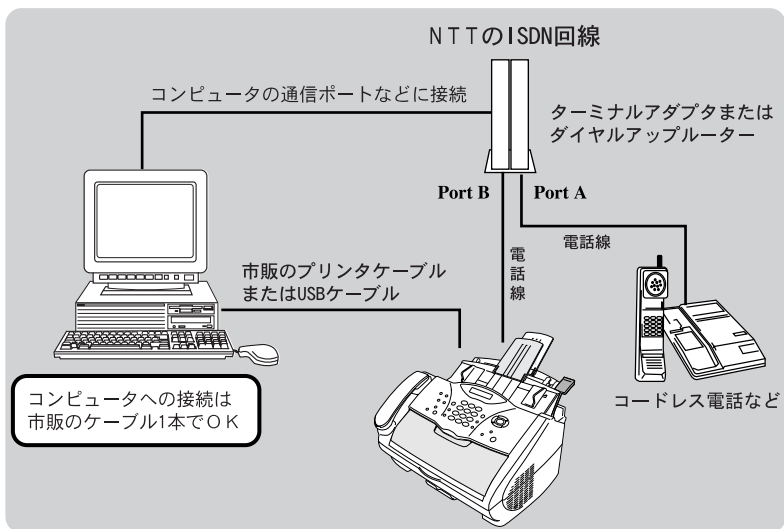
受信モードを「F/T= ジドウキリカエ」に設定します。

メモ

- 正しい接続をしないと、ノイズや通信エラーの原因になります。
- 並列（ブランチ）接続はおやめください。通話音質の低下、ノイズの発生、通信エラーなどの原因になります。

## ● ISDN 回線に接続する場合（電話番号が 1 つの場合）

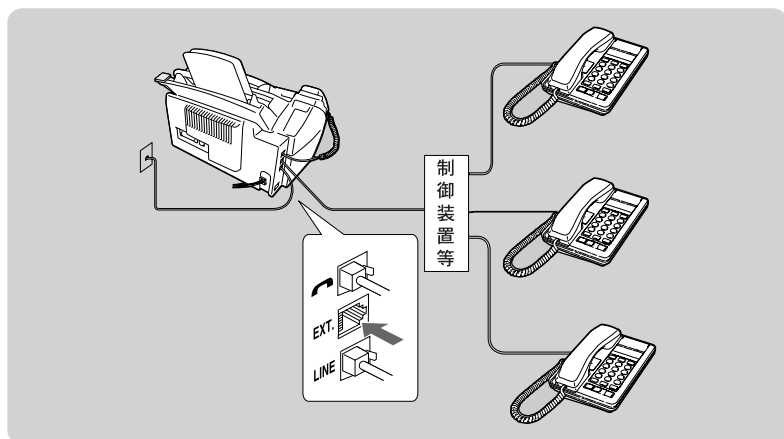
電話番号が１つの場合は、受信モードを「F/T= ｼﾞﾄﾞｳｷﾘｶｴ」に設定します。電話とファクスの同時使用はできません。
ISDN 回線はコンピュータを接続される場合に特にお奨めです。

## ● ISDN 回線に接続する場合（電話番号が 2 つの場合）

２回線分の使用が可能ですから、ファクス送受信中でも通話が可能です。
受信モードを「FAX= ﾌｧｸｽｾﾝﾖｳﾓｰﾄﾞ」に設定します。

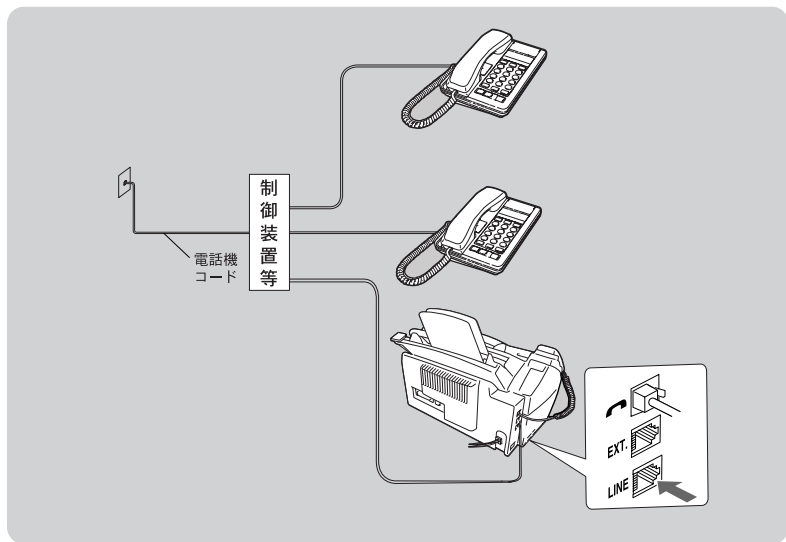
メモ

- 各種接続を正常に動作させるためには正しい設定が必要です。正しく接続、設定してください。特に、ISDN 回線に接続する場合は、以下の点に留意してください。
  - 電話番号が 1 つの場合、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルーターの空きポートは「使用しない」に設定してください。また、電話番号が 1 つの場合で、PortA に電話をつなぎ、PortB に本機をつないだときは、Port A/B 両方の端末から着信ベルが鳴ります。電話でファクスを受けてしまった場合は、Port A から B へ転送できます。
  - 電話番号が 2 つの場合（ダイヤルインサービスまたは i・ナンバー加入時）は、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルーターの各アナログポートの着信電話番号を設定すると、電話番号と FAX 番号を鳴り分けすることができます。
  - 本機側の回線種別は「PB」に設定してください。 お買い上げ時の設定は、「ｼﾞﾄﾞｳ ｾｯﾃｲ」になっています。電話回線の設定の詳細については P. 23 を参照してください。
  - ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルーター側は本機を接続して電話がかけられること、また電話が受けられることを確認してください。万一、本機が使えないときは、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルーターの設定を確認してください。設定に関する詳細は、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルーターの取扱説明書をご覧いただくか、製造メーカーにお問い合わせください。

## ● ホームテレホン、ビジネスホンに接続する場合

回線数が１つの場合の例を以下に示します。

受信モードを「F/T=ｼﾞﾄﾞｳｷﾘｶｴ」に設定します。制御装置は、本体の外付電話（EXT.）端子に接続します。

## ● 内線電話として接続する場合

構内交換機またはビジネスホンを使用しているところに本機を内線接続する場合、構内交換機またはビジネスホン主装置の設定を２芯用に変更してください。

設定変更を行わないと、本機をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。

# ご使用前の基本設定


■ ディスプレイの特徴 ........ 38
ディスプレイについて ........ 38

■ 機能設定する ........ 39
ナビゲーションキーを使った基本操作 ........ 39
ダイヤルボタンを使った基本操作 ........ 40
機能一覧 ........ 40

■ 基本設定を変更する ........ 46
着信ベルの音量を調節する ........ 46
キータッチ音量を変える〔キータッチ & ブザー音量〕........ 47
スピーカー音量を調節する ........ 48
受話器の音量を調節する ........ 49
トナーを節約する ........ 50
スリープモードを設定する ........ 51
印刷濃度を調節する ........ 52
ディスプレイの表示言語を切り替える〔英語・日本語〕........ 53

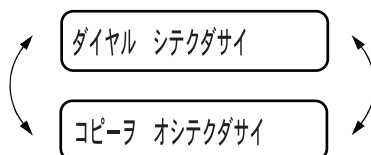
# ディスプレイの特徴

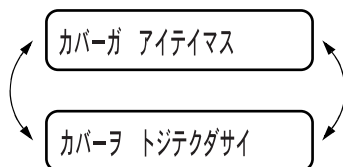
## ディスプレイについて

本機は、お客様が使いやすいように、ディスプレイを見るだけで次に何をすれば良いか分かるようになっています。

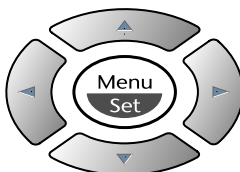
ディスプレイには、現在の設定内容や、操作方法を案内するヘルプメッセージが表示されます。それらの表示は一定の間隔で入れ替わります。

### ● ディスプレイの表示例 1

ADF に原稿をセットすると、以下のメッセージが表示されます。この場合、ファクス番号を入力してファクスを送ることと、コピーを取ることが可能であることを示します。

### ● ディスプレイの表示例 2

本機のトップカバーが完全に閉じていないと、以下のメッセージが表示されます。この場合、トップカバーを一度開け、再度閉じてください。

# 機能設定する

## ナビゲーションキーを使った基本操作

本機では、ナビゲーションキーを使った簡単な操作で、各種の設定ができます。ナビゲーションキーを使用することによって、取扱説明書を見なくても、本機に用意されているすべての機能が活用できます。

ナビゲーションキーの外観

| ナビゲーションキー | キーの役割 |
|---|---|
| Menu Set | 以下の場合に使用します。<br>・メインメニューを表示する場合<br>メインメニューが表示されると、メニューモードになり、画面はスクロールします。<br>・次のメニューレベルに移る場合<br>・選択項目を設定する場合<br>選択項目の設定が終わると、ディスプレイには「ｳｹﾂｹﾏｼﾀ」と表示されます。 |
| ▲ ▼ | 現在のメニューレベルをスクロールして選択する場合に使用します。 |
| ◀ | 前のメニューレベルに戻る場合に使用します。 |
| ▶ | 次のメニューレベルに進む場合に使用します。 |
| 停止/終了 | メニューモードを終了する場合に使用します。 |

## ダイヤルボタンを使った基本操作

Menu/Set を押して、ダイヤルボタンで設定したい機能の番号を直接入力することで、本機に対する各種の設定ができます。

例：原稿濃度を設定する場合

    を押します。



メモ

- 設定を途中で終了するときは、停止/終了 を押してください。
- 本書では、ダイヤルボタンを押す操作方法で説明しています。

## 機能一覧

### ● 基本設定機能

| メイン メニュー | サブ メニュー | メニュー 選択 | 選択項目 | 内　　容 | 参照 ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1. キホン セッテイ | 1. トケイ セット | ー | ー | ディスプレイに表示される現在の日付・時刻と、ファクスに記される日付・時刻を設定します。 | P. 26 |
| | 2. ハッシン モト トウロク | ー | ー | ファクスにプリントされる発信元の名前、ファクス番号、電話番号を設定します。 | P. 27 |
| | 3. オンリョウ | 1. チャクシン ベル オンリョウ | OFF<br>ショウ<br>チュウ<br>ダイ | 着信ベルの音量を調節します。 | P. 46 |
| | | 2. キータッチ オンリョウ | OFF<br>ショウ<br>ダイ | パネルキーにタッチしたときの音量を設定します。 | P. 47 |
| | | 3. スピーカー オンリョウ | OFF<br>ショウ<br>チュウ<br>ダイ | スピーカーの音量を調節します。 | P. 48 |
| | | 4. ジュワ オンリョウ | ショウ<br>ダイ | 受話器の音量を調節します。 | P. 49 |

（つづく）

## ● 基本設定機能

| メイン メニュー | サブ メニュー | メニュー 選択 | 選択項目 | 内　容 | 参照 ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| 1. キホン セッテイ | 4. トナー セーブ | — | ON<br>OFF | トナーの使用量をセーブします。 | P. 50 |
| | 5. スリープ モード | — | **00 フン**<br>:<br>**99 フン**<br>(**00 フン**から **99 フン**) | ファクス待機中の消費電力を節約することができます。このスリープ状態になるまでの時間を設定します。 | P. 51 |
| | 6. カイセン シュベツ セッテイ | — | PB<br>10 PPS<br>20 PPS<br>ジドウ　セッテイ | お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。 | P. 23 |
| | 7. ヒョウジ ゲンゴ (LCD LANGUAGE) | — | ニホンゴ<br>ENGLISH | ディスプレイに表示される言語を設定します。<br>This setting allows you to change LCD Language to English. | P. 53 |

*　下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

## ● ファクス機能

| メイン メニュー | サブ メニュー | メニュー 選択 | 選択項目 | 内　　容 | 参照 ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| 2. ファクス | 1. ジュシン セッテイ | 1. チャクシンベル カイスウ | 0<br>:<br>4<br>:<br>10<br>(0から10) | 「FAX専用モード」と「自動切替モード」のとき、自動受信するまでのベル回数を設定します。 | P. 93 |
| | | 2. ヨビダシベル カイスウ | 10<br>15<br>20 | 「自動切替モード」で着信ベル回数を0～10回のいずれかに設定しているとき、着信ベルが鳴り終わった後、電話の場合、着信ベルとは違う鳴り方でさらにベルが鳴ります。このときの呼び出しベルの回数を設定します。 | P. 94 |
| | | 3. シンセツジュシン | ON<br>OFF | 本機がファクスを自動受信する前に外付電話をとってしまった場合でも、スタートキーを押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。 | P. 96 |
| | | 4. リモートバンゴウ | ON(#51)<br>OFF | 外付電話機からファクスを受信動作させるときに設定をします。 | P. 97 |
| | | 5. ジドウシュクショウ | ON<br>OFF | A4サイズよりも長いサイズの原稿が送られて来たときに自動的に縮小する／しないを設定します。 | P. 99 |
| | | 6. インサツノウド | －■■■□□＋ | 印字の濃さを調整します。 | P. 52 |
| | | 7. ポーリングジュシン | ヒョウジュン<br>キミツ<br>タイマー | ポーリング受信でファクスを受信するときの設定をします。 | P. 105 |

（つづく）

## ● ファクス機能

| メイン メニュー | サブ メニュー | メニュー 選択 | 選択項目 | 内　　容 | 参照 ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| 2. ファクス | 2. ソウシン セッテイ | 1. ゲンコウ ノウド | フツウ<br>ウスク<br>コク | 原稿に合わせて一時的に濃度を設定します。 | P. 76 |
| | | 2. ガシツ モード | ヒョウジュン<br>ファイン<br>S. ファイン<br>シャシン | 送信時の解像度を設定します。ここで設定した内容は、次に設定するまで有効です。 | P. 75 |
| | | 3. タイマー ソウシン ジカン | 00:00 | 毎回、同じ時刻にファクスを送信する場合の送信時刻を設定します。 | P. 85 |
| | | 4. タイマー ソウシン | ー | タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。 | P. 84 |
| | | 5. トリマトメ ソウシン | ON<br>OFF | 同一の相手先ごとに一括してタイマー送信するときに設定します。 | P. 85 |
| | | 6. リアルタイム ソウシン | ON<br>OFF<br>コンカイノミ | メモリーを使わずにリアルタイムでファクスを送信するときに設定します。 | P. 82 |
| | | 7. ポーリングソウシン | ヒョウジュン<br>キミツ | ポーリング通信でファクスを送信するときの設定をします。 | P. 102 |
| | | 8. ソウフショ | コンカイノミ<br>ON<br>OFF<br>プリントサンプル | 送付書を付加する／しないを設定します。 | P. 77 |
| | | 9. ソウフショ コメント | ー | 送付書のコメントを作成、登録します。 | P. 79 |
| | | 0. カイガイ ソウシン モード | ON<br>OFF | 海外送信を行うときに設定します。 | P. 83 |

（つづく）

## ● ファクス機能

| メイン メニュー | サブ メニュー | メニュー 選択 | 選択項目 | 内　　容 | 参照 ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| 2. ファクス | 3. ダイヤル トウロク | 1. ワンタッチ ダイヤル | ー | ワンタッチボタン「1」～「8」に送信先番号、名前を登録します。 | P. 65 |
| | | 2. タンシュク ダイヤル | ー | 2 桁の短縮番号 01 ～ 00 に、相手先の番号と名前を登録します（”00”は 100 のことです）。 | P. 68 |
| | | 3. グループ ダイヤル | ー | 同時に多数のファクス送信ができるように、グループ番号を設定します。 | P. 70 |
| | 4. ツウシン マチ カクニン | ー | ー | メモリー送信の待ち状態を確認したり、メモリー送信 / タイマー送信 / ポーリング受信のジョブを解除します。 | P. 86 |
| | 5. リスト セッテイ | 1. ソウシン レポート | ON<br>ON+ イメージ<br>OFF<br>OFF+ イメージ | 送信後に送信結果をプリントするかどうかの設定をします。 | P. 122 |
| | | 2. ツウシン カンリ カンカク | 1/3/6/12/24 ジカンゴト<br>2/4/7 カゴト<br>レポートシュツリョクシナイ | 通信管理レポートの出力間隔を設定します。 | P. 121 |
| | 6. オウヨウ キノウ | 1. テンソウ | OFF<br>ファクス　テンソウ<br>デンワ　ヨビダシ | ファクスメッセージを受信したとき、「電話呼出」や「ファクス転送」をするための設定をします。 | P. 112 |
| | | 2. メモリー ジュシン | ON<br>OFF | 受信したファクスをメモリーに蓄積する／しないを設定します（ファクス転送、リモコンアクセスをするときに「ON」に設定します）。 | P. 108 |

（つづく）

## ● ファクス機能

| メイン メニュー | サブ メニュー | メニュー 選択 | 選択項目 | 内　　容 | 参照 ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| 2　ファクス | 6. オウヨウ キノウ | 3. アンショ ウバンゴウ | 159 * | 外出先から本機をリモートコントロールするときの 3 桁の暗証番号を設定します。 | P. 118 |
| | | 4. ファクス シュツリョ ク | ― | メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスをプリントアウトするときに使用します。 | P. 109 |

＊　下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

## ● コピー機能

| メイン メニュー | サブ メニュー | メニュー 選択 | 選択項目 | 内　　容 | 参照 ページ |
|---|---|---|---|---|---|
| 3. コピー | 1. ゲンコウ タイプ | – | ジドウ<br>テキスト<br>シャシン | 原稿のタイプを設定します。 | P. 138 |
| | 2. コントラ スト | – | − ■■■□□ + | コピーの明るさを調整します。 | P. 138 |
| | 3. キロクシ タイプ | – | フツウシ<br>フツウシ（アツメ）<br>アツガミ（ハガキ）<br>チョウアツガミ | 記録紙のタイプを設定します。 | P. 139 |

＊　下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

# 基本設定を変更する

## 着信ベルの音量を調節する

着信時の呼び出しベルの音量を調節します。

1. Menu/Set 1 3 1 を押します。

1.チャクシンベル　オンリョウ

2. で音量を選択します。

オンリョウ：ダイ

3. Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

4. 停止/終了 を押して操作は終了です。

補足

- 着信ベル音量は、「OFF」、「ショウ」、「チュウ」、「ダイ」の中から選びます。お買い上げ時は「ショウ」に設定されています。
- 音量を「OFF」に設定しても、電話呼び出しのベルは最小で鳴ります。
- 着信ベル音量の変更は、原稿がセットされていないとき、または電話が未使用中のときに だけで調節することもできます。

## キータッチ音量を変える〔キータッチ & ブザー音量〕

ダイヤルボタンなどを押したとき「ピッ」とキータッチ音が鳴ります。また、間違った操作をしたときや、紙詰まりなどファクスに異常が起きたとき、またファクス送受信終了時に「ピー」というブザー音が鳴ります。そのときの音量を調節します。

**1.** Menu/Set 1 3 2 を押します。

2.キータッチ オンリョウ

**2.** ▲▼ で音量を選択します。

オンリョウ：ダイ

**3.** Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

**4.** 停止/終了 を押して操作は終了です。

**補足**

- キータッチ音量は、「OFF」、「ショウ」、「ダイ」の中から選びます。お買い上げ時は「ショウ」に設定されています。
- 「OFF」（キータッチ音なし）を選んでも、エラーのときはブザー音が鳴ります。

## スピーカー音量を調節する

手動でファクスを送信するとき、 受信側から「ピー」という音が聞こえることがあります。そのときの音量を調節します。

**1.** Menu/Set 1 3 3 を押します。

3.スピーカー オンリョウ

**2.** ▲▼ で音量を選択します。

オンリョウ：ダイ

**3.** Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

**4.** 停止/終了 を押して操作は終了です。

**補足**

- スピーカー音量は、「OFF」、「ショウ」、「チュウ」、「ダイ」の中から選びます。お買い上げ時は「ショウ」に設定されています。
- スピーカー音量は、保留/オンフック を押してスピーカーから「ツー」という音が聞こえているとき、またはオンフック状態で相手の声が聞こえているときに、▲▼ を押して調節することもできます。

## 受話器の音量を調節する

受話器の音量を調節します。

**1.** Menu/Set 1 3 4 を押します。

4.ジュワ オンリョウ

**2.** ▲▼ で音量を選択します。

オンリョウ:ダイ

**3.** Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

**4.** 停止/終了 を押して設定は終了です。

**補足**

- 受話器音量は「ショウ」、「ダイ」の中から選びます。お買い上げ時は「ショウ」に設定されています。
- 受話器音量は、通話中に ▲▼ を押して調整することもできます。

## トナーを節約する

「トナーセーブ」を「ON」に設定することで、印字は多少薄くなりますが、トナーを節約することができます。

**1.** Menu/Set 1 4 を押します。

4.トナー セーブ

**2.** ▲▼ で「ON」を選択します。

トナー セーブ:ON

**3.** Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

**4.** 停止/終了 を押して設定は終了です。

**補足**

● お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

## スリープモードを設定する

本機は、すぐにプリントやコピーができるように、常に一定の電気を供給し、印字部を温め、冷却ファンも回し続けています。
スリープモードは、設定した時間内にプリントやコピーが行われなかったときに、自動的に印字部の温度を下げ、冷却ファンも止まるので、消費電力を減らします。ただし、電話機としての通話には影響ありません。
スリープモードになるまでの時間は0～99分まで分単位で設定できます。
お買い上げ時は「0分」に設定されています。

**1.**   を押します。

5.ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ

**2.** ダイヤルボタンを使用して、待機時間を入力します。

ｽﾘｰﾌﾟ ｶｲｼ:10ﾌﾝ

**3.** Menu Set を押します。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

**4.** 停止/終了 を押して設定は終了です。

**補足**

- 冷却ファンは本機内部の温度が一定以下になるまで回り続けますので、スリープモードになるまでの実際の時間は設定時間と若干の差があることがあります。
- スリープモードのときに、コピーやプリントをしようとするとディスプレイに「ウォーミングアップ」と表示され、ウォーミングアップのために10秒～20秒時間がかかります。

## 印刷濃度を調節する

印刷の濃さを調節できます。印刷濃度は5段階で設定できます。

**1.** Menu/Set　2（カ ABC）　1（ア）　6（ハ MNO）を押します。

6. インサツ　ノウド

**2.** ▲▼で濃度を調節します。

**3.** Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

**4.** 停止/終了 を押して設定は終了です。

**補足**

● お買い上げ時は −■■■□□+ に設定されています。

# ディスプレイの表示言語を切り替える

ディスプレイに表示される言語を、英語または日本語に切り替えることができます。

1. Menu/Set 1 7 を押します。

7.ヒョウジ ゲンゴ

2. ▲▼ で言語を選択します。

コトバ：ニホンゴ

3. Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

4. 停止/終了 を押して操作は終了です。

メモ

- 英語による説明を以下に示します。
  This setting allows you to change LCD language to English.

  1. Press Menu/Set 1 7 .
  2. Press ▲▼ to select "コトバ：ENGLISH".
  3. Press Menu/Set .
  4. Press 停止/終了 to exit.

- 英語版 OS 用ドライバのインストール方法については、付属 CD-ROM の「English」フォルダ内の「README」を参照してください。
- For the method of installing the English OS driver, see README in "English" folder stored on the attached CD-ROM.

4章

# ファクス送信


■ ファクスを送信する前に ........ 56
原稿サイズ ........ 56
原稿の読み取り範囲 ........ 57
■ ファクスを送信する ........ 58
ADF から送信する〔自動送信〕 ........ 58
ファクスを手動で送信する ........ 60
ファクスを送信する〔デュアルアクセス〕 ........ 60
オンフックボタンを押してダイヤルしたとき ........ 60
ファクス送信を途中で止める ........ 61
■ 便利にダイヤルする ........ 62
ダイヤルのしかた ........ 62
同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕 ........ 63
電話帳を使って送信する ........ 64
■ 電話帳を作成する ........ 65
ワンタッチダイヤルを登録する ........ 65
ワンタッチダイヤルを変更する ........ 67
短縮ダイヤルを登録する ........ 68
短縮ダイヤルを変更する ........ 69
グループダイヤルを登録する ........ 70
グループダイヤルを変更する ........ 72
■ ファクスを便利に送信する ........ 74
画質を設定する〔一時的に変更する〕 ........ 74
画質を設定する〔設定内容を保持する〕 ........ 75
原稿濃度を設定する ........ 76
送付書を付けて送信する ........ 77
送付書のオリジナルコメントを登録する ........ 79
同じ原稿を数か所に送信する〔順次同報送信〕 ........ 80
原稿を直接送信する〔リアルタイム送信〕 ........ 82
海外へ送信する〔海外送信モード〕 ........ 83
指定した時刻に送信する〔タイマー送信〕 ........ 84
送信する時刻を固定する〔タイマー送信時間〕 ........ 85
メモリー内の文書を同じ相手に一括送信する〔取りまとめ送信〕... 85
送信待ち確認・送信待ちファクス解除 ........ 86

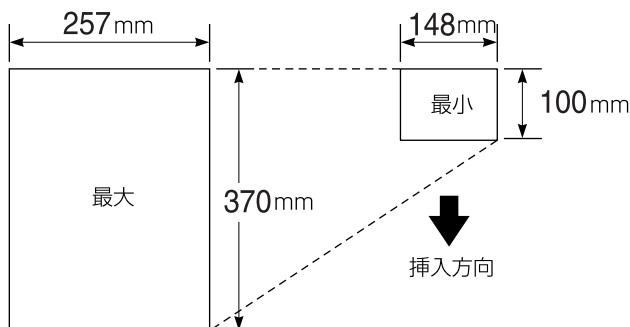
# ファクスを送信する前に

## 原稿サイズ

セットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、複写機で拡大・縮小コピーしてからセットしてください。

厚さ：0.08mm ～ 0.12mm

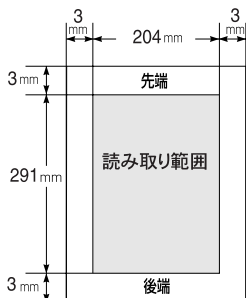
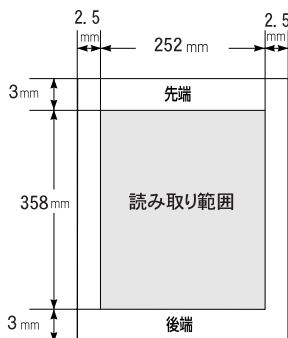
坪量：64g/m$^2$ ～ 90g/m$^2$

メモ

● この取扱説明書の表紙が約 0.15mm、このページが約 0.07mm ですので、原稿の厚さの目安にしてください。

# 原稿の読み取り範囲

＜A4の場合＞

＜B4の場合＞

メモ

● 原稿の読み取り範囲は概算値ですので、目安として参考にしてください。

注意

■ 原稿を複数枚セットするときは、キャリアシートはお使いになれません。

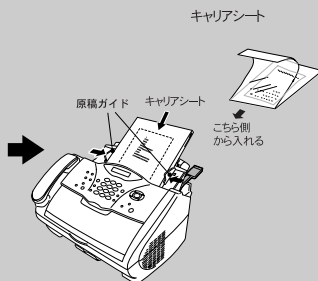
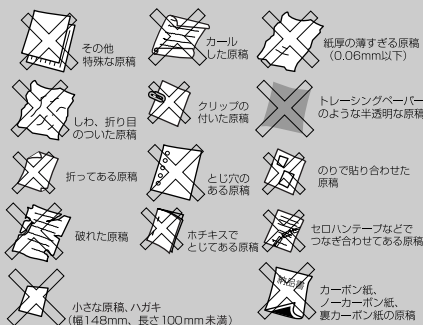
■ インクやのりなどが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

■ 原稿のクリップ･ホチキスの針は故障の原因となりますので、取り除いてください。

■ 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。

■ 原稿の先端に色が付いていると、濃い原稿と判断する場合があります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。

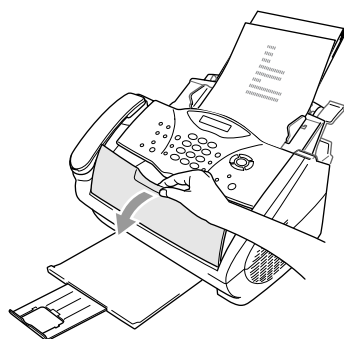
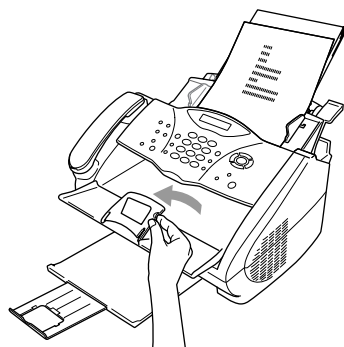
■ 原稿を強く押し込まないでください。原稿詰まりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。

■ 以下のような原稿は、複写機でコピーするか、キャリアシートを使用してください。

# ファクスを送信する

## ADF から送信する〔自動送信〕

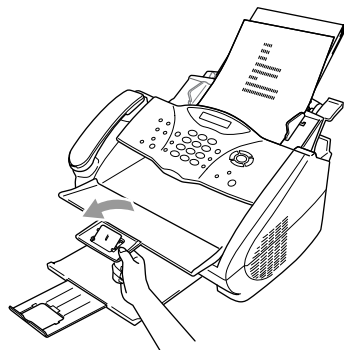
ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして送信します。
原稿をセットする前に原稿が静電気等でくっついていないことを確認してください。

**1.** 印刷面を裏向きにし、上部を先にして ADF に原稿を入れます。

**2.** 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

**3.** 原稿排紙トレイを開きます。

**4.** 原稿排紙補助トレイを開きます。

**5.** B4 サイズの原稿を送信する場合は、図のように原稿排紙補助トレイの中央部を開きます。

**6.** 相手先のファクス番号を入力して、ファクススタート を押します。

メモ

- 原稿は一度に 20 枚までセットできます。
- 送信を途中で止めたいときは P. 61 を参照してください。
- ダイヤルのしかたは P. 62 を参照してください。
- 最初のページを読み込み中に、ディスプレイに「メモリーガイッパイデス」が表示された場合は、停止/終了 を押すと読み込みが中止されます。2 ページ目以降を読み込み中に、このメッセージが表示された場合は、ファクススタート を押すと、読み込まれたページまでは送信します。送信を取りやめる場合は 停止/終了 を押します。
- メモリーに読み込み可能な原稿の枚数は、原稿の内容によって影響されます。
- ECM（Error Correction Mode の略称）通信とは、国際的に標準化された自動誤り訂正方式による通信モードのことです。通信中の雑音などにより、送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけを送り直すため、画像の乱れのない通信を行うことができます。
  - 送信側・受信側ともに ECM 機能を持っていないと ECM 通信は行われません。
  - ECM 通信中に雑音などで影響を受けた場合は、通信時間が正常時に比べ多少長くなります。
  - ECM 通信を行っても、回線の状況によってはエラー終了することがあります。

## ファクスを手動で送信する

**1.** ADF に原稿をセットします。

**2.** 受話器を上げ、ファクス番号をダイヤルします。

**3.** 相手先の受信音（ピー）を確認してから ファクススタート を押します。

補足

● 手動で送信する場合は、受信音を確認し ファクススタート を押したら受話器を置いてください。

## ファクスを送信する〔デュアルアクセス〕

ファクス送信中やプリント中でも、原稿をセットすると、設定（今回のみ）を行いダイヤルしてから、原稿をメモリーに読み込みできます。ディスプレイには新しいジョブ番号とメモリー残量が表示されます。

## オンフックボタンを押してダイヤルしたとき

送信先の相手の声が聞こえたら、受話器を取って相手にファクスを送信することを伝え、ファクススタートボタンを押してもらいます。「ピー」という音が聞こえたら、ファクススタート を押して受話器を戻します。

## ファクス送信を途中で止める

ファクススタート を押す前ならば、受話器を戻すか 保留/オンフック を押します。

ファクススタート を押した後、途中で止めたいときは 停止/終了 を押します。まだ原稿が送り込まれていないときは原稿を取り除いてください。原稿が送り込まれているときは「ﾃｲｼ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示されますので再び 停止/終了 を押し、原稿が排出されるまで待ってから原稿を取り除きます。

**補足**

● メモリーに読み込んだ原稿の送信待ちが複数件ある場合は、P. 86 を参照してください。

# 便利にダイヤルする

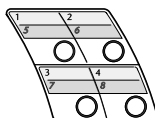
## ダイヤルのしかた

送信するときのダイヤル方法は４つあります。

● **ダイヤルボタンを使用する**

以下に示すダイヤルボタンで相手のファクス番号を直接ダイヤルします。最も一般的な方法です。

● **ワンタッチダイヤルを使用する**

ワンタッチボタンを押すだけで、登録されているファクス番号にダイヤルします。ワンタッチダイヤルは８件登録できます。５～８に登録されているファクス番号にダイヤルするときは、（▼シフト）を押しながらワンタッチボタンを押します。

● **短縮ダイヤルを使用する**

（電話帳/短縮 キャッチ）を押し、（記号1 * トーン）を押した後、00 ～ 99 の 2 桁の短縮番号を押すだけでダイヤルできます。短縮ダイヤルは 100 件登録できます。

● **電話帳を使用する**

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録された名前を検索し、そのままダイヤルします。ディスプレイ上で、名前だけで検索できます。

メモ


● ワンタッチダイヤルの登録のしかたは P. 65 を参照してください。

● 短縮ダイヤルの登録のしかたは P. 68 を参照してください。

● 電話帳の使い方は P. 64 を参照してください。

● グループダイヤルの登録のしかたは P. 70 を参照してください。

## 同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕

**1.** ADF に原稿をセットします。

**2.** 再ダイヤル/ポーズ を押して、ファクススタート を押します。

最後にかけた番号が表示され、ダイヤルされます。

**補足**

● 自動再ダイヤルについて

- 自動送信でファクスを送信しようとして、相手が通話中などで送信できなかったときは自動的に再ダイヤルして送信します（原稿送信のときは、原稿をそのまま置いておいてください）。自動再ダイヤルは 30 秒間隔で 8 回繰り返します。
- 自動送信で再送信を繰り返す場合は相手先の電話番号を確認してください。
- 自動再ダイヤルを 8 回繰り返しても送信できなかったときは、送信を中止し、送信レポートがプリントされます。「ｹｯｶ」の欄が「ﾊﾅｼﾁｭｳ/ｵｳﾄｳﾅｼ」であることを確認し、再度送信してください。
- 自動再ダイヤルは、自動送信時のみ有効な機能です。手動送信時は 再ダイヤル/ポーズ を押して再ダイヤルします。

## 電話帳を使って送信する

あらかじめ、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルやグループダイヤルに登録されている相手先の名前をディスプレイ上で検索し、そのまま検索した相手にファクスを送信することができます。

**1.** ADF に原稿をセットします。

**2.** 電話帳/短縮 キャッチ を押します。

タンシュク ダイヤル

**3.** 探したい名前の最初の 1 文字を入力します。

**4.** ◄ ► で目的の名前を表示させます。

エイギョウ ダイ1

**5.** 相手先が表示されたら ファクススタート を押します。

補足

● 入力した 1 文字に近い相手先の名前が 50 音順、アルファベット順に表示されます。
[ 例 ]「エ」と入力して検索した場合

・「エ」から始まる名前が登録されていた場合

エイギョウ ダイ1

・「エ」から始まる名前が登録されていなかった場合

オカモト

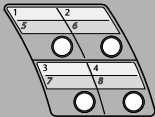
● 手順 3 で、目的の名前は ▲▼ で登録番号順に表示させることもできます。

目的の名前が表示されたら ファクススタート を押します。

メモ

● 登録されている相手先の名前の一覧（ダイヤルリスト）をプリントすることができます。プリントのしかたは P. 121 を参照してください。

● 文字入力のしかたについては P. 29 を参照してください。

● ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルの登録のしかたについては P. 65、P. 68、P. 70 を参照してください。

# 電話帳を作成する

## ワンタッチダイヤルを登録する

20 桁までの電話番号と 15 文字までの相手先の名前を、ワンタッチダイヤルの 1 ～ 8（最大 8 件）に登録することができます。

**1.** Menu/Set　2（カ ABC）　3（サ DEF）　1（ア）を押します。

1. ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲﾔﾙ

**2.** 

で登録する番号を選択します。

例：01 に登録する場合

#01:

**3.** 電話番号を入力して、

を押します。

ﾅﾏｴ:

**4.** 相手先の名前を入力して、Menu/Set を押します。

続けて登録するときは、手順 2 ～ 4 を繰り返してください。

ﾜﾝﾀｯﾁ ｼﾃｲ

**5.** 停止/終了 を押して操作は終了です。

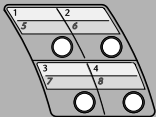
補足

- ワンタッチダイヤルの 5 ～ 8 に登録するときは シフト を押したままワンタッチボタンを押してください。

  [ 例 ] ワンタッチダイヤルの 7 に登録するときは シフト を押したまま 3 を押します。

- 手順 2 で、すでにワンタッチダイヤルが登録されているときは、名前または電話番号が表示されます。

メモ

- ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、（記号1 ＊ トーン）を押して、「＊」を入力してから番号を入力してください。
- 数字を入れ間違えたときは、（◀）（▶）を押して修正する文字までカーソルを移動し、正しい数字を上から入力します（上書き）。挿入はできませんので、途中の数字を入力し忘れたときは間違えた箇所までカーソルを移動し、それ以降の数字も入力し直してください。
- 文字の入力のしかたについてはP. 29を参照してください。
- ダイヤルのしかたはP. 62を参照してください。

注意

■ ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。

■ 電話番号を間違って登録すると、自動再ダイヤル機能により、間違った相手を何度も呼び出すことになり、相手に迷惑をかけることになりますので注意してください。新しく電話番号を登録した後、ダイヤルリストP. 121をプリントして確認してください。

■ 1 つのワンタッチボタンには、ワンタッチダイヤルかグループダイヤルのどちらか一方しか登録できません。

## ワンタッチダイヤルを変更する

**1.** Menu/Set 2 3 1 を押します。

1.ワンタッチ ダイヤル

**2.**  で変更するワンタッチダイヤルを表示させせます。
例：01 の登録内容を変更する場合

#01:スズキ ケイコ

**3.** Menu/Set を押します。

ヘンコウ 1:スル 2:シナイ

**4.** 1 を押します。

#01:052 000 0000

**5.** 新しい電話番号を入力して、Menu/Set を押します。

ナマエ:スズキ ケイコ

**6.** 新しい相手先の名前を入力して、Menu/Set を押します。

ワンタッチ シテイ

**7.** 変更が受け付けられたら最後に 停止/終了 ボタンを押して操作は終了です。

メモ

● 登録したワンタッチダイアルを消去するときは手順５で 停止/終了 を押してください。

## 短縮ダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルとは別に、20 桁までの電話番号と 15 文字までの相手先の名前を、2 桁の短縮番号 01 ～ 00（最大 100 件）に登録することができます。

**1.** Menu Set　2（カ ABC）　3（サ DEF）　2（カ ABC）　を押します。

2.タンシュク ダイヤル

タンシュク ダイヤル？ ＊

**2.** ダイヤルボタンで登録する 2 桁の短縮番号を入力します。
例：05 に登録する場合

＊05:

**3.** Menu Set　を押します。

**4.** 相手先の電話番号を入力して、Menu Set　を押します。

ナマエ:

**5.** 相手先の名前を入力して、Menu Set　を押します。
続けて登録するときは、手順 2 ～ 5 を繰り返します。

タンシュク ダイヤル？ ＊

**6.** 停止/終了　を押して操作は終了です。

**補足**

- 手順 2 で、すでに短縮ダイヤルが登録されているときは、名前または電話番号が表示されます。
- 電話番号の登録では、カッコは使用できません。
- スペースを入力するには、▷ を押します。文字入力のしかたについては P. 29 を参照してください。

**メモ**

- 短縮ダイヤルに登録してある電話番号は 電話帳/短縮 キャッチ を押し、記号1 ＊ トーン を押した後、01 ～ 00 の 2 桁の短縮番号を押すだけでダイヤルできます。
- 短縮ダイヤルを忘れてしまったときは、ダイヤルリストをプリントします。P. 121

**注意**

■ 電話番号を間違って登録すると、自動再ダイヤル機能により、間違った相手を何度も呼び出すことになり、相手に迷惑をかけることになりますので注意してください。新しく電話番号を登録した後、ダイヤルリスト P. 121 をプリントして確認してください。

## 短縮ダイヤルを変更する

**1.** Menu/Set 2（カ ABC） 3（サ DEF） 2（カ ABC） を押します。

2.タンシュク ダイヤル

タンシュク ダイヤル？ ＊

**2.** ダイヤルボタンを押して、変更する短縮ダイヤルを表示します。
例：05 の設定内容を変更する場合

＊05:タナカ ヨウコ

**3.** Menu/Set を押します。

ヘンコウ 1:スル 2:シナイ

**4.** 1（ア） を押して、新しい電話番号を入力します。

＊05:052 000 0000

**5.** Menu/Set を押して、新しい相手先の名前を入力します。

ナマエ:タナカ ヨウコ

**6.** Menu/Set を押します。
続けて変更するときは手順 2 ～ 5 を繰り返します。

タンシュク ダイヤル？ ＊

**7.** 停止/終了 を押して操作は終了です。

**メモ**

● 登録されている短縮ダイアルを消去するときは手順4で 1（ア） を押してから  停止/終了 を押し、Menu/Set を押してください。

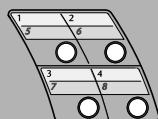
## グループダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルに登録した複数の相手先を、1 グループとしてワンタッチボタン、短縮ダイヤルに登録できます。グループダイヤルとして登録し、順次同報送信や順次ポーリング受信をするときに使うと便利です。

**1.** Menu/Set 2 3 3 を押します。

```
3.グループ ダイヤル
```

```
タンシュクボタンヲ オス
マタハ ワンタッチヲ オス
```

**2.** ワンタッチダイヤルに登録する場合は

で登録する番号を選択します。
短縮ダイヤルに登録する場合は、

電話帳/短縮（キャッチ） を押したあとに 2 桁の番号を入力します

```
グループ ダイヤル：G0
```

**3.** ダイヤルボタンで 1 ～ 6 の任意のグループ番号を入力して、Menu/Set を押します。

```
G01:
```

**4.** グループに登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力します。短縮ダイヤルを入力する場合は、電話帳/短縮（キャッチ） を押したあとに 2 桁の番号を入力します。

```
G01:*05#09
```

**5.** 登録したいワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルをすべて入力したら、を押します。

ナマエ：

**6.** グループ名を入力して、Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

**7.** 停止/終了 を押して操作は終了です。

- ワンタッチダイヤルの 5 ～ 8 に登録するときは シフト を押したままワンタッチボタンを押してください。
  〔例〕ワンタッチダイヤルの 7 に登録するときは シフト を押したまま 3 を押します。
- すでに登録しているグループ番号を入力したときは「ヤリナオシテクダサイ」と表示されます。未登録のグループ番号を選んでください。
- 1 つのグループダイヤルには、最大 107 件まで登録できます。
- グループダイヤルは 6 グループまで作ることができます。グループダイヤルを使用すると、複数の送信先を一度に指定することができます。
- グループ名は 15 文字まで登録できます。文字入力のしかたについては P. 29 を参照してください。

メモ

- グループダイヤルとして使用されている短縮ダイヤルを、さらに別のグループダイヤルの中に登録することはできません。
- 取引先別、部署別等でグループ分けすると便利です。
- 登録したグループが分からなくなったときはダイヤルリストをプリントします。P. 121

■ グループダイヤルを登録する前に、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを登録してください。ダイヤル番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。

■ 電話番号を間違って登録すると、自動再ダイヤル機能により、間違った相手を何度も呼び出すことになり、相手に迷惑をかけることになりますので注意してください。新しく電話番号を登録した後、ダイヤルリスト P. 121 をプリントして確認してください。

■ 1 つのワンタッチボタンには、ワンタッチダイヤルかグループダイヤルのどちらか一方しか登録できません。

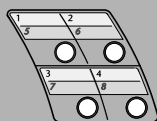
## グループダイヤルを変更する

**1.** Menu/Set 2 3 3 を押します。

3.グループ ダイヤル

タンシュクボタンヲ オス

マタハ ワンタッチヲ オス

**2.** 変更するグループダイヤルがワンタッチダイヤルに登録されている場合は、

で変更するグループダイヤルを表示します。
短縮ダイヤルに登録されている場合は、電話帳/短縮(キャッチ) を押して、ダイヤルボタンで、変更するグループダイヤルが登録されている２桁の短縮ダイヤルを押します。

グループ ダイヤル:G01

**3.** Menu/Set を押します。

ヘンコウ 1:スル 2:シナイ

**4.** 1 を押します。

**5.** グループに登録するワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを入れ直して Menu/Set を押します。変更しない場合も、Menu/Set を押して次の項目に進みます。

**6.** グループ名を変更する場合は、新しいグループ名を入力して Menu/Set を押します。

変更しない場合も Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

**7.** 停止/終了 を押して操作は終了です。

# ファクスを便利に送信する

## 画質を設定する〔一時的に変更する〕

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定して、ファクスを送信することができます。
ここで設定した画質モードは、ファクス送信が終わると設定が解除されます。

**1.** ADF に原稿をセットします。

**2.** ファクス画質 を繰り返し押します。

2 秒後に待機表示に戻ります。

ヒョウジュン

ファイン

**3.** 相手先のファクス番号を入力して、

ファクススタート を押します。

2 秒間、設定した画質が表示されます。

ファイン

**補足**

● 画質モードは、以下の 4 種類の中から選びます。お買い上げ時は「ヒョウジュン」に設定されています。
- ヒョウジュン（標準モード）: 大きくはっきり見える文字のとき
- ファイン（ファインモード）: 小さな文字のとき
- S.ファイン（スーパーファインモード）: 新聞のように細かい文字のとき
- シャシン（写真モード）: 写真を含む原稿のとき

**メモ**

● ファイン、スーパーファイン、写真モードで送ると、標準モードに比べて送信時間が長くかかります。
● 写真モードの送信で相手機が標準モードしかない場合は、画質が劣化します。

## 画質を設定する〔設定内容を保持する〕

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定して、ファクスを送信することができます。
ここで設定した画質モードは、次に変更するまで有効です。

**1.** ADF に原稿をセットします。

**2.**  を押します。



2. ガシツモード

**3.** 画質を ▲▼ で選択します。

ヒョウジュン

**4.** Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

**5.** 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押します。

ホカノ セッテイ？

1. スル 2. シナイ

**6.** 相手先のファクス番号を入力して、

ファクススタート を押します。

**補足**

- 画質モードは、以下の 4 種類の中から選びます。お買い上げ時は「ヒョウジュン」に設定されています。
  - ヒョウジュン（標準モード）：大きくはっきり見える文字のとき
  - ファイン（ファインモード）：小さな文字のとき
  - S. ファイン（スーパーファインモード）：新聞のように細かい文字のとき
  - シャシン（写真モード）：写真を含む原稿のとき

**メモ**

- ファイン、スーパーファイン、写真モードで送ると、標準モードに比べて送信時間が長くかかります。
- 写真モードの送信で相手機が標準モードしかない場合は、画質が劣化します。

## 原稿濃度を設定する

ファクス送信するときの原稿濃度を設定します。

**1.** ADF に原稿をセットします。

**2.** Menu/Set 2 2 1 を押します。

1.ゲンコウ ノウド

**3.** ▲▼ で原稿濃度を選択します。

ゲンコウ ノウド:フツウ

**4.** Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

**5.** 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押します。

ホカノ セッテイ?

1.スル 2.シナイ

**6.** 相手先のファクス番号を入力して、

ファクススタート を押します。

● 原稿濃度は、以下の 3 種類の中から選びます。お買い上げ時は「フツウ」に設定されています。
フツウ ：普通の文字の原稿が多いときに設定します。
ウスク ：濃い色の原稿が多い場合に設定します。
コク ：えんぴつ書きなどの薄い文字を使った原稿が多い場合に設定します。

メモ

● ファクスを送信したあと、原稿濃度の設定は自動的に「フツウ」に戻ります。
● 原稿濃度を濃く設定すると全体に黒っぽくなることがあります。相手先から「原稿が読みにくい」と言われたら調整してみてください。

## 送付書を付けて送信する

相手先の名前、電話番号、発信元データや通信日時などが記載された送付書を、原稿と一緒に送信することができます。

**1.** ADF に原稿をセットします。

**2.** Menu Set 2 2 8 を押します。

8. ソウフショ

**3.** ▲▼ で「コンカイノミ」を選択して、Menu Set を押します。

コンカイノミ

ここで選択した項目によって、以降の手順が違ってきます。

- 「プリントサンプル」を選んだ場合は、
す。
- 「ソウフショ :ON」を選んだ場合は、手順 6 へ進んでください。
- 「ソウフショ :OFF」を選んだ場合は、手順 7 へ進んでください。

**4.** ▲▼ で「コンカイノミ :ON」か「コンカイノミ :OFF」を選択して Menu Set を押します。

コンカイノミ :ON

「コンカイノミ :OFF」を選択した場合は、手順 7 へ進んでください。

**5.** ▲▼ でコメントを選択して、Menu Set を押します。

2. オデンワ クダサイ

## 6. 送信枚数を入力して、Menu Set を押します。

ウケツケマシタ

## 7. 他の設定を続けるときは ア 1 を、終了するには カ ABC 2 を押します。

ホカノ セッテイ？

1.スル 2.シナイ

## 8. 相手先のファクス番号を入力して、

ファクス スタート を押します。

**補足**

- 手順 5 での送付書のコメントは下記の 6 種類の中から選べます。
  1.（コメント ナシ）
  2. オデンワ クダサイ
  3. シキュウ
  4. シンテン
  5.（オリジナル コメント）
  6.（オリジナル コメント）

  2 種類のオリジナル コメントが登録できます。オリジナル コメントの登録のしかたは P. 79 を参照してください。
- 手順 3 で「ON」を選択した場合は、送信枚数は送付書にプリントされません。また、選んだコメントは、すべての送付書にプリントされます。
- 送付書の、「TO: 」の名前はあらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどで登録されていないと表示されません。また順次同報送信の場合にはこの欄の名前は表示されません。P. 80

**注意**

■ 発信元データ ( ファクス番号、電話番号、名前 ) を登録しないと「送付書送信の設定」ができません。P. 77

# 送付書のオリジナルコメントを登録する

送付書のコメント欄に記載するオリジナルコメントを作成し、登録することができます。

**1.** Menu/Set 2 2 9 を押します。

9.ソウフショ コメント

**2.** ▲▼でコメントを登録する箇所を選び Menu/Set を押します。

コメントは5か6に登録できます。

6.

**3.** コメントを入力して Menu/Set を押します。

**4.** 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押します。

ホカノ セッテイ？

1.スル 2.シナイ

**補足**

- オリジナル コメントを入れて送付書を送信したいときは P. 77 の手順5で、コメント5または6を選択することを忘れないでください。
- コメントは27文字まで入力できます。文字の入力のしかたについては P. 29 を参照してください。

## 同じ原稿を数か所に送信する〔順次同報送信〕

同じ原稿を、複数の送信先を設定して一度に送信することができます。送信先は、ダイヤルボタンで直接入力するか、または、あらかじめ登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルから指定します（合わせて最大 158 箇所まで指定できます）。

**1.** ADF に原稿をセットします。

**2.** ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、または電話帳から検索するか、またはダイヤルボタンによる直接入力で、1 件目の送信先を選択します。

**3.** Menu Set を押します。

**4.** 2 件目の送信先を手順 2 のように選択します。

**5.** Menu Set を押します。

**6.** すべての送信先を入力したら ファクススタート を押します。

**7.** 原稿の読み込みが開始され、指定した送信先に送信が開始されます。すべての送信が終了すると、自動的に同報送信レポートがプリントされ、待機状態に戻ります。

**8.** 同報送信レポートを確認して、「ｴﾗｰ」などで送られていない送信先にもう一度送信してください。

**補足**

- ダイヤルボタンで送信先を直接入力する場合は、50 件まで同時に送信できます。
- 電話帳からの検索で送信先を選択したのち、Menu Set を押すまでの間隔が 2 秒以内であれば Menu Set をもう 1 回押す必要があります。
- 送信先の入力のしかたについては、P. 29 を参照してください。
- グループ送信をするためには、あらかじめグループダイヤルの登録が必要です。詳細は、P. 70 を参照してください。
- 指定した順番に送信されます。

● 送信途中でキャンセルするには 停止/終了 を押してください。ディスプレイに送信先をキャンセルするかどうかを確認する画面が表示されるので、ディスプレイの表示に従ってください。すべての送信先をキャンセルしたい場合は Menu Set 2 4 で送信待ち確認に移行してからジョブを解除してください。P. 86

メモ

● 送信先を間違えたときは、停止/終了 を押して最初から入力し直してください。

● 送信できる枚数はメモリーの残量によっても制限されます。
● 送信先を重複して指定したときは自動的に重複している部分が削除されます。

● 原稿読込み中に「メモリー ガイッパイデス」と表示されたら 停止/終了 を押して中止するか ファクススタート を押して、読み込まれた分だけ送信してください。

## 原稿を直接送信する〔リアルタイム送信〕

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送信します。
急いで送信したいときや、送信している相手先を確認したいときに便利です。
また、メモリーに送信待ち原稿が多くある場合にリアルタイム送信で優先して原稿を送信できます。

**1.** ADF に原稿をセットします。

**2.** Menu/Set　カ ABC 2　カ ABC 2　ハ MNO 6 を押します。

6.リアルタイム　ソウシン

**3.** ▲▼ で原稿を直接送信するかしないかを選択します。

リアルタイム　ソウシン：ON

**4.** Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

**5.** 他の設定を続けるときは ア 1 を、終了するには カ ABC 2 を押します。

ホカノ　セッテイ？

1.スル　2.シナイ

**6.** 相手先のファクス番号を入力して、

ファクス スタート を押します。

**補足**

- 手順3では「ON」、「OFF」、「コンカイノミ」の中から選択します。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

**メモ**

- 本機は通常、メモリー送信をしていますが、リアルタイム送信を「ON」に設定すると、原稿はメモリーに蓄積されません。リアルタイム送信で指定できる相手先は１件です。

## 海外へ送信する〔海外送信モード〕

海外へ送信するときは、回線の状況などによって正常に送信できないことがあります。このようなときには海外送信モードを「ON」に設定してから送信を行うと、通信エラーが少なくなります。

**1.** ADF に原稿をセットします。

**2.** 

を押します。

0.カイガイソウシン モード

**3.** で「ON」を選択します。

カイガイソウシン：ON

**4.** Menu Set を押します。

ウケツケマシタ

**5.** 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押します。

ホカノ セッテイ？

1.スル 2.シナイ

**6.** 相手先のファクス番号を入力して、

ファクス スタート を押します。

メモ

- 海外へ送信するとき、相手のファクシミリとつながるまでに時間がかかるために送信できないことがあります。その場合は、手動送信で、相手の「ピー」という音を聞いてから ファクス スタート を押して送信してみてください。
- 1 回の送信が終了すると、海外送信モードの設定は、自動的に「OFF」に戻ります。
- 海外送信モードを「ON」にしたときは、通信速度が遅くなって送信時間がかかり、電話料金が高くなることがあります。

## 指定した時刻に送信する〔タイマー送信〕

24 時間以内の指定した時刻に、原稿を自動的に送信します。
電話会社が提供しているサービスの時間帯に指定して送信することで、通信料を節約できます。

**1.** ADF に原稿をセットします。

**2.** Menu/Set 2 2 4 を押します。

4. タイマー ソウシン

**3.** 送信する時刻を 24 時間制で入力します。

例：午後 3 時 5 分の場合は、「15：05」

シテイ ジコク=15:05

**4.** Menu/Set を押します。

1. ゲンコウ 2. メモリー

**5.** 1（原稿送信）または 2（メモリー送信）を選択します。

ウケツケマシタ

**6.** 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押します。

ホカノ セッテイ？

1. スル 2. シナイ

**7.** 相手先のファクス番号を入力して、

ファクススタート を押します。

メモ

- タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー通信レポートがプリントされ、送信結果を知らせてくれます。
- メモリーに読み込める原稿枚数は原稿の内容に影響されます。
- 「ゲンコウ」送信を選んだ場合は、送信時刻になるまで原稿は読み込まれません。ADF にセットしてある原稿を取らないでください。

## 送信する時刻を固定する〔タイマー送信時間〕

タイマー送信 P. 84 では、タイマー送信を行う時刻を毎回設定する必要があります。タイマー送信時間機能を利用して、送信する時刻を一度設定しておくと、同じ時刻にファクスを送信することができるため、毎回入力する手間が省けます。

**1.** Menu/Set 2（カ ABC） 2（カ ABC） 3（サ DEF） を押します。

3. タイマー　ソウシン　ジカン

**2.** 送信する時刻を 24 時間制で入力します。

例：午後 3 時 5 分の場合は、「15：05」

シテイ　ジコク=15:05

**3.** Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

**4.** 停止/終了 を押して操作は終了です。

## メモリー内の文書を同じ相手に一括送信する〔取りまとめ送信〕

メモリーに読み込まれているタイマー送信用のメッセージの中に、相手先と送信するタイマー時間が同じものがある場合、1 回の通信でタイマー設定された時間に送信することができます。

一度にまとめて送信することで、通信料を節約できます。

**1.**    を押します。



5. トリマトメ　ソウシン

**2.** ▲▼ で「ON」を選択します。

トリマトメ　ソウシン：ON

**3.** Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

**4.** 停止/終了 を押して操作は終了です。

## 送信待ち確認・送信待ちファクス解除

メモリー送信の待ち状況を確認し、メモリー送信、タイマー送信などのジョブを解除します。

**1.** Menu/Set 2 4 を押します。

4. ツウシン マチ カクニン

**2.** 解除する内容を ▲▼ で選択します。

確認のみのときは 停止/終了 を押します。

#001 12:34 スズキ

**3.** Menu/Set を押します。

カイジョ 1：スル 2：シナイ

**4.** 1 か 2 を押します。

ウケツケマシタ

**5.** 停止/終了 を押して操作は終了です。

補足

● 送信待ちのファクスがないときには「ｾｯﾃｲｶﾞｻﾚﾃｲﾏｾﾝ」と表示されます。

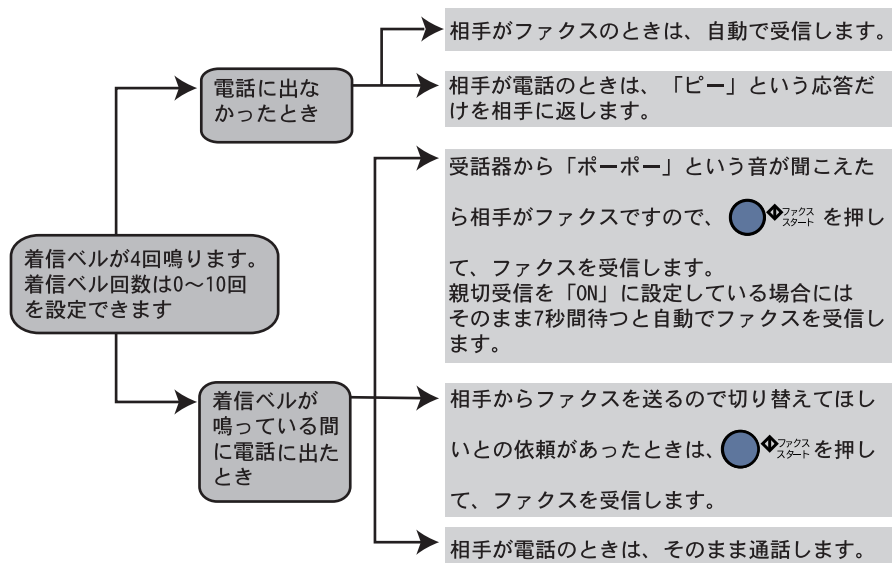
# ファクス受信


■ ファクスを受信する ........ 88
受信モードについて ........ 88
受信モードを選ぶ ........ 92
メモリー代行受信について ........ 93
着信ベル回数を設定する ........ 93
呼び出しベル回数を設定する ........ 94
手動でファクスを受信する ........ 95
親切受信で受信する ........ 96
外付電話機からファクスを受信させる〔リモート起動〕........ 97
リモート起動設定のしかた ........ 98
自動的に縮小受信する ........ 99

# ファクスを受信する

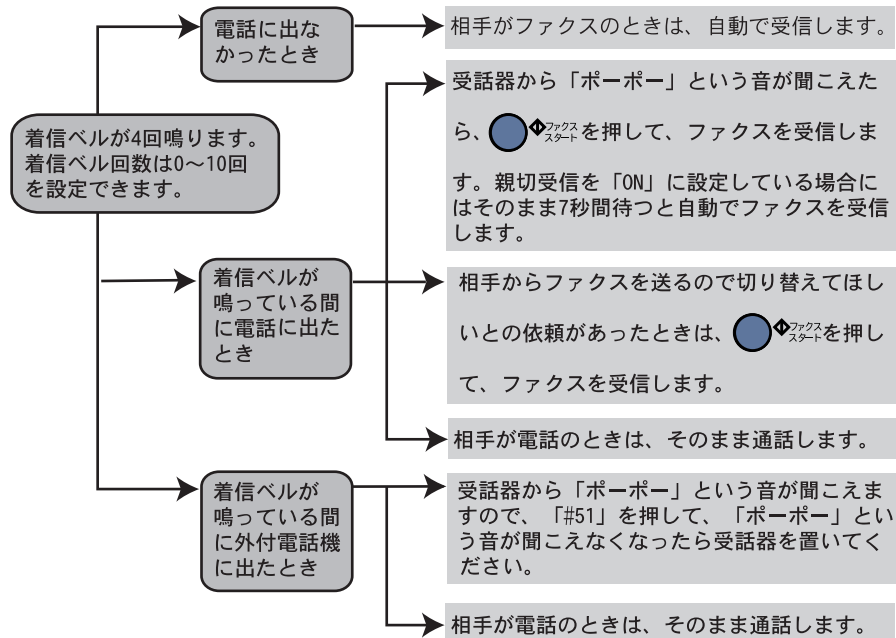
## 受信モードについて

### ● FAX 専用モード（ファクスを自動で受けたい）

本機をファクス専用として使用するときに設定すると便利なモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。

メモ

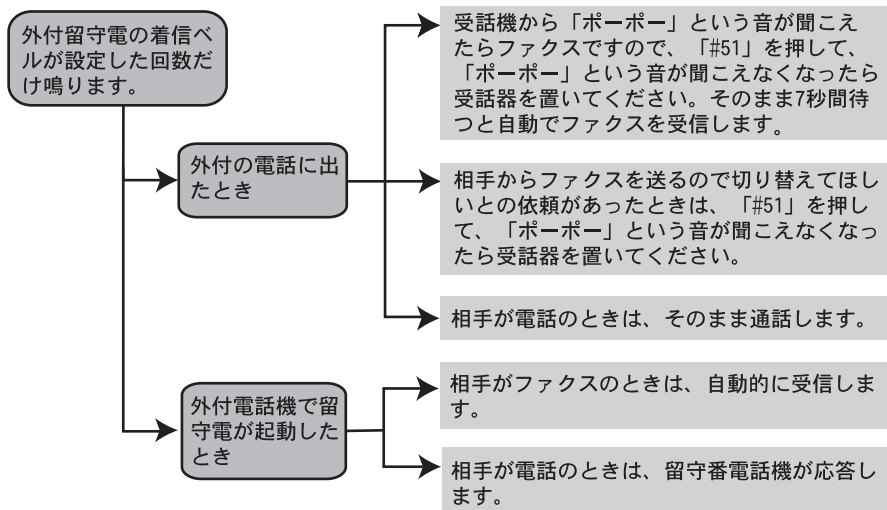
- 着信ベル回数は、0 ～ 10 回まで変更することができます。0 回に設定すると着信ベルを鳴らさずに自動受信（ノンコール受信）することができます。ファクスを早く受信したいときは着信ベル回数を 0 回か 1 回に設定してください。着信ベル回数の設定のしかたは P. 93 を参照してください。
- タイマー送信や、ポーリング送信の設定をしていない原稿がセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて ファクススタート を押してください。親切受信が「ON」に設定されていると原稿をセットした状態で受信できます。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して ファクススタート を押してください。
- 外付電話機で電話に出たときもファクス受信できます。受信機から「ポーポー」という音が聞こえますので、「#51」を押して、「ポーポー」という音が聞こえなくなったら受話器を置いてください。
- 受信モードの選択方法については、P. 92 を参照してください。
- FAX 専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。電話を主にお使いになるときは、 FAX 専用モードに設定しないでください。

## ● 自動切替モード（主として電話を受けたい、ファクスも自動で受けたい）

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは続けて呼び出す便利なモードです。

メモ

- 着信ベル回数は、0 ～ 10 回まで変更することができます。0 回に設定すると着信ベルを鳴らさずに自動受信（ノンコール受信）することができます。ファクスを早く受信したいときは着信ベル回数を 0 回か 1 回に設定してください。着信ベル回数の設定のしかたは P. 93 を参照してください。
- 自動切替モードでは、本機が着信すると電話に出なかったときでも相手に通話料金がかかります。
- 回線状態により「ポーポー」という音が聞こえてもファクスに切り替わらない場合があります。そのときは ファクススタート を押してから受話器を戻してください。
- 通話中に突然ファクス受信に切り替わってしまうときは、親切受信の設定を「OFF」にしてください。ファクス受信の場合は、ファクススタート を押して受話器を戻してください。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して ファクススタート を押してください。
- 外付電話機を接続しているときは外付電話機の着信ベルも一緒に鳴ります。着信ベルが鳴っている間に外付電話機で電話に出ると通話やファクス受信ができます。
- 相手が自動送信のファクスのときは着信ベル（7 ～ 10 回）が鳴っている間に相手機が電話を切ってしまうことがあります。このようなときは着信ベルを 6 回以下に設定してください。P. 93

## ● 外付留守電モード（ファクスを自動で受けたい）

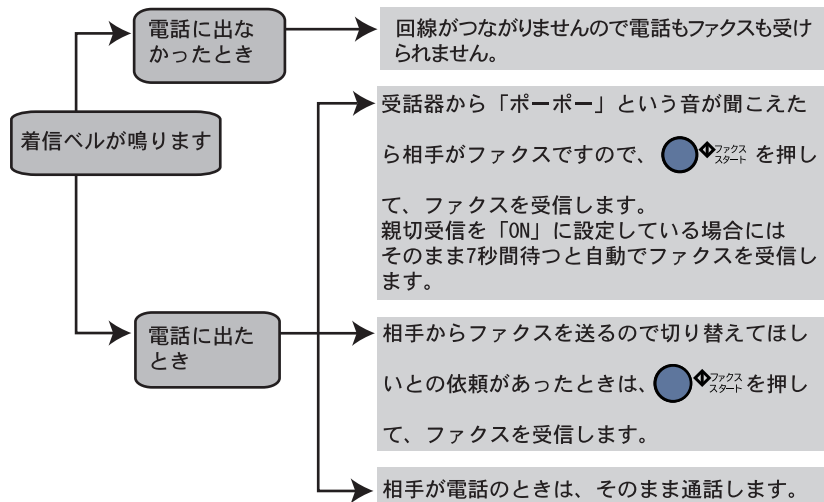
ファクスを自動で受けたい場合、また、外付けの留守番電話機で電話やメッセージを受けたい場合に適したモードです。
本機の外付電話（EXT.）端子に留守番電話機が接続されていることが前提です。
留守中のファクスやメッセージに対応できる受信モードです。

メモ

● 留守番電話機の設定に関する留意点を以下に示します。
  - 外付留守電モードにしておいてください。
  - 応答するまでのベル回数は短め（1 ～ 2 回）に設定してください。
  - 応答メッセージは、最初に 4、5 秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20 秒以内）に録音してください。
  - 応答メッセージには、BGM を録音しないでください。
  - 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

● メッセージがいっぱいで留守番電話機が自動的に応答しない場合は、ファクスも自動的に応答しません。

● 留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。

## ● 電話モード（電話として使いたい、ファクスを手動で受けたい）

相手を確認してから ファクススタート を押して、ファクスを受信します。本機を主に電話としてお使いになる方に適したモードです。

メモ

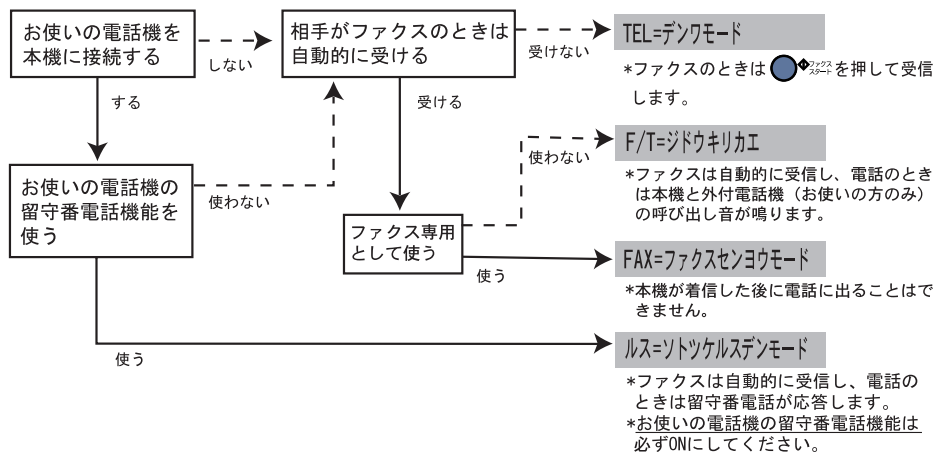
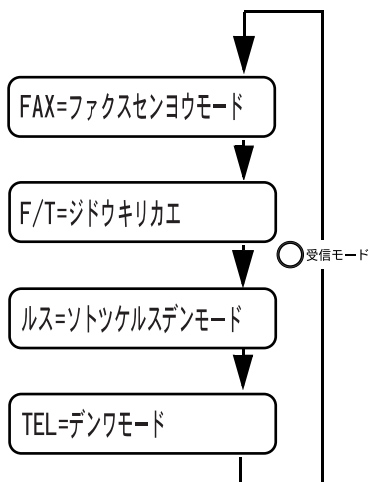
- NTT とキャッチホンまたはキャッチホンⅡの契約をされている方は、キャッチホン / キャッチホンⅡサービスを利用することができます（局番なしの 116 番にお問い合わせください）。
  キャッチホンがかかってくると、通話中に「プップッ」という音が聞こえますので、そのときに、「キャッチ」ボタンを押すと、新しくかかってきた相手の電話につながります。最初の相手には保留メロディが流れます。ファクスのときは「ポーポー」という音が聞こえますので、ファクススタート を押してファクス受信が完了するまで受話器を戻さずにお待ちください。最初の相手に戻るときは、もう一度「キャッチ」ボタンを押します。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像が乱れることが気になる方は、キャッチホンⅡのご利用をお奨めします。
- キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかってしまう場合がありますので、最初の相手との通話が終わってからファクス受信することをお奨めします。
- キャッチホンに出ずに、相手が先に電話を切った場合でも、本機のキャッチホンの呼び出し音がしばらく鳴り続けることがあります。
- タイマー送信や、ポーリング送信の設定をしていない原稿がセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて ファクススタート を押してください。親切受信が「ON」に設定されていると原稿をセットした状態で受信できます。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して ファクススタート を押してください。
- 外付電話機で電話に出たときもファクス受信できます。P. 89

## 受信モードを選ぶ

本機の使用目的に応じて、受信モードを選びます。

**1.** ◯受信モード を押してモードを選択します。

**2.** 停止/終了 を押して操作は終了です。

使用目的と受信モードの対応は以下のとおりです。

モードを選択した場合の、ディスプレイの表示は以下のように切り替わります。

## メモリー代行受信について

以下の状況になった場合、本機は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します（メモリー代行受信）。

- **記録紙がなくなったとき**（キロクシ カクニン）
- **記録紙が詰まったとき**（キロクシ カクニン）
- **記録紙のサイズを間違ってセットしたとき**（キロクシサイズ ヲ カクニン）

ディスプレイの指示に従って処置をすると、メモリーが代行受信したファクスを自動的にプリントします。プリントされたファクスはメモリーから消去されます。
メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。

## 着信ベル回数を設定する

「FAX 専用モード」と「自動切替モード」のときに、自動受信するまでの呼び出し回数を設定します。

**1.** Menu/Set    を押します。

1.チャクシンベル カイスウ

**2.** ▲▼ で着信ベル回数を選択します。

カイスウ：10

**3.** Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

**4.** 停止/終了 を押して操作は終了です。

**補足**

- 着信ベル回数は、0 ～ 10 回まで変更することができます。お買い上げ時は「4 回」に設定されています。0 回に設定すると着信ベルを鳴らさずに自動受信（ノンコール着信）することができます。ファクスを早く受信したいときは着信ベル回数を 0 回か 1 回に設定してください。

**メモ**

- 「FAX 専用モード」や「自動切替モード」のとき、外付電話機の着信ベルも、ここで設定された回数だけ着信ベルが鳴ります。
- 着信ベルの音量を設定するには P. 46 を参照してください。

## 呼び出しベル回数を設定する

「自動切替モード」のときに電話がかかってくると、着信ベルの後に「トゥルッ トゥルッ」と呼び出しベルが鳴ります。このベルの鳴る回数を設定します。

**1.** Menu/Set 2 1 2 を押します。

2.ヨビダシベル カイスウ

**2.** ▲▼ で呼び出し回数を選択します。

カイスウ：20

**3.** Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

**4.** 停止/終了 を押して操作は終了です。

補足

● 呼び出しベル回数は 10/15/20 の中から選びます。お買い上げ時は「10 回」に設定されています。

メモ

● 本機は、設定された回数だけ電話呼び出しベルを鳴らした後、自動的に電話を切ります。

# 手動でファクスを受信する

着信ベルが鳴っている間に受話器を取り、ファクスを受信したいときの操作です。

**1.** 着信ベルが鳴ったら、受話器を取ります。

**2.** 相手がファクスを送りたい場合、本機に記録紙がセットされていることを確認します。

**3.** ファクスに切り替えることを相手に伝えて ファクススタート を押します。

**4.** 受話器を戻します。

メモ

- 受信モードについては P. 88 を参照し、用途に合ったモードを設定してください。
- 受話器を取ったとき「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスを自動送信しているときです。ファクススタート を押してください。親切受信を「ON」に設定している場合は、そのまま７秒間待つと自動でファクスを受信できます。
- 親切受信を「ON」に設定している場合は、原稿をセットしたままで受信することができます。
- 相手が自動送信のファクスのときは、着信ベル（7 ～ 10 回）が鳴っている間に相手が電話を切ってしまう場合があります。このようなときは着信回数を 6 回以下に設定してください。P. 93
- 相手が手動送信のファクスのときは受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認して ファクススタート を押してください。

注意

■ 原稿をセットしたままでは受信できません。原稿を取ってください。ただし、親切受信を「ON」に設定している場合は、原稿をセットしたままで受信することができます。

メモ

- 選択した受信モードは、ディスプレイに日付、時刻とともに表示されます。お買い上げ時は「FAX 専用モード」に設定してあります。

## 親切受信で受信する

相手から自動送信でファクスが送られてきた場合、本機が自動受信を開始する前に受話機をとってしまったときでも、何も操作しなくてもファクスを受信できる便利な機能です。
お買い上げ時は、「OFF」に設定してあります。

**1.** Menu/Set 2 1 3 を押します。

3.シンセツ ジュシン

**2.** ▲▼ で選択します。

シンセツ ジュシン:ON

**3.** Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

**4.** 停止/終了 を押して操作は終了です。

補足

● 受話器に出て「ポーポー」という音が聞こえた場合は、約7秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。ディスプレイに「ジュシン」と表示されたら受話器を戻します。

メモ

● 親切受信を「ON」に設定しておくと、ファクスを自動で受信します。「OFF」に設定している場合は、外付電話機で電話に出て、受話器から「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、ファクススタート を押して受信します。
● 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、ファクスに切り替わらないときがあります。そのときは ファクススタート を押してください。
● 通話中の声をファクスの「ポーポー」という音と間違えて、突然ファクスに切り替わってしまうことがあるときは、親切受信の設定を「OFF」に設定してください。
● 親切受信の設定が「OFF」の場合でも、外付電話機から操作をしてファクスを受信することができます。P. 96

## 外付電話機からファクスを受信させる〔リモート起動〕

本機には親切受信機能 P. 96 があるため、通常は受話器をとって「ポーポー」という音が聞こえた後、そのまま待てばファクスを受信します。しかし、親切受信がうまくはたらかないか、親切受信の設定が「OFF」になっている場合などに本機に接続されている外付電話機から操作をしてファクス起動を開始させることができます。

**1.** 外付電話機の受話器を持ったまま､ダイヤルボタンでリモート起動番号「# 51」を入力します。受話器は約 5 秒後に戻します。

**2.** 本機がファクス受信を始めます。

補足

- リモート起動番号とは、本機の外付電話（EXT.）端子に接続されている外付電話機から、本機をリモート起動させるときに使用するものです。お買い上げ時は「#51」に設定されています。

メモ

- この機能は、電話機の種類や地域の諸条件により使用できないことがあります。

注意

■ 外付電話機をダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある場合でリモート起動を行うときは、トーンボタンを押して、プッシュ回線（PB）に切り替えてからリモート起動番号を入力します。

## リモート起動設定のしかた

リモート起動を使用するときは、リモート起動設定を「ON」にする必要があります。下記の手順で設定してください。

**1.** Menu/Set 2 1 4 を押します。

4.リモート バンゴウ

**2.** ▲▼で「ON」を選択します。

リモート キドウ:ON

**3.** Menu/Set を押します。
リモート起動番号が表示されます。
リモート起動番号（3 桁）を変更するときは、ダイヤルボタンで上書きします。

キドウ バンゴウ：#51

**4.** Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

**5.** 停止/終了 を押して操作は終了です。

補足
● リモート起動番号は自分の好きな番号に変更することができます。

メモ
● この機能は、電話機の種類や地域の諸条件により使用できないことがあります。

## 自動的に縮小受信する

A4の長さを超える原稿が送信されてきたときは、A4サイズの記録紙に入りきらず2枚に分かれてしまうため、自動的にA4サイズの記録紙に収まるように縮小してプリントする機能です。

1. Menu/Set 2 1 5 を押します。

5.ジドウ シュクショウ

2. ▲▼で選択します。

ジドウ シュクショウ:ON

3. Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

4. 停止/終了 を押して操作は終了です。

メモ

- ファクス受信時に上下の文字が欠けてしまう場合は、自動縮小受信を「ON」に設定してください。お買い上げ時は、「ON」に設定されています。
- 送信原稿の長さに応じて自動的に縮小率を決め、約355mmまでの原稿を1枚に縮小受信します。約355mmを超えた原稿は縮小せずに2枚に分けて受信します。
- 自動縮小受信を「OFF」に設定したときに、受信のたびに白紙がもう1枚排出されることがあります。そのときは、自動縮小受信を「ON」に設定してください。
- 原稿の長さは目安です。回線の状況によって変わります。
- メモリー残量が少ないときや、原稿が複雑な場合は自動縮小されない場合があります。
- 自動受信を「ON」に設定した場合、相手側の原稿サイズがA4またはそれ以下のときは、若干、縮小されて(97%程度)受信します。

# 6章

# ファクスの応用機能

■ 相手の操作で原稿を送信する ........................................ 102
ポーリング送信の設定 ........................................ 102
機密ポーリング送信の設定 ........................................ 103

■ 本機の操作で相手の原稿を受信する ........................................ 105
ポーリング受信の設定 ........................................ 105
機密ポーリング受信の設定 ........................................ 106
時刻指定ポーリングの設定 〔タイマーポーリング受信〕............ 107

■ メモリー受信を設定する ........................................ 108
メモリー受信を設定する ........................................ 108
メモリーに入ったファクスを出力する ........................................ 109

■ 電話呼び出し機能とファクス転送 ........................................ 110
電話呼び出し機能について ........................................ 110
電話呼び出し機能の設定を行う ........................................ 110
ファクス転送について ........................................ 111
ファクス転送の設定を行う ........................................ 112

■ 外出先から本機を操作する：リモコンアクセス ........................ 113
リモコンアクセスをする ........................................ 113
リモコンアクセスで設定できる機能〔コマンド一覧〕.................. 115
暗証番号を設定する ........................................ 118

# 相手の操作で原稿を送信する

## ポーリング送信の設定

受信側のファクシミリからの操作で、送信側のファクシミリのメモリーに入っている原稿を自動的に送信させることをポーリング通信といいます。
本機が送信側のときはポーリング送信といいます。

**1.** ADF に原稿をセットします。

**2.** Menu Set 2 2 7 を押します。

7.ポーリングソウシン

**3.** ▲▼ で「ヒョウジュン」を選択します。

ポーリング:ヒョウジュン

**4.** Menu Set を押します。

1.ゲンコウ　2.メモリー

**5.** 1（原稿送信）または 2（メモリー送信）を選択します。

ウケツケマシタ

**6.** 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押します。

ホカノ　セッテイ？

1.スル　2.シナイ

**7.** ファクス スタート を押すと、ポーリング送信待機状態になります。メモリー送信の場合は、原稿がメモリーに読み込まれます。

ファクススタートヲ　オス

メモ

- 相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信が終了すると、自動的にポーリングレポートがプリントされ、送信結果を知らせてくれます。
- ポーリング通信の場合、通話料は受信側の負担となります。

## 機密ポーリング送信の設定

受信側と送信側が同じ 4 桁のパスワードを使用して、ポーリング送信待機中の原稿が第三者に渡らないようにする「機密ポーリング送信」を行うことができます。
機密ポーリング送信の設定をする前に、受信側と 4 桁のパスワードを決めておく必要があります。

**1.** ADF に原稿をセットします。

**2.** Menu/Set 2 2 7 を押します。

7.ポーリングソウシン

**3.** ▲▼で「キミツ」を選択します。

ポーリング:キミツ

**4.** Menu/Set を押します。

ポーリング:XXXX

**5.** 4桁のパスワードを入力して Menu/Set を押します。

1.ゲンコウ　2.メモリー

**6.** 1（原稿送信）または 2（メモリー送信）を選択します。

ウケツケマシタ

**7.** 他の設定を続けるときは 1 を、終了するには 2 を押します。

ホカノ　セッテイ？
1.スル　2.シナイ

## 8. ファクス スタート を押すと、機密ポーリング送信待機状態になります。メモリー送信の場合は、原稿がメモリーに読み込まれます。

ファクススタートヲ　オス

補足

- ディスプレイに「ポーリング　タイキチュウ」と表示されているときは、ポーリング送信が設定されています。セットしてある原稿を取らないでください。原稿を取り除くと、送信時に相手側がエラーになります。
- 相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング通信が行えます。ただし、相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。

メモ

- ポーリング送信が終了すると、自動的にポーリングレポートがプリントされ、送信結果を知らせてくれます。
- ポーリング送信待機中でもそのまま電話できます。原稿がセットされている場合は、原稿を取り除かずに電話をかけてください。
- ポーリング送信待機中に電話がかかってきたらそのまま電話に出てください。ファクスが送られてきたら ファクス スタート を押してファクスを受信してください。相手から自動受信で送られてきたファクスは自動的に受信します。
- ポーリング送信を解除したいときは P. 86 を参照してください。

# 本機の操作で相手の原稿を受信する

## ポーリング受信の設定

受信側のファクシミリからの操作で、送信側のファクシミリにセットしてある原稿を自動的に送信させることを、ポーリング通信といいます。
本機が受信側のときはポーリング受信といいます。

**1.** Menu/Set 2 1 7 を押します。

7.ポーリングジュシン

**2.** ▲▼ で「ヒョウジュン」を選択します。

ポーリング:ヒョウジュン

**3.** Menu/Set を押します。

ダイヤル　シテクダサイ
ファクススタートヲ　オス

**4.** 相手先のファクス番号を入力して

ファクススタート を押すと受信を開始します。

メモ

- ポーリング方式のファクス情報サービスも一種のポーリング受信です。
- 相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。
- 相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。

## 機密ポーリング受信の設定

受信側と送信側が同じ 4 桁のパスワードを使用して「機密ポーリング受信」を行うことができます。
機密ポーリング受信の設定をする前に、送信側と 4 桁のパスワードを決めておく必要があります。送信側とパスワードが一致したときだけ受信できます。

**1.**    を押します。

7.ポーリングジュシン

**2.** で「キミツ」を選択します。

ポーリング:キミツ

**3.** を押します。

ポーリング:XXXX

**4.** 4 桁のパスワードを入力して を押します。

ダイヤル シテクダサイ
ファクススタートヲ オス

**5.** 相手先のファクス番号を入力して

 ファクススタート を押すと受信を開始します。

**補足**

- 相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング通信が行えます。ただし、相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。

**メモ**

- 本機に原稿がセットされていないことを確認してから行ってください。
- 受話器を置いたまま操作します。
- 相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。
- ポーリング送信の内容は、原稿送信のときは 1 回のみの送信となります。メモリー送信のときは何回も送信できます。

## 時刻指定ポーリングの設定 〔タイマーポーリング受信〕

ポーリング受信する時刻を設定して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を自動的に受信することができます。

**1.** Menu/Set 2（カ ABC） 1（ア） 7（マ PQRS） を押します。

7.ポーリングジュシン

**2.** ▲▼ で「タイマー」を選択します。

ポーリング:タイマー

**3.** Menu/Set を押します。

シテイ　ジコク=XX:XX

**4.** 指定時刻を 24 時間制で入力します。

例：午後 3 時 5 分の場合は、「15：05」

シテイ　ジコク=15:05

**5.** Menu/Set を押します。

ダイヤル　シテクダサイ

ファクススタートヲ　オス

**6.** 相手先のファクス番号を入力して

ファクススタート を押します。指定時刻になると自動的にポーリング受信します。

メモ

- 本機に原稿がセットされていないことを確認してから行ってください。
- 時刻指定ポーリング（タイマーポーリング受信）を解除したいときは P. 86 を参照してください。

# メモリー受信を設定する

## メモリー受信を設定する

メモリー受信を「ON」に設定すると、受信したファクスをメモリーに蓄積するとともにプリントアウトします。また、電話呼び出し機能 P. 110・ファクス転送機能 P. 111・リモコンアクセス P. 113 が使用できます。

**1.** Menu/Set 2 6 2 を押します。

2.メモリー ジュシン

**2.** で「ON」を選択します。

メモリー ジュシン：ON

**3.** Menu/Set を押します。

ウケツケマシタ

**4.** 停止/終了 を押して設定は終了です。

メモ

- メモリー受信は最大 60 通信、または 400 ページまでできます（ただしメモリーの残量や原稿の内容により変化します）。
- 記録紙がないとき、メモリー受信の設定が「OFF」に設定されていても、メモリー代行受信を行います。
- メモリー受信したファクスが蓄積されているとき「OFF」に設定すると「ショウキョ 1.スル 2.シナイ」が表示されます。1 を押すとまだ一度もプリントされていないファクスメッセージがすべてプリントされた後、メモリーから内容が消去されます。
- メモリー受信を「ON」に設定してもメモリー受信ができなくなったときは、受信用メモリーがいっぱいです。メモリー受信の設定を「OFF」にして、メモリーからファクスメッセージを消去してください。お買い上げ時は「OFF」になっています。

# メモリーに入ったファクスを出力する

メモリー受信が「ON」に設定されているときに、メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスをプリントアウトするとともに、メモリーから消去します。

**1.** Menu Set　カ ABC 2　ハ MNO 6　タ GHI 4 を押します。

4.ファクス シュツリョク

**2.** ファクス スタート を押すとプリントを開始します。

プリント チュウ

**3.** プリント終了後 停止/終了 を押します。

メモ

● メモリーに何も蓄積されていないと、ディスプレイに「データガアリマセン」と表示されますので 停止/終了 を押してください。

# 電話呼び出し機能とファクス転送

## 電話呼び出し機能について

メモリー受信を「ON」に設定すると、受信したファクスをメモリーに蓄積することができます。ファクスメッセージがメモリーに記憶されると、外出先の電話に知らせることができます。

**1.** ファクスを受信します。

**2.** ファクスメッセージをメモリーに記憶します。

**3.** 登録した呼び出し先の電話番号にダイヤルします。

**4.** 電話に出ると、「ポッポッ」という音でメッセージが記憶されたことを知らせます。

## 電話呼び出し機能の設定を行う

電話呼び出し機能を有効にする場合は、下記の手順で操作します。その後、メモリーにファクスメッセージが記憶されると自動的に電話呼び出しを始めます。お買い上げ時は「OFF」になっています。

**1.** Menu Set 2（カ ABC） 6（ハ MNO） 1（ア） を押します。

1.テンソウ

**2.** ▲▼ で「デンワ　ヨビダシ」を選択します。

デンワ　ヨビダシ

**3.** Menu Set を押します。

デンワ　ヨビダシ#：

**4.** 呼び出し先番号を入力して Menu Set を押します。

ウケツケマシタ

**5.** 停止/終了 を押して登録と設定は終了です。

メモ

● 電話呼び出し機能を設定したときは、登録しておいた電話番号にダイヤルしてメッセージを受けたことを知らせます。外出先のファクスから暗証番号を使用してファクスメッセージを取り出すことができます。

注意

■ 電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は、外出先から変更することはできません。

## ファクス転送について

メモリーに蓄積したファクスメッセージを、別のファクスに転送することができます。

**1.** 留守中にファクスを受信します。

**2.** ファクスメッセージをメモリーに記憶します。

**3.** 登録したファクス転送番号にダイヤルします。

**4.** メモリーに記憶したファクスメッセージを転送先のファクシミリに送信します。

注意

■ 電話呼び出し機能とファクス転送を同時に使用することはできません。

■ ファクス転送するときは、メモリー受信を「ON」に設定してください。
P. 108

## ファクス転送の設定を行う

ファクス転送を有効にする場合は、下記の手順で操作します。その後、メモリーにファクスメッセージが記憶されると自動的にファクス転送を始めます。お買い上げ時は「OFF」になっています。

**1.** Menu/Set 2 6 1 を押します。

1.テンソウ

**2.** で「ファクス　テンソウ」を選択します。

ファクス　テンソウ

**3.** Menu/Set を押します。

ファクス　テンソウ#：

**4.** 転送先番号を入力して  を押します。

ウケツケマシタ

**5.** 停止/終了 を押して登録と設定を終了します。

メモ

- ファクス転送先の電話番号は外出先から変更することができます。P. 117
- 転送先と市外局番が異なるときは、市外局番も入力します。
- 転送先は最大 20 桁まで入力できます。
- ファクス転送が終了すると、メモリーに蓄積されたファクスは自動的に消去されます。
- メモリーにファクスを受信後、ファクス転送の設定を「ON」にしてもファクスは転送されません。

# 外出先から本機を操作する：リモコンアクセス

## リモコンアクセスをする

外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリを使い、暗証番号やリモコンアクセスコマンドを入力することにより、外出先から本機をリモートコントロールして、ファクス転送などの操作を行うことができます。

メモ

- 暗証番号は、外出先から本機をリモートコントロールするための番号であり、3 桁の数字と「＊」から構成されています。お買い上げ時は「159 ＊」に設定されています。また、リモコンアクセスコマンドは、外出先から本機に対する設定を変更するための番号です。

**1.** 外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリから本機の電話番号にダイヤルします。

**2.** 本機が応答し、約 4 秒間無音状態になりますので、その間に暗証番号をダイヤルボタンで入力します。

**3.**「ポー」という応答音が聞こえたら、本機がメッセージを受信し、メモリーに蓄積していることを示します。

**4.** 次に短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえます。この間に、リモコンアクセスコマンドをダイヤルボタンで入力します。

**5.** リモコンアクセスを終了するときは、9 0 を入力します。

補足

- メモリーに蓄積されていないときは「ポー」という音はしないので、そのまま手順 4 に進みます。
- 「ピピッ」という応答音が聞こえてこないときは、繰り返し暗証番号を入力してください。回線状態などにより、暗証番号を受けられないことがあります。
- 1 つのコマンドの入力が終了したら、短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる間に、次のコマンドを入力することができます。

メモ

- 暗証番号を入力するタイミングについて以下に示します。
  - FAX 専用モードのとき
    メモリー受信の設定が「ON」の場合、本機が応答すると、約 4 秒間無音になりますので、この間に入力してください。また、メモリー受信の設定が「OFF」のときは、FAX 信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態の間に入力してください。
  - 自動切替モードのとき
    本機が応答すると約 4 秒間無音状態になりますので、この間に入力してください。
  - 外付留守電モードのとき
    外付留守番電話が応答した後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに入力してください（外付留守番電話に応答メッセージを録音する際に、あらかじめ 4 〜 5 秒くらい無音状態を入れておいてください）。
  - 電話モードのとき
    呼出ベルが約 35 回鳴るまで待った後約 30 秒無音状態になりますので、この間に入力してください。
- 暗証番号を自分専用の番号に変更することにより、本機への接続相手を限定することができます。変更のしかたは P. 118 を参照してください。
- リモートアクセスコマンドについては P. 115 を参照してください。
- メモリー受信されたファクスメッセージをリモコンアクセスで取り出したいときは、転送の設定をファクス転送にしないでください。
- トーン信号を送出できない電話機からのリモコンアクセスはできません。
- 間違った操作を行ったときや正しい設定・変更ができなかったときには、短い「ピピピッ」という応答音が聞こえます。正しく設定できたときは少し長い「ピー」という応答音が 1 回聞こえます。
- 「ピピッ」という音が続けて聞こえているときに、何もコマンドを入力せずに 30 秒以上経過すると、リモコンアクセスが終了します。

## リモコンアクセスで設定できる機能〔コマンド一覧〕

リモコンアクセスコマンドを入力することにより、本機を下記のようにリモートコントロールすることができます。

| 機　　　能 | コマンド |
|---|---|
| 電話呼び出し、ファクス転送の設定を OFF にします。 | 951 |
| ファクス転送に設定します（番号未登録時は設定できません）。 | 952 |
| 電話呼び出しに設定します（番号未登録時は設定できません）。 | 953 |
| ファクス転送番号の登録や変更をします。転送番号を登録した後、# を２回入力します。転送番号を登録すると、自動的にファクス転送の設定が「ON」になります。 | 954 |
| メモリー受信を「ON」に設定します。 | 956 |
| メモリー受信を「OFF」に設定します。 | 957 |
| メモリーが記憶したファクスメッセージを取り出します。 | 962 |
| メモリーが記憶したファクスメッセージを消去します。 | 963 |
| ファクスメッセージを記憶しているかを確認します。記憶しているときは「ピー」という音が、記憶していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。 | 971 |
| 受信モードを「外付留守電モード」に変更します。 | 981 |
| 受信モードを「自動切替モード」に変更します。 | 982 |
| 受信モードを「FAX 専用モード」に変更します。 | 983 |
| リモコンアクセスを終了します。 | 90 |

上記の機能のうち、「外出先からファクスを取り出す方法（962）」と「外出先からファクス転送番号を変更する方法（954）」について手順を示します。

## ● 外出先からファクスを取り出す

**1.** 外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリの受話器を取ります。

**2.** 本機の電話番号をダイヤルします。

このとき、リモコンアクセスする電話機がダイヤル回線の場合は、ダイヤル後、電話機のトーンボタンを押してください。

**3.** 本機が応答したら、最初の無音４秒間に

（暗証番号）を押します。

**4.**「ポー」という応答音が聞こえたら、本機がファクスを受信し、メモリーに記憶していることを示しています。

**5.** 取り出したいファクスメッセージが記憶されているときは、「ピピッ」という音が鳴り終わったときに、9 6 2 を押します。

**6.** 続けて、外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力し、最後に # を２回押します。

**7.**「ピー」という応答音が聞こえたら、受話器を置きます。

**8.** 本機からファクスが転送されます。

## ● 外出先からファクス転送番号を変更する

**1.** 外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリの受話器を取ります。

**2.** 本機の電話番号をダイヤルします。

**3.** 本機が応答したら、最初の無音4秒間に

（暗証番号）を押します。

**4.** 「ピピッ」という音が続けて聞こえている間に、

を押します。

**5.** 新しい転送番号をダイヤルボタンで入力します。
転送番号は最大20桁まで入力できます。
最後に （記号2 #） を2回押します。

**6.** 「ピー」という応答音が聞こえたら、（ラ WXYZ 9）（ワ 0）を押して受話器を置きます。

**補足**

- 「＊」や「#」は転送番号として登録することはできません。転送番号の間にポーズを入れたいときには、（記号2 #）を1回押します。（記号2 #）を2回押すと転送番号の入力終了を表します。
- 受話器を持ったままにしていても、操作しているファクシミリによっては回線が切れることがありますので、その場合はもう一度かけ直した後、手順3の操作を行ってください。

## 暗証番号を設定する

外出先から本機をリモートコントロールするための暗証番号（3 桁の数字と＊）を設定します。お買い上げ時は「159 ＊」に設定されています。

**1.** Menu Set　カ ABC 2　ハ MNO 6　サ DEF 3 を押します。

3. アンショウバンゴウ

**2.** ダイヤルボタンで新しい暗証番号を入力します。
【例】 160 ＊に設定するとき

アンショウバンゴウ：160＊

**3.**  を押します。

ウケツケマシタ

**4.** 停止/終了 を押して設定は終了です。

メモ

● 暗証番号は「3 桁の数字」を入力してください。4 桁目の＊は変えることができません。また、01 ＊、02 ＊などは設定できません。

# レポート・リスト

■ レポート・リストのプリント .................................................. 120
機能案内リストをプリントする.................................................. 121
ダイヤルリストをプリントする.................................................. 121
通信管理レポートをプリントする .............................................. 121
送信レポートをプリントする .................................................. 122
設定内容リストをプリントする.................................................. 122
消耗品シート（ご注文シート）をプリントする .......................... 122

本書の使い方・目次
操作パネル
ご使用前の準備
ご使用前の基本設定
ファクス送信
ファクス受信
ファクスの応用機能
レポート・リスト
コピー
プリンタとして使う
PC-FAX
日常のお手入れ
困ったときには
用語集・仕様・索引

# レポート・リストのプリント

本機では、設定によって、管理情報や設定内容に関するレポートおよびリストをプリントすることができます。プリントできるレポートおよびリストは、以下のとおりです。

| No | レポート・リスト | 内　容 |
|---|---|---|
| 1 | 機能案内リスト | 簡単操作リストをプリントします。 |
| 2 | ダイヤルリスト | ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルやグループダイヤルに登録されている内容をプリントします。 |
| 3 | 通信管理レポート | 送信・受信した最新の 200 通信分の結果をプリントします。 |
| 4 | 送信レポート | 送信後に、最後に送ったファクスの送信結果をプリントします。 |
| 5 | 設定内容リスト | 各種機能に登録・設定されている内容をプリントします。 |
| 6 | 消耗品シート | 消耗品をファクスで注文する際の、ご注文シートをプリントします。 |

以下のレポートについては、自動的にプリントされるため、設定は不要です。

## ● タイマー通信レポート

タイマー通信が終了するとプリントされます。

## ● ポーリングレポート

ポーリング送信が終了するとプリントされます。

## ● 同報送信レポート

順次同報送信が終了するとプリントされます。

**注意**

■ 電源が入っていない状態のまま 2 ～ 3 日放置すると、通信管理レポートの内容が消去されてしまいます。ご注意ください。

## 機能案内リストをプリントする

簡単操作のリストをプリントします。

**1.** リスト出力 ア 1 を押します。

プリント チュウ

## ダイヤルリストをプリントする

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤルに登録されている内容を、登録番号順にプリントします。

**1.** リスト出力 カ ABC 2 を押します。

プリント チュウ

## 通信管理レポートをプリントする

送信・受信した最新の 200 通信分の結果をプリントします。

**1.** リスト出力 サ DEF 3 を押します。

プリント チュウ

**補足**

- 通信管理レポートの出力間隔を設定することができます。手順を以下に示します。
  1. Menu Set 2 5 2 を押します。
  2. で間隔を設定し Menu Set を押します。
  3. 開始時間を入力し Menu Set を押します。
  4. 停止/終了 を押して操作は終了です。
- 出力間隔は、プリントしない /1 時間ごと /3 時間ごと /6 時間ごと /12 時間ごと /24 時間ごと /2 日ごと /4 日ごと /7 日ごとに設定することができます。お買い上げ時は、プリントしない（レポート シュツリョク シナイ）に設定されています。
- 「レポート シュツリョク シナイ」に設定したときは、必要なときに リスト出力 サ DEF 3 を押すことによってすぐにプリントすることができます。このとき通信管理レポート内容は、メモリからクリアされません。
- 「レポート シュツリョク シナイ」以外に設定したときは、開始時間を基準にしてプリントします。このとき通信管理レポート内容は、メモリからクリアされます。

## 送信レポートをプリントする

送信後に、最後に送ったファクスの送信結果をプリントします。

**1.** リスト出力 4 を押します。

プリント チュウ

補足

● 送信レポートを自動的にプリントするときの設定を変更することができます。手順を以下に示します。

1. Menu/Set 2 5 1 を押します。
2. ▲▼でプリントするときの設定を選択します。
3. Menu/Set を押します。
4. 停止/終了 を押して操作は終了です。

● プリントするときの設定は、以下の 4 種類の中から選びます。お買い上げ時は「OFF ＋イメージ」に設定してあります。

ON: 送信後に毎回自動的にプリントします。
ON+ イメージ :「ON」の動作に加えて、ファクスの 1 ページ目の画像も表示されます。
OFF : 通信エラーが発生したときやうまく送信できなかったときに、自動的にプリントします。
OFF+ イメージ :「OFF」の動作に加えて、ファクスの 1 ページ目の画像も表示されます。

メモ

● リアルタイム送信時には画像は出力されません。

## 設定内容リストをプリントする

各種機能に登録・設定されている内容を確認するときにプリントします。

**1.** リスト出力 5 を押します。

プリント チュウ

## 消耗品シート（ご注文シート）をプリントする

消耗品をファクスでご注文いただくためのご注文シートをプリントします。

**1.** リスト出力 6 を押します。

プリント チュウ

# コピー


■ コピーをする前に ........ 124
　コピー機能について ........ 124
　原稿サイズ ........ 125
　コピーの読み取り範囲 ........ 125

■ コピーをする ........ 127
　ADF を使ってコピーする ........ 127

■ コピー設定：一時的に設定する ........ 129
　拡大・縮小コピーをする ........ 130
　コピー枚数を設定する ........ 131
　原稿のタイプを設定する ........ 132
　コピーの明るさを設定する ........ 133
　複数部コピーをする〔スタック／ソートコピー〕........ 133
　マルチレイアウトコピー ........ 135
　記録紙のタイプを設定する ........ 136

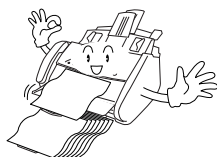
■ コピー設定：設定内容を保持する ........ 137
　お買い上げ時の設定を変更する〔原稿タイプ〕........ 138
　お買い上げ時の設定を変更する〔コントラスト〕........ 138
　お買い上げ時の設定を変更する〔記録紙タイプ〕........ 139

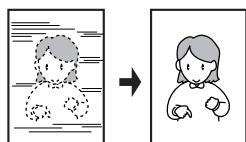
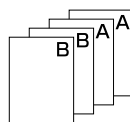
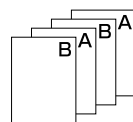
# コピーをする前に

## コピー機能について

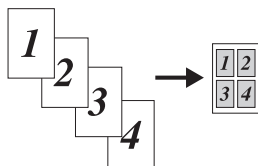
本機には以下のコピー機能が備わっています。利用目的に合わせてお使いください。

● ADF（自動原稿送り装置）を使用して、連続コピーをすることができます。

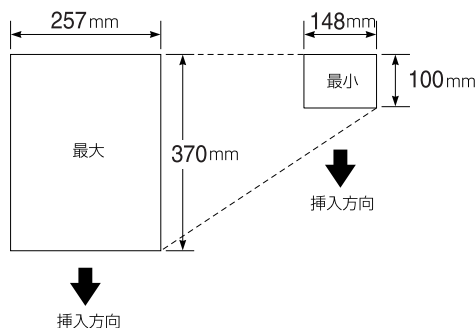
P. 127

● 拡大・縮小コピーができます。P. 130

● 写真をきれいにコピーすることができます。P. 132

● 複数部コピーができます。（ソートコピー／スタックコピー）P. 133

● 2IN1　コピー、4IN1 コピーができます。

P. 135

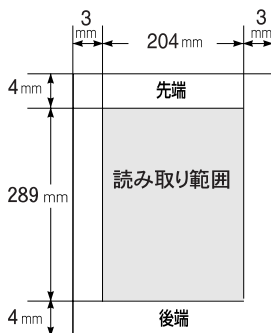
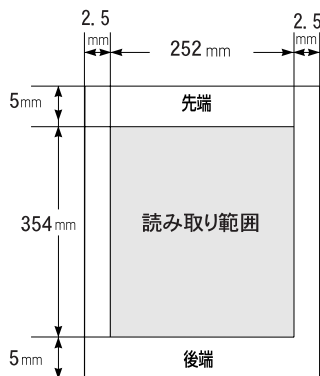
メモ

- 原稿を ADF（自動原稿送り装置）にセットしてコピーします。
- 特に濃い、または薄い文字の原稿をコピーするときは、原稿濃度を変更してからコピーしてください。
- 通常、コピー用紙は A4 をお使いください。

## 原稿サイズ

セットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、複写機で拡大・縮小コピーしてからセットしてください。

厚さ：0.08mm ～ 0.12mm

坪量：64g/m$^2$ ～ 90g/m$^2$

## コピーの読み取り範囲

コピーの読み取り範囲を次に示します。

＜A4の場合＞

＜B4の場合＞

2.5 mm
252 mm
2.5 mm
5mm
先端
354 mm
読み取り範囲
5mm
後端

メモ

● コピーの読み取り範囲は、概算値ですので、目安として参考にしてください。

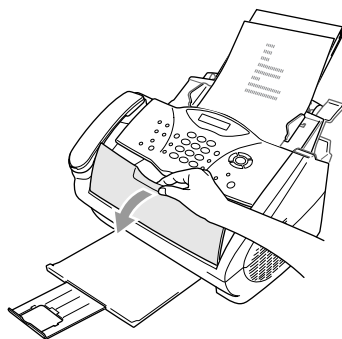
**注意**

■ 法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

- 法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）
  - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
  - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用の郵便切手や官製ハガキ
  - 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- 著作権のある物
  - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内での使用目的以外でコピーすることは禁止されています。
- その他の注意を要する物
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

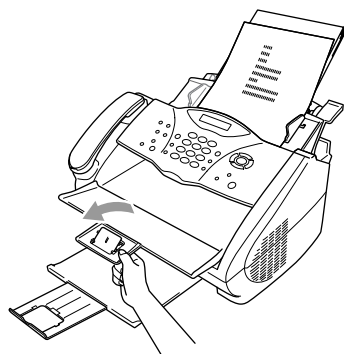
# コピーをする

## ADF を使ってコピーする

**1.** 印刷面を裏向きにし、上部を先にして ADF に原稿を入れます。

**2.** 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

**3.** 原稿排紙トレイを開きます。

**4.** 原稿排紙補助トレイを開きます。

**5.** B4 サイズの原稿をコピーする場合は、図のように原稿排紙補助トレイの中央部を開きます。

**6.** コピーしたい部数を入力します。

1 部だけコピーする場合は、部数を入力せずに、手順 7 に進んでください。

**7.** [コピー] を押すと、コピーが開始されます。

**補足**

- 複数の原稿をセットすることで、連続してコピーすることができます。
- コピーの枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。
- ADF に原稿が詰まったときは P. 186 を参照してください。
- コピー枚数の取消しは [停止/終了] を押してください。

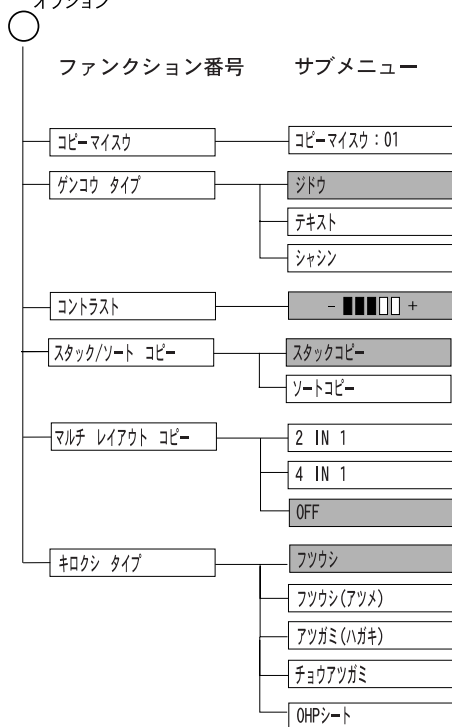
# コピー設定：一時的に設定する

次のボタンを使用することで、コピーに関する設定内容を一時的に変更することができます。

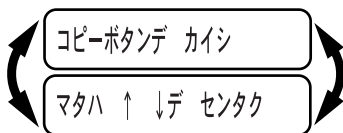
拡大/縮小 ：コピーの倍率を設定します。

オプション ：原稿のタイプやコピーの明るさなどを設定します。

上記のボタンによる設定は一時的なものであり、コピーが終了すると初期設定、またはお客様の設定した設定に戻ります。

オプション で設定できる内容について以下に示します。

はお買い上げ時の設定です。

メモ

● サブメニューで設定／選択後、 を押すと、ディスプレイには以下のように表示されます。

続けて、他の設定をする場合は、 で設定する項目を選びます。設定を終了する場合は コピー を押して、コピーを開始してください。

● お買い上げ時の設定を変更する場合は P. 137 を参照してください。

## 拡大・縮小コピーをする

倍率を変えてコピーすることができます。

**1.** ADF に原稿をセットします。

**2.** 拡大/縮小 を押して で倍率を選択するか、または「ニンイバイリツ」を選択したのち、ダイヤルボタンで直接、倍率を入力します。
任意倍率は、50%～ 200%の間で 1%単位で設定することができます。

100%

**3.** Menu Set を押します。

**4.** コピー を押すと、設定した倍率でコピーが開始されます。

補足

● 設定できる倍率は、以下のとおりです。
縮小：50%、75%、82%、87%、94%、ジドウ
拡大：115%、150%、200%

●「ジドウ」を選択した場合は、B4 のときのみ A4 に縮小します。

メモ

● 下記の倍率を目安にしてください。
B4 → A4　：縮小率 82%
A4 → B5　：縮小率 87%
B5 → A4　：拡大率 115%
● 原稿によっては画像が欠ける場合があります。

## コピー枚数を設定する

コピー枚数を 1 ～ 99 部まで設定できます。
コピー枚数の設定は、原稿をセットしたのち、直接、部数を入力することもできます。

**1.** ADF に原稿をセットして、オプション を押します。

**2.** ▲▼ で「コピーマイスウ :01」を選択します。

コピーマイスウ:01

**3.** コピー枚数を入力して、Menu Set を押します。

**4.** コピー を押すと、設定した枚数でコピーが開始されます。

・使い方
本書の目次
操作パネル
ご使用の前の準備
ご使用の前の基本設定
ファクス送信
ファクス受信
ファクスの応用機能
レポート・リスト
コピー
プリンタとして使う
PC-FAX
日常のお手入れ
困ったときには
用語集・仕様・索引

## 原稿のタイプを設定する

原稿のタイプに合わせて３種類の設定ができます。
文字のみの原稿、文字と写真が混在する原稿、または写真のみの原稿のいずれかを設定できます。

**1.** 原稿をセットして、オプション を押します。

**2.** で「ゲンコウタイプ」を選択します。

ゲンコウ タイプ

**3.** Menu Set を押して、 で原稿タイプを選択します。

ジドウ

**4.** Menu Set を押します。

**5.** コピー を押すと、選択した原稿タイプでコピーが開始されます。

補足

● 原稿タイプは以下の３種類の中から選択できます。お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。
- テキスト
  文字のみの原稿のときに設定。
- ジドウ
  標準の設定、文字と写真が混在するときに設定。
- シャシン
  写真のみの原稿のときに設定。

## コピーの明るさを設定する

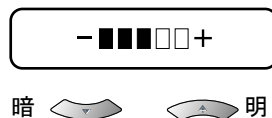
明るさ（コントラスト）を変えてコピーすることができます。

**1.** 原稿をセットして、（オプション）を押します。

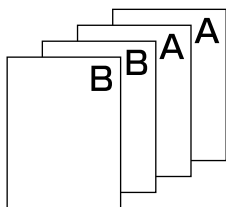
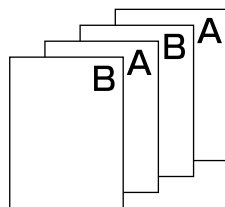
**2.** （▲▼）で「コントラスト」を選択します。

**3.** （Menu Set）を押して、（▲▼）で明るさ（コントラスト）を調整します。

暗 ▼　▲ 明

**4.** （Menu Set）を押します。

**5.** （コピー）を押すと、設定した明るさでコピーが開始されます。

## 複数部コピーをする〔スタック／ソートコピー〕

複数部のコピーには、スタックコピーとソートコピーの２通りがあります。

スタックコピー

ソートコピー

1. ADF に原稿をセットします。

2. コピーしたい枚数を入力します。

3. オプション を押します。

4. で「スタック/ソート コピー」を選択して、Menu Set を押します。

5. で「スタックコピー」または「ソートコピー」を選択して、Menu Set を押します。

6. コピー を押すと、コピーが開始されます。

補足

● コピーの枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。

● コピー枚数を間違えて入力した場合は、停止/終了 を押して手順 2 からやり直してください。

メモ

● 1 枚の原稿がメモリーに入り切らないときは、複数部コピーはできません。1 枚コピーを繰り返してください。

● ADF に原稿が詰まったときは P. 186 を参照してください。

注意

■ 原稿の読み込み中にメモリーがいっぱいになったときは 停止/終了 を押してコピーを停止させて、キャンセルするか、コピー を 1 回押して、メモリーに読み込まれた原稿のみコピーします。残りの原稿はもう一度コピーし直してください。

■ メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。メモリーの残量に注意してください。

# マルチレイアウトコピー

２枚または４枚の原稿を１枚にコピーすることができます。

**1.** 原稿をセットして、〇（オプション）を押します。

**2.** ▲▼で「マルチ　レイアウト　コピー」を選択します。

マルチ　レイアウト　コピー

**3.** （Menu Set）を押して、▲▼で希望するレイアウトを選択します。

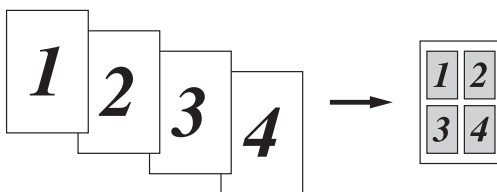
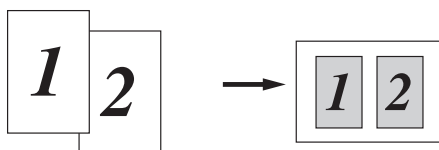
2 IN 1

**4.** （Menu Set）を押します。

**5.** （コピー）を押すと、設定した内容でコピーが開始されます。

メモ

● マルチレイアウトコピーの選択項目として、「4 IN 1」と「2 IN 1」があります。以下に、それぞれのイメージを示します。

**＜4 IN 1 コピー＞**

**＜2 IN 1 コピー＞**

注意

■ 記録紙は、A4 サイズを使用してください。

## 記録紙のタイプを設定する

コピーで使用する記録紙のタイプに合わせて5種類の設定ができます。

**1.** 原稿をセットして オプション を押します。

**2.** ▲▼ で「キロクシタイプ」を選択します。

キロクシ タイプ

**3.** Menu Set を押して、▲▼ で希望する記録紙タイプを選択します。

アツガミ(ハガキ)

**4.** Menu Set を押します。

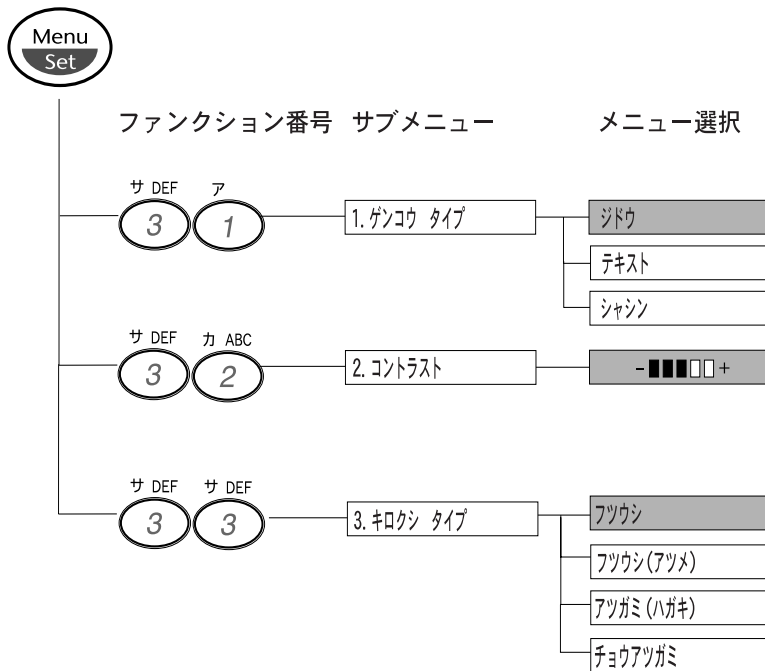
**5.** コピー を押すと、設定した記録紙タイプでコピーが開始されます。

補足

● 記録紙タイプは以下の5種類の中から選択できます。お買い上げ時は「フツウシ」に設定されています。

- フツウシ　(64g/m$^2$ ～ 69g/m$^2$)
- フツウシ(アツメ)　(70.2g/m$^2$ ～ 94g/m$^2$)
- アツガミ(ハガキ)　(96g/m$^2$ ～ 120g/m$^2$)
- チョウアツガミ　(121.2g/m$^2$ ～ 157g/m$^2$)
- OHP シート

# コピー設定：設定内容を保持する

お買い上げ時の本機の設定を変更することができます。変更された内容は、次にコピーをするときにも有効です。
一時的に設定内容を変更する場合は P. 129 を参照してください。

はお買い上げ時の設定です。

メモ

● 変更された項目がディスプレイに表示されます。

## お買い上げ時の設定を変更する〔原稿タイプ〕

お買い上げ時に設定されている原稿タイプを変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

**1.** Menu/Set　サ DEF 3　ア 1　を押します。

**2.** ▲▼ で原稿のタイプを選択して、Menu/Set を押します。

**3.** 停止/終了 を押して設定を終了します。

**補足**

● 原稿タイプは以下の 3 種類の中から選択できます。お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。

- テキスト
  文字のみの原稿のときに設定。
- ジドウ
  標準の設定、文字と写真が混在するときに設定。
- シャシン
  写真のみの原稿のときに設定。

## お買い上げ時の設定を変更する〔コントラスト〕

お買い上げ時に設定されている「コントラスト」（コピーの明るさ）のレベルを変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

**1.** Menu/Set　サ DEF 3　カ ABC 2　を押します。

**2.** ▲▼ でコントラストを調整して、Menu/Set を押します。

**3.** 停止/終了 を押して設定を終了します。

補足

● （▲キー）を押すと、よりコントラストが強くなります。

－ ■■■□□ ＋

弱 ▼ ▲ 強

## お買い上げ時の設定を変更する〔記録紙タイプ〕

お買い上げ時に設定されている記録紙タイプを変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

**1.** Menu/Set 3（サ DEF） 3（サ DEF） を押します。

**2.** ▲▼ で記録紙タイプを選択して、Menu/Set を押します。

**3.** 停止/終了 を押して設定を終了します。

補足

● 記録紙タイプは以下の 4 種類の中から選択できます。お買い上げ時は「フツウシ」に設定されています。

- フツウシ （64g/m$^2$ ～ 69g/m$^2$）
- フツウシ ( アツメ ) （70.2g/m$^2$ ～ 94g/m$^2$）
- アツガミ ( ハガキ ) （96g/m$^2$ ～ 120g/m$^2$）
- チョウアツガミ （121.2g/m$^2$ ～ 157g/m$^2$）

9章

# プリンタとして使う

■ プリンタとして使用する前に ........................................................ 142
ドライバをインストールする ........................................................ 142
プリンタとしての特長 ........................................................ 142

■ プリンタドライバの設定をする ：Windows® ........................................................ 145

■ ドライバでの設定内容 ：Windows®95/98/98SE/Me/XP/NT®4.0 .....147
[ 基本設定 ] タブでの設定項目 ........................................................ 147
[ 拡張機能 ] タブでの設定項目 ........................................................ 150
[ サポート ] タブでの項目 ........................................................ 158

■ ドライバでの設定内容 ：Windows®2000 ........................................................ 159
[ レイアウト ] タブでの設定項目 ........................................................ 159
[ 用紙／品質 ] タブでの設定項目 ........................................................ 160
[ デバイスの設定 ] タブでの設定項目 ........................................................ 162

■ プリンタドライバの設定をする ：Macintosh™ ........................................................ 163
Macintosh™ でプリンタドライバの設定をする ........................................................ 163

# プリンタとして使用する前に

## ドライバをインストールする

付属の CD-ROM には、Windows® 95/98/98SE/Me/2000/XP および Windows NT® 4.0 互換の専用プリンタドライバとTrueType™ 互換フォントが収録されています。インストーラプログラムを使用すると、プリンタドライバとフォントを Windows® システムに容易にインストールできます。ドライバは、ブラザー独自の圧縮モードをサポートし、Windows®アプリケーションでの印刷を高速化します。ドライバを使用すると、エコノミー印刷モードやカスタム用紙サイズなど様々な印刷設定を指定できます。

メモ

- ドライバのインストールについては、「クイックセットアップガイド」を参照してください。
- Mac OS® X への対応状況は、弊社ホームページにて最新情報を公開しております。以下のサイトを参照してください。
  http://solutions.brother.co.jp

## プリンタとしての特長

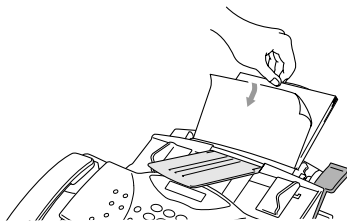
### ● PC で印刷コマンドを選択

PC は印刷コマンドとデータを本機に送信します。複数のページがある場合、本機は次のページの印刷を自動的に開始します。

### ● 用紙サイズの選択

アプリケーションソフトウェアでカスタム用紙サイズがサポートされていない場合、その用紙の次に大きい用紙サイズを選択します。それから、アプリケーションソフトウェアで左右の余白を変更して印刷領域を調整します。

## ● 両面印刷（手動両面印刷）

収録されている Windows® 95/98/98SE/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0 用プリンタドライバは手動両面印刷をサポートしています。

本機は、まず用紙の片面に偶数ページをすべて印刷します。偶数ページの印刷が終了した後、用紙を再度挿入する旨のメッセージが表示されますので、用紙を再度挿入します。

注意

■ 用紙を再度挿入する前に、用紙をまっすぐにのばさないと紙詰まりが発生することがあります。

■ 非常に薄い用紙や非常に厚い用紙の使用はお奨めしません。

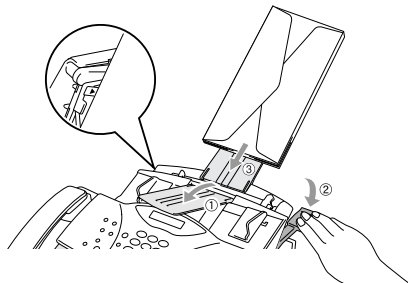
■ 用紙が一度に 2 枚給紙される場合は、給紙中に前面の用紙以外を押さえてください。

■ 手動両面印刷を使用する場合、紙詰まりが発生したり、十分な印刷品質が得られないことがあります。

メモ

● 手動両面印刷の詳細は、プリンタドライバの [ ヘルプ ] を参照してください。

## ● 給紙カセットを使用した封筒とはがきの給紙

給紙カセットには最大 10 枚の封筒と、最大 30 枚のはがきを給紙できます。封筒は次の図の方向に差し込みます。

## ● 排紙トレイ

本機では、用紙は印刷面を下にして、機器の前部の排紙トレイに排出されます。OHP 用紙の使用時には、用紙を 1 枚印刷するごとにすぐに取り除き、紙詰まりや用紙が丸くなるのを防止します。

## ● 印刷とファクス送信の同時実行

本機は、ファクスの送受信中にコンピュータからデータを印刷できます。
しかし、本機がコピーをしているときやファクスを印刷しているときは、PC の印刷動作を待機し、コピーやファクスの印刷が完了してから開始します。PC の印刷中もファクスの送信は継続します。

## ● 使用可能な用紙の選択

用紙のサイズや種類が特殊な場合は、本機でテストした後で大量購入されるようお奨めします。

- ビニールコーティングされた用紙などコーティングされた用紙は使用しないでください。
- あらかじめ印刷された用紙や、きめが非常に粗い用紙は使用しないでください。
- レーザープリンタ用のラベルや OHP 用紙を使用してください。
- 最高の印刷品質を得るには、縦目の用紙をお奨めします。
- 本機では再生紙が使用可能です。

# プリンタドライバの設定をする：Windows®

プリンタ ドライバは、データをコンピュータで使用する形式から特定のプリンタで必要な形式に変換するソフトウェアです。
プリンタ ドライバは、付属の CD-ROM に収録されています。最新のプリンタドライバは、以下のサイトからダウンロードすることもできます。

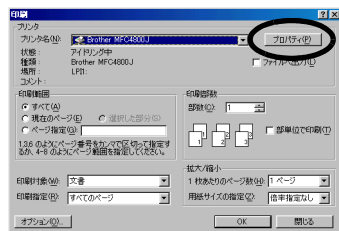
http://solutions.brother.co.jp

ここでは、プリンタ ドライバの機能について説明します。表示される画面はご使用のオペレーティングシステムにより異なります。

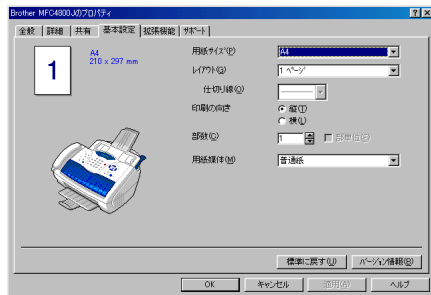
メモ

- プリンタ ドライバの機能の詳細は、プリンタ ドライバのオンラインヘルプを参照してください。

本機でコンピュータからプリントする際にプリンタ ドライバで各種の設定をすることができます。

**1.** アプリケーションソフトの [ ファイル ] メニューから [ 印刷 ] を選択します。
[印刷]ダイアログボックスの中で本機のプリンタ名を選択し、[ プロパティ ] をクリックします。

**2.** 右の画面が表示されるので、以下の項目を設定します。

- 用紙サイズ
- レイアウト
- 印刷の向き
- 部数　　　　など

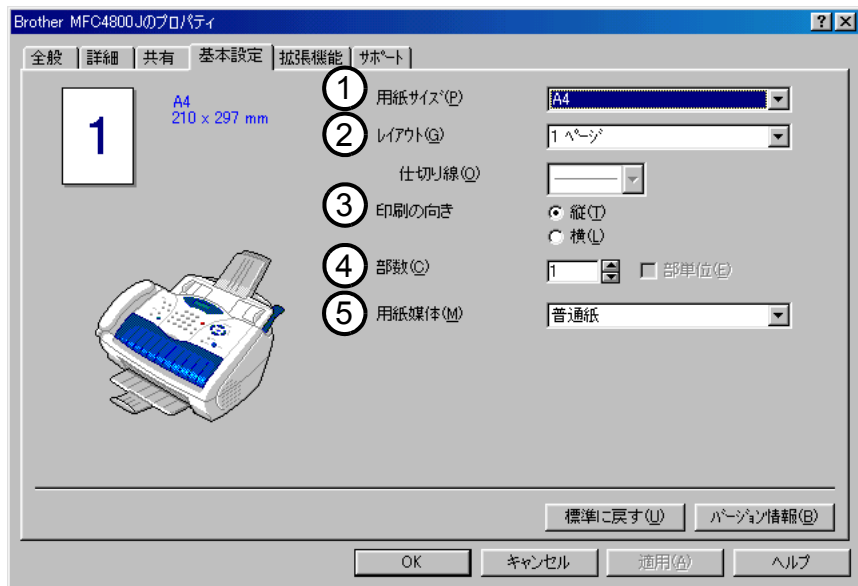
設定内容の詳細は P. 147 ～ P. 160 を参照してください。

**3.** 各タブで設定した項目を有効にするために [ 適用 ] をクリックします。

**4.** [OK]をクリックすると[印刷]ダイアログボックスに戻ります。

メモ

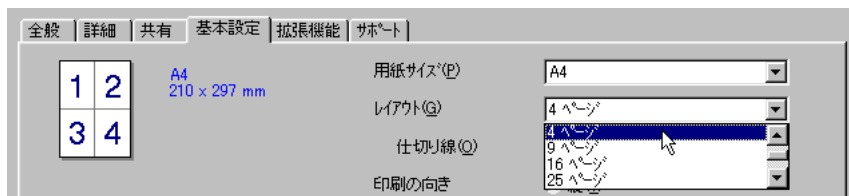
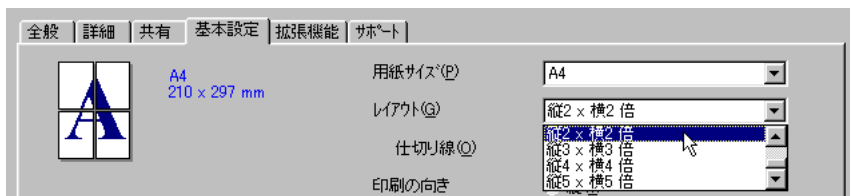
● お買い上げ時の設定に戻す場合は、手順2で[標準に戻す]をクリックしてから[適用]をクリックします。

# ドライバでの設定内容 ：Windows®95/98/98SE/Me/XP/NT®4.0

## [ 基本設定 ] タブでの設定項目

### ① 用紙サイズ

ドロップダウンボックスから、使用する [ 用紙サイズ ] を選択します。

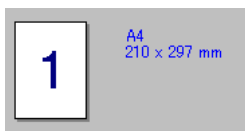
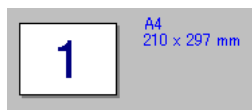
### ② レイアウト

イメージのサイズを縮小して複数のページを 1 枚の用紙に印刷したり、イメージのサイズを拡大して 1 枚のページを複数の用紙に印刷できます。

4 枚を 1 ページに印刷

1 枚を縦 2 × 横 2 倍に印刷

### 仕切り線

[ レイアウト ] 機能を使用して複数のページを 1 枚の用紙に印刷する場合、用紙上の各ページの境界について、「実線の境界」、「点線の境界」、「境界線なし」のいずれかを選択できます。

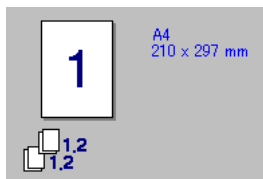
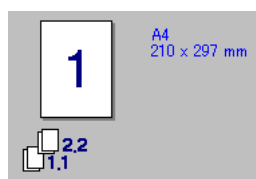
## ③ 印刷の向き

文書が印刷される位置（[ 縦 ] または [ 横 ]）を選択できます。

[ 縦 ] 選択時

[ 横 ] 選択時

## ④ 部数

印刷する部数を設定します。

### 部単位

複数の部数が選択されている場合に、この項目が有効になります。[ 部単位 ] チェックボックスをオンにすると、文書全体が 1 部印刷されてから、選択した部数だけ印刷が繰り返されます。[ 部単位 ] チェックボックスをオフにすると、文書の各ページが選択された部数分だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。

[ 部単位 ] チェックボックスがオン

[ 部単位 ] チェックボックスがオフ

## ⑤ 用紙媒体

使用する用紙のタイプを選択します。
最高の印刷品質を実現するために、適切な用紙選択を行ってください。

[ 普通紙 ]

[ 普通紙（厚め）]

[ 厚紙（ハガキ）]

[ 超厚紙 ]

[ ボンド紙 ]

[OHP]

通常の普通紙を使用している場合は、[ 普通紙 ] を選択します。より重い用紙を使用している場合は、[ 普通紙（厚め）] か [ 厚紙（ハガキ）] を選択します。ボンド紙には、[ ボンド紙 ] を選択し、OHP シートには、[OHP] を選択します。

## [ 拡張機能 ] タブでの設定項目

タブの設定を変更するには、画面の中のいずれかのアイコンを選択します。

● グラフィックス

### 解像度

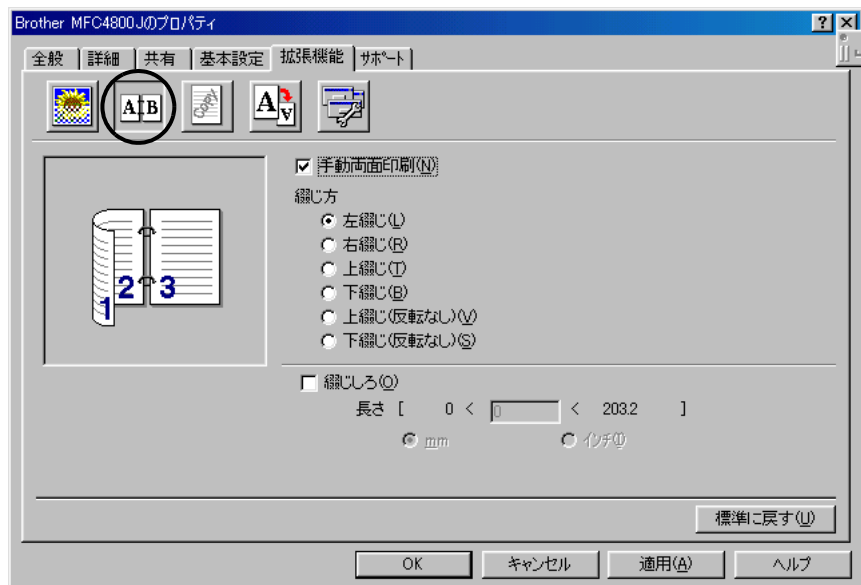
解像度（「300 dpi」または「600 dpi」）を選択します。

### トナー節約モード

チェックボックスをオンにすることで、印刷密度を下げて、ランニングコストを抑えることができます。

### 印刷設定 (Windows® 95/98/98SE/Me のみ )

印刷される文書のタイプ ([ 写真 ]、[ ラインアート ] または [ スキャナー]) に応じて、印刷品質を最適化する場合に使用します。
[ 自動設定 ] を選択すると、プリンタは自動的に最適の印刷設定で印刷します。
[ 手動設定 ] を選択すると、[ 明るさ ]、[ コントラスト ]、[ ディザリング ] オプションを手動で変更できます。

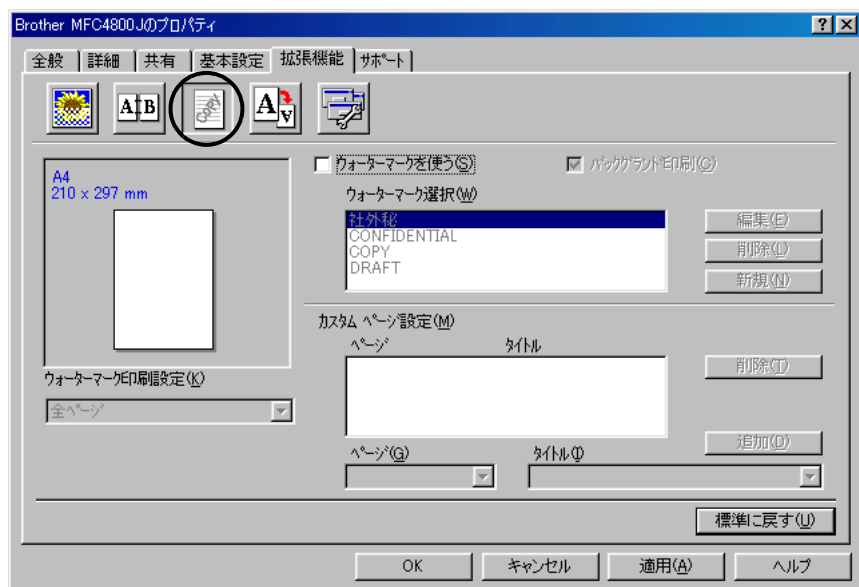
## ● 両面印刷

### 手動両面印刷

チェックボックスをオンにすると、方向ごとに 6 つのタイプの両面印刷の方向が使用可能になります。このモードの場合、本機は、すべての偶数番号のページを最初に印刷します。その後、プリンタドライバが停止し、用紙をもう一度セットするのに必要な指示が表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、奇数番号のページが印刷されます。

### 綴じしろ

このチェックボックスをオンにすると、綴じ側のオフセット値をインチ（0 ～ 8 インチ）か、ミリメートル（0 ～ 203.2mm）で設定できます。

## ● ウォーターマーク

ビットマップファイルをソースファイルとして使用したり、設定済みの[ウォーターマーク]のどれかを選択して、ロゴや文字を透かし絵として文書に配置できます。

### ウォーターマークを使う

チェックボックスをオンにすると、ウォーターマークの選択ができます。

### ウォーターマーク印刷設定

以下に示す選択項目があります。

[全ページ]

[開始ページのみ]

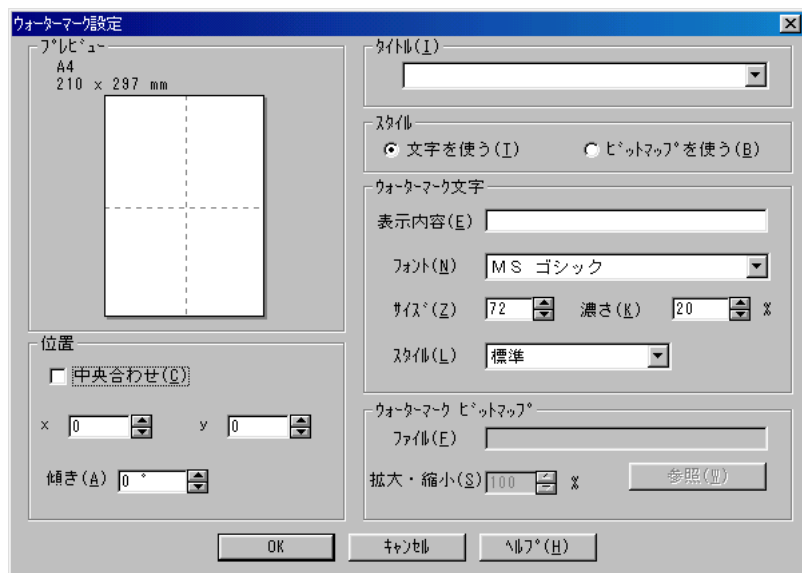
[2ページ目から]

[カスタム]

### バックグランド印刷

チェックボックスをオンにすると、ページ上の文書の背景に透かし絵が印刷されます。オフの場合、透かし絵は文書の上部に印刷されます。

[ウォーターマーク選択]で透かし絵を選択して、[編集]ボタンをクリックすると[ウォーターマーク設定]ダイアログボックスが表示され、透かし絵のサイズや位置などを変更できます。

新しい透かし絵を追加する場合は、[ 新規 ] ボタンをクリックします。[ ウォーターマーク設定 ] ダイアログボックスが表示されます。

[ 位置 ]

ページ上の透かし絵を配置する位置を設定します。

[ タイトル ]

設定した透かし絵のタイトルを設定します。ここで設定したタイトルは、[ ウォーターマーク選択 ] に表示されます。

[ スタイル ]

新しく追加する透かし絵が、文字かビットマップかを選択します。

[ ウォーターマーク文字 ]

透かし絵の文字を[表示内容]に入力して、[フォント]、[サイズ]、[濃さ]、[ スタイル ] を選択します。

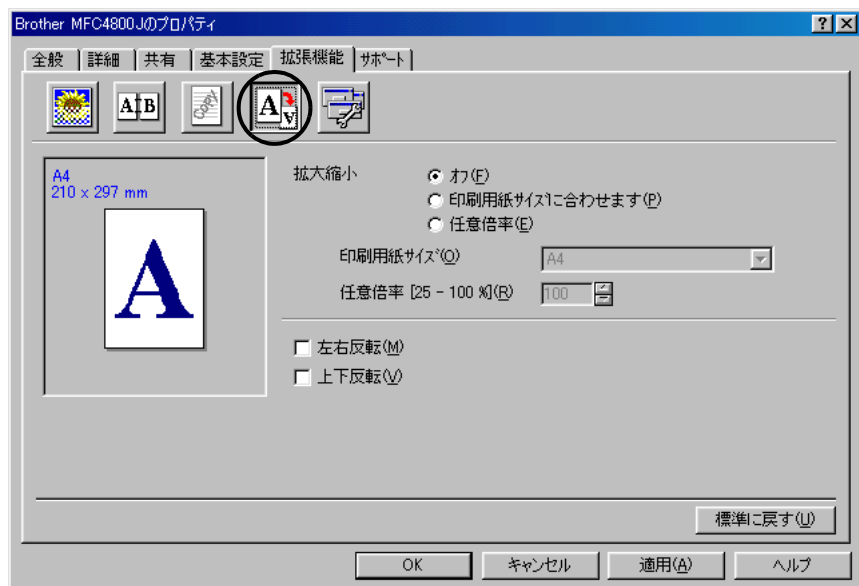
[ ウォーターマークビットマップ ]

[ ファイル ] ボックスにビットマップイメージのファイル名を入力するか、[参照]ボタンをクリックして、ビットマップファイルを指定します。

[ 拡大・縮小 ]

イメージのサイズを設定します。

## ● ページ設定

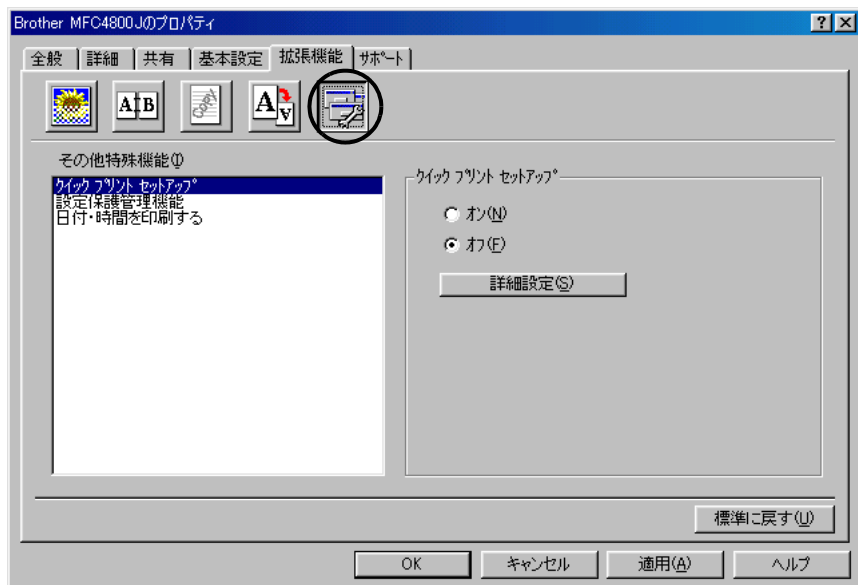
拡大縮小機能を使用して文書の印刷サイズを変更できます。

### 拡大・縮小

文書を画面に表示されたとおりに印刷する場合は、[ オフ ] をオンにします。文書のサイズが特別な場合や、標準サイズの用紙しかない場合は、[ 印刷用紙サイズに合わせます ] をオンにして、用紙サイズを選択します。
印刷出力を拡大や縮小する場合は、[任意倍率]をオンにして、倍率を指定します。
[ 左右反転 ] 機能や [ 上下反転 ] 機能をページの設定に使用することもできます。

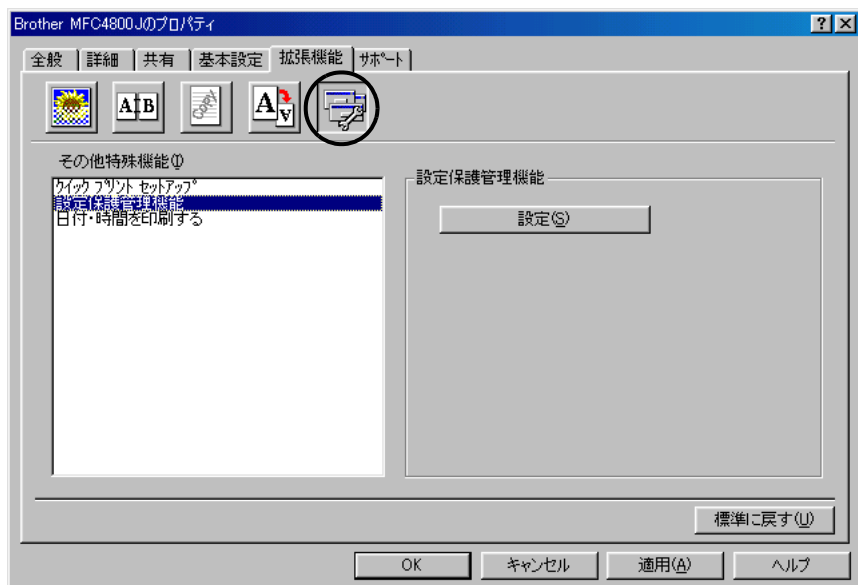
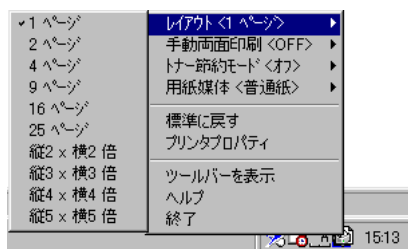
## ● その他の特殊機能

[ その他の特殊機能 ] で各機能を設定できます。

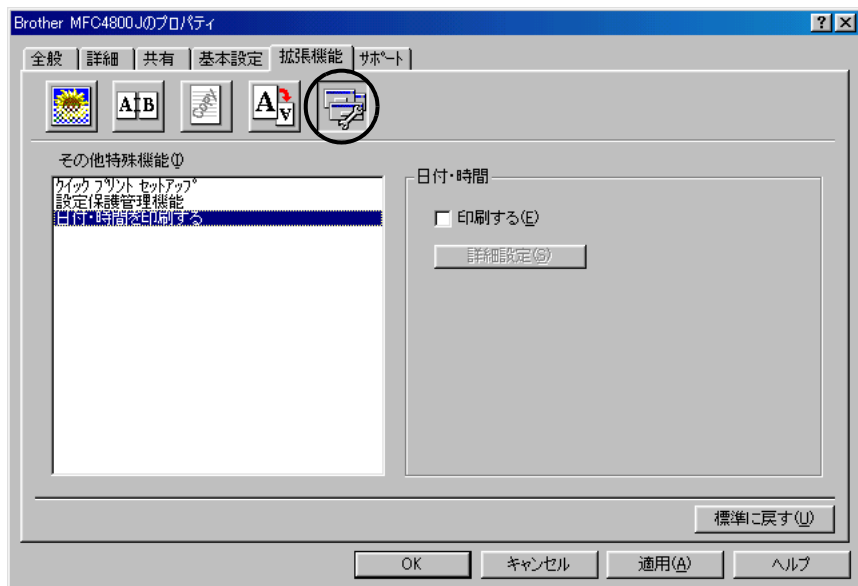
### クイックプリントセットアップ

ドライバの設定を素早く選択できます。

設定を表示するには、[ 詳細設定 ] ボタンをクリックします。[ 詳細設定 ] ダイアログボックスが表示されます。
チェックボックスをオンにすると、[ レイアウト ]、[ 手動両面印刷 ]、[ トナー節約モード ]、[ 用紙媒体 ] をクイックプリントセットアップで表示できます。
クイックプリントセットアップを表示するには、タスクトレイのアイコンをクリックします。

## 設定保護管理機能（Windows® 95/98/98SE/Me のみ）

パスワードで設定を保護できます。

パスワードを設定するには、[ 設定 ] ボタンをクリックします。[ 設定保護管理機能 ] ダイアログボックスが表示されます。
チェックボックスをオンにすると、[ 部数印刷のロック ]、[ レイアウト・拡大縮小のロック ]、[ ウォーターマークのロック ] 機能をロックしてパスワードで保護することができます。

パスワードを記録して、後で参照できるように安全な場所に保管します。パスワードを忘れてしまうと、これらの設定にアクセスできなくなります。

## 日付・時間を印刷する

設定した日付と時刻が文書に印刷されます。
日付と時刻を印刷する場合は、[ 印刷する ] チェックボックスをオンにします。

日付と時間の設定をするには、[ 詳細設定 ] ボタンをクリックします。[ 日付・時間 ] ダイアログボックスが表示されます。
日付と時間の [ 印刷モード ]、[ 書式 ]、[ フォント ]、[ 位置 ] を変更します。
背景を日付と時間に含めるときは、[ 上書き印刷する ] を選択します。[ 上書き印刷する ] が選択されると、パーセンテージを変更して [ 日付 ] と [ 時間 ] の [ 背景の濃さ ] を設定できます。
選択ボックスに表示されている [ 日付 ] と [ 時間 ] は、印刷される形式を表します。文書に実際に表示される日付と時間は、コンピュータの設定から自動的に取得されます。

## [ サポート ] タブでの項目

ドライバのバージョン情報と設定情報が表示されます。さらに、「Brother Solutions Center」サイトへのリンクもあります。

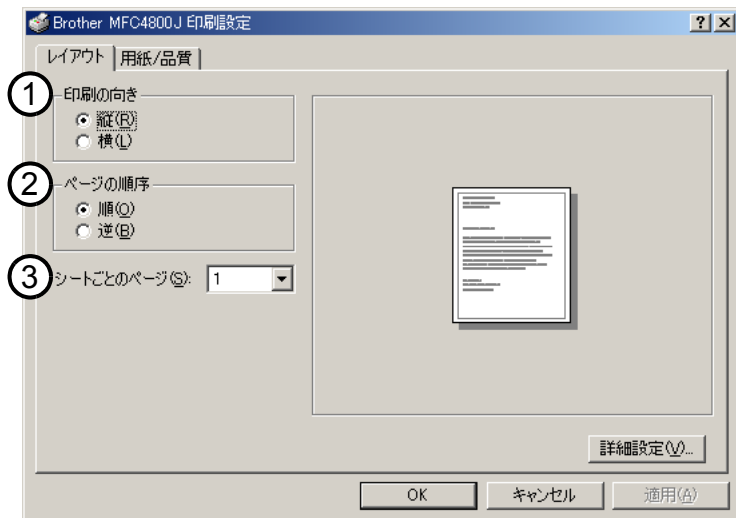
### ● Brother Solutions Center

FAQ、ユーザーガイド、ドライバの更新、マシンの使用のヒントなど、ブラザー製品についての情報を提供するウェブサイトです。

### ● 設定の確認

クリックすると、現在のドライバの設定の一覧が表示されます。

# ドライバでの設定内容：Windows®2000

## [ レイアウト ] タブでの設定項目

### ① 印刷の向き

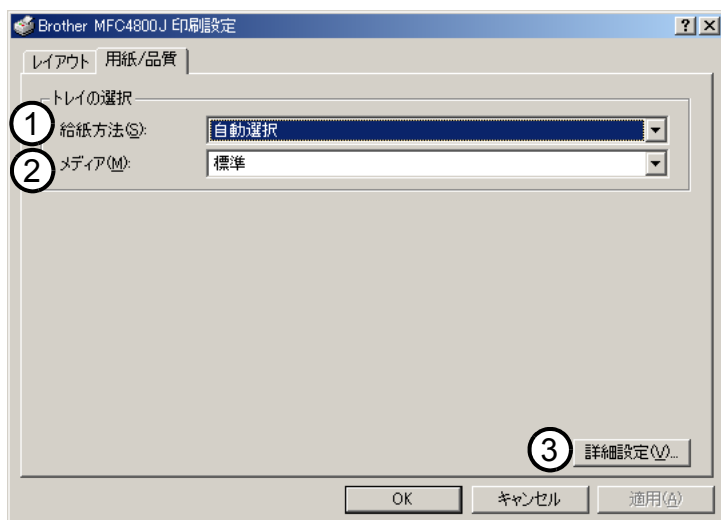
文書が印刷される位置（[縦] または [横]）を選択できます。

### ② ページの順序

文書が印刷される順序（[順] または [逆]）を選択できます。

### ③ シートごとのページ

複数のページを 1 枚の用紙に印刷する場合に設定します。
1、2、4、6、9、16 の中から選択することができます。
「4」を選ぶと 1 枚の用紙に 4 ページ分縮小して印刷します。

## [ 用紙／品質 ] タブでの設定項目

### ① 給紙方法

給紙方法（「自動選択」、「上トレイ」）を選択します。
「自動選択」を選ぶと、本機は最適な用紙サイズのカセットを選択します。

### ② メディア

メディアの種類（「標準」、「薄紙」、「厚紙」、「超厚紙」、「ボンド紙」、「透明フィルム」）を選択します。

### ③ 詳細設定

［詳細設定］ボタンをクリックすると、ドキュメントに関する詳細な設定を行うことができます。

### 用紙サイズ

印刷する用紙サイズを選択します。

### 部数

印刷部数を指定します。

### グラフィックス

解像度（600 dpi または 300 dpi）を選択します。

### 詳細な印刷機能

「無効」を選んだ場合、「ページの順序」、「シートごとのページ」、および「部数＆部単位」が無効になります。

### ハーフトーン

グラフィックデータを最適に印刷するためのハーフトーンのパターンを選択します。

## [ デバイスの設定 ] タブでの設定項目

### ● 給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対する用紙サイズの割り当てを行います。

# プリンタドライバの設定をする：Macintosh™

プリンタ ドライバは､データをコンピュータで使用する形式から特定のプリンタで必要な形式に変換するソフトウェアです。
プリンタ ドライバは、付属の CD-ROM に収録されています。最新のプリンタドライバは、以下のサイトからダウンロードすることもできます。

http://solutions.brother.co.jp

● MacOS9.2 へのインストール方法は MacOS9.1 と同じです。インストール方法の詳細はセットアップガイドを参照してください。

メモ

● プリンタ ドライバの機能の詳細は、プリンタ ドライバのオンラインヘルプを参照してください。

## Macintosh™ でプリンタドライバの設定をする

**1.** アップルメニューより [ セレクタ ] を選択します。

HL-1200/MFL Proアイコンをクリックします（アイコンの色が強調表示されます）。

セレクタの右の欄にあるプリンタ名をクリックしてからセレクタを閉じます。

**2.** アプリケーションソフトの [ ファイル ] メニューから [ 用紙設定 ] を選択します。

右の画面が表示され、以下の項目が設定できます。

- 用紙サイズ
- 印刷方向
- 拡大 / 縮小

設定が終わったら､[OK]をクリックします。

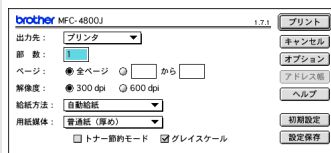
本書の使い方・目次
操作パネル
ご使用前の準備
ご使用前の基本設定
ファクス送信
ファクス受信
ファクス応用機能
レポート・リスト
コピー
プリンタとして使う
PC-FAX
日常のお手入れ
困ったときは
用語集・仕様・索引

**3.** アプリケーションソフトの[ファイル]メニューから [ プリント ] を選択します。

右の画面が表示され、以下の項目が設定できます。

- 部数
- ページ
- 解像度
- 給紙方法
- 用紙媒体
- トナー節約モード
- グレイスケール

設定が終わったら、[ プリント ] をクリックしてプリントします。

オプションを設定する場合は、
[ プリント ] をクリックする前に設定してください。

**4.** 手順3で[オプション]をクリックすると、両面印刷の指定と綴じしろの設定ができます。

設定を変更し、[OK] をクリックすると手順３の画面に戻ります。

# PC-FAX

■ **PC-FAX を利用する：Windows®95/ 98/98SE/Me/2000/XP/NT® 4.0** .................. 166
PC-FAX を利用してファクスを送信する .................................... 166
ファクススタイル画面を使用してファクス送信する .................. 166
シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する .................. 168

■ **PC-FAX を使用するための設定：Windows®95/98/98SE/Me/2000/XP/NT®4.0** ................ 169
個人情報を設定する ................................................................ 169
送信の設定................................................................................ 170
電話帳にメンバーを登録する .................................................. 171
ワンタッチダイヤルに相手先を登録する ................................ 172
登録した相手先をワンタッチダイヤルから削除する .................. 173
同報送信用のグループを設定する ........................................... 174
メンバー情報を編集する ........................................................ 175
メンバーやグループを削除する................................................ 176
電話帳をエクスポートする........................................................ 176
電話帳にインポートする ......................................................... 178
送付書を作成する ................................................................... 179

■ PC-FAX を使用する：Macintosh™ .......................................... 181
PC-FAX を利用してファクスを送信する.................................... 181
Macintosh™ のアプリケーションからファクスを送る ................ 182
電話帳に宛先を新規登録する .................................................. 183
新規グループを登録する ......................................................... 184

# PC-FAX を利用する：Windows®95/98/98SE/Me/2000/XP/NT® 4.0

## PC-FAX を利用してファクスを送信する

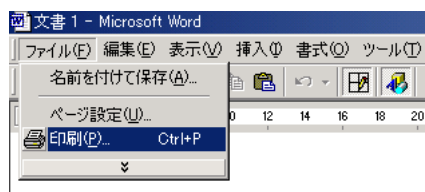
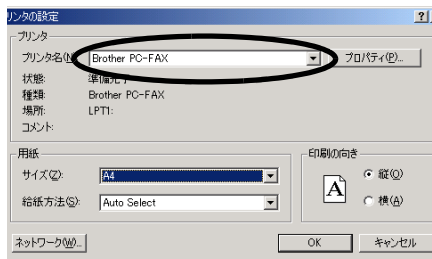
PC-FAX を利用すると､PC 上のアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信することができます。また、送付書を添付して送付することもできます。
あらかじめ、PC-FAX の電話帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先として設定できます。P. 171
ファクススタイル画面とシンプルスタイル画面のどちらかを選択することができます。P. 170

メモ

- PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。
- 送信を行う前に個人情報、電話帳を設定しておくと便利です。

## ファクススタイル画面を使用してファクス送信する

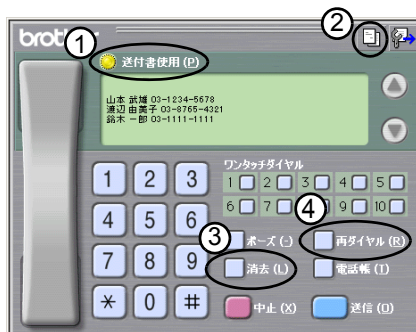
**1.** PC 上のアプリケーションでファイルを作成します。

**2.** [ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

**3.** プリンタ名の ▼ から [Brother PC-FAX] を選択して、[OK] をクリックします。

**4.** 以下のいずれかの方法でファクス番号を入力します。

- ダイヤルパッドをクリックして番号を入力する。
- 10 個のワンタッチダイヤルボタンのいずれかをクリックする。P. 172
- [ 電話帳 ] ボタンをクリックし、電話帳から送付先を選択する。P. 171

**5.** [ 送信 ] ボタンをクリックしてファクスを送信します。

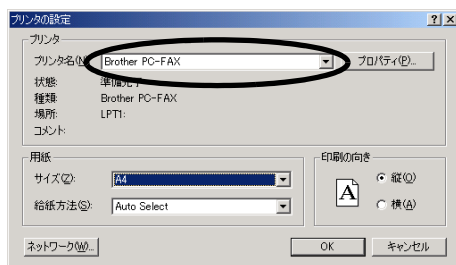
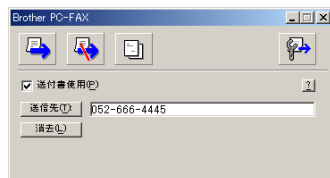
**補足**

- ファクススタイル画面を使用してファクス送信する場合は、[Brother PC-FAX 設定 ] ダイアログボックスの [ 送信 ] タブで「ファクススタイル」を選択しておく必要があります。
- ファクススタイル画面のボタンについて以下に説明します。

① 送付書使用
ファクスに送付書とコメントを付けて送信する場合にクリックします。
② 送付書の作成
送付書の内容を入力したり変更する場合にクリックします。
③ 消去
ファクス番号を間違って入力したときにクリックします。
④ 再ダイヤル
ファクスを再送する場合にクリックします。[ 再ダイヤル ] ボタンを押すたびに最新のものからさかのぼって 5 件表示されます。再送したいファクス番号が表示されたら、[ 送信 ] ボタンをクリックします。

## シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する

**1.** PC 上のアプリケーションでファイルを作成します。

**2.** [ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

**3.** プリンタ名の ▼ から [Brother PC-FAX] を選択して、[OK] をクリックします。

**4.** [ 送信先 ] に、相手のファクス番号を入力します。
相手先のファクス番号は、[ 送信先 ] ボタンをクリックして電話帳から選択することもできます。

**5.** 送付書とコメントを付けてファクスを送信する場合は、[ 送付書使用 ] チェックボックスをオンにします。P. 179

**6.** をクリックして、ファクスを送信します。

**補足**

- シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する場合は、[Brother PC-FAX 設定 ] ダイアログボックスの [ 送信 ] タブで「シンプルスタイル」を選択しておく必要があります。
- ファクス番号を間違って入力したときには、[ 消去 ] ボタンをクリックします。
- をクリックすると、送付書の内容を入力したり変更することができます。

# PC-FAX を使用するための設定：Windows®95/98/98SE/Me/2000/XP/NT®4.0

## 個人情報を設定する

ファクスのヘッダーと送付書に使用される個人情報を設定します。
設定は、[Brother PC-FAX 設定 ] ダイアログボックスの [ 個人情報 ] タブで行います。

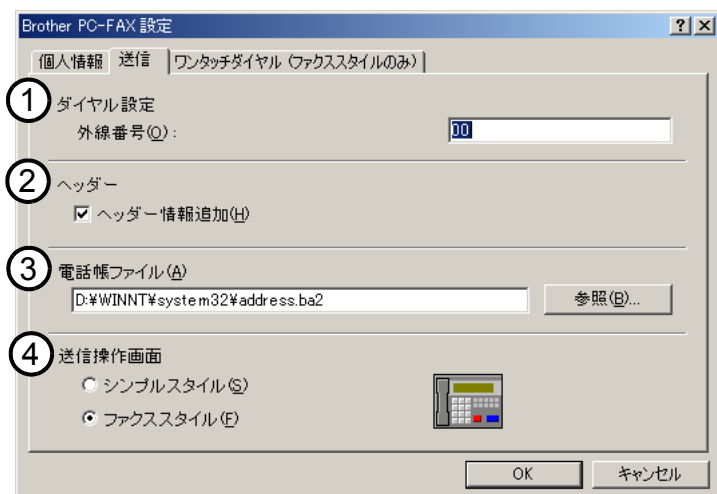
**1.** [スタート]メニューから、[プログラム ] - [Brother] - [Brother MFL Pro J] - [PC-FAX 設定 ] の順に選択します。

**2.** 個人情報を入力します。

**3.** [OK] をクリックして、個人情報を保存します。

Brother PC-FAX 設定
個人情報 | 送信 | ワンタッチダイヤル (ファクススタイルのみ)
名前(N)： 山田 一郎
会社名(C)： 山田商店
部署(D)： 営業部
電話番号(P)： 052-666-4444
FAX 番号(F)： 052-666-4445
E-mail(E)： xxxx@yamada.co.jp
住所1 (1)： 名古屋市中区幸町1－1－1
住所2 (2)：
OK キャンセル

## 送信の設定

ファクス送信に関する設定を行います。
設定は、[Brother PC-FAX 設定 ] ダイアログボックスの [ 送信 ] タブで行います。

### ①ダイヤル設定

外線への接続に必要な番号を入力します。この番号は、PBX 電話システムで必要になる場合があります。

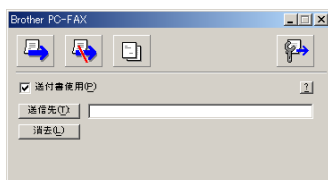
### ②ヘッダー

送信するファクスの先頭にヘッダー情報を追加する場合は、このチェックボックスをオンにします。

### ③電話帳ファイル

電話帳として使用するファイルを指定します。ファイルのパスと名前を入力するか、[ 参照 ] ボタンをクリックしてファイルを選択します。

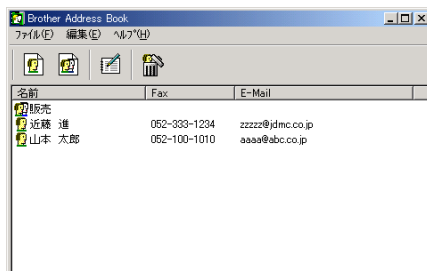
### ④送信操作画面

[ シンプルスタイル ] か [ ファクススタイル ] のどちらかを選択できます。

<シンプルスタイル>

<ファクススタイル>

# 電話帳にメンバーを登録する

メンバーの登録は、[Brother Address Book] ダイアログボックスで行います。

**1.** [スタート]メニューから、[プログラム ] - [Brother] - [Brother MFL Pro J] - [ 電話帳 ] の順に選択します。
右の画面が表示されます。

**2.** をクリックします。
右の画面が表示されます。

**3.** メンバーの情報を入力します。
[ 名前 ] の入力は必須です。

**4.** [ 決定 ] をクリックして、メンバーの情報を保存します。

メモ

- 登録情報を追加、編集、削除する場合も、[Brother Address Book] ダイアログボックスで行います。
- 電話帳には 3000 件までのデータを登録することが可能です。

## ワンタッチダイヤルに相手先を登録する

メンバーまたはグループを 10 個のワンタッチダイヤルボタンに登録できます。登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタン（1 から 10 のいずれか）を押すだけで、ワンタッチで送信先を指定することができます。

**1.** [スタート] メニューから、[プログラム] - [Brother] - [Brother MFL Pro J] - [PC-FAX 設定] の順に選択します。

**2.** [Brother PC-FAX 設定] ダイアログボックスの [ワンタッチダイヤル] タブをクリックします。

**3.** [ワンタッチダイヤル] ボックスの番号をクリックします（①）。続けて、[電話帳] ボックスから、この番号に登録するメンバーまたはグループをクリックします（②）。

**4.** [ 追加(A)>>] をクリックします。

右の例では、ワンタッチダイヤルの１番に「鈴木一郎」を登録しています。

## 登録した相手先をワンタッチダイヤルから削除する

**1.** [ ワンタッチダイヤル ] ボックスから、削除するメンバーまたはグループをクリックします。

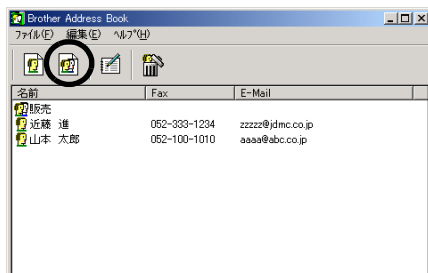
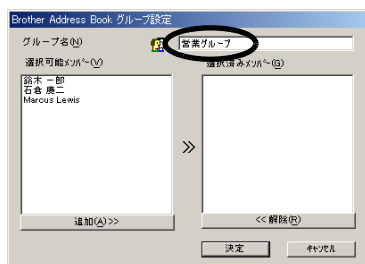
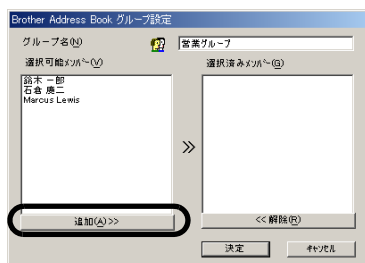
**2.** [ 削除 ] をクリックします。

メモ

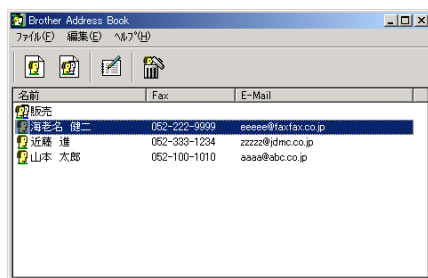
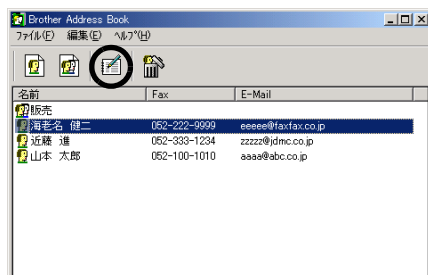
● ワンタッチダイヤルを使用するには、[ 送信 ] ダブの [ 送信操作画面 ] で「ファクススタイル」を選択する必要があります。

## 同報送信用のグループを設定する

同一のファクスを複数の相手に繰り返し送信する場合は、複数のメンバーをグループにまとめることができます。

**1.** [Brother Address Book] ダイアログボックスで、をクリックします。

**2.** [グループ名]にグループ名を入力します。

**3.** [ 選択可能メンバー ] ボックスで、グループに追加するメンバーを選択してから、[ 追加 (A)>>] をクリックします。追加したメンバーは、[ 選択済みメンバー ] ボックスに一覧表示されます。

**4.** メンバーの追加後、[ 決定 ] をクリックします。

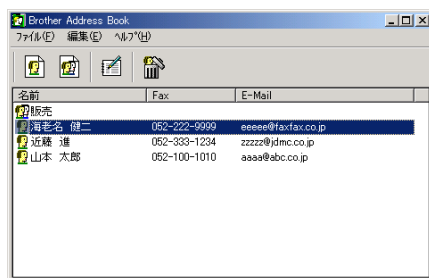
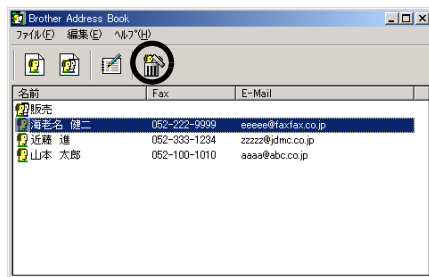
## メンバー情報を編集する

**1.** [Brother Address Book]ダイアログボックスで、編集するメンバーまたはグループを選択します。

**2.** をクリックします。

**3.** メンバーまたはグループ情報を編集します。

Brother Address Book メンバー設定
名前(N): 海老名 健二 敬称(T): 様
会社名(O): 株式会社ファクスサービス
部署(D): 開発推進部 役職(U): 部長
国/地域(R): 郵便番号(Z):
都道府県(V): 市町村(C):
番地(S):
勤務先電話番号(B): 自宅電話番号(H):
ファクス(F): 052-222-9999 携帯電話(P):
E-Mail(E): eeeee@faxfax.co.jp
MFC E-Mail アドレス(M):
決定 キャンセル

**4.** [ 決定 ] をクリックして、変更を保存します。

## メンバーやグループを削除する

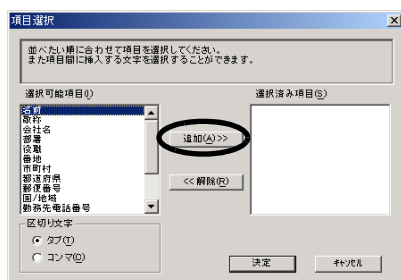
**1.** [Brother Address Book] ダイアログボックスで、削除するメンバーまたはグループを選択します。

**2.** をクリックします。

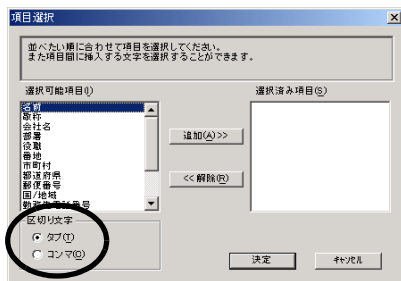
**3.** [削除確認] ダイアログボックスが表示されたら [OK] をクリックします。

## 電話帳をエクスポートする

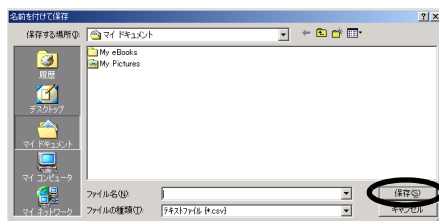
電話帳は、CSV 形式のファイルにエクスポートすることができます。また、選択されたメンバーの Vcard を作成し、送信者のすべての送信電子メールに添付することもできます。

**1.** [Brother Address Book] ダイアログボックスで、[ ファイル ] - [ エクスポート] - [Text]の順にクリックします。
[Vcard] を選択した場合は、手順 5 に進みます。

**2.** エクスポートする項目を選んで、[ 追加 (A)>>] をクリックします。

**3.** [ 区切り文字 ] で [ タブ ] または [ コンマ ] を選択します。

この設定により、エクスポート時に各データフィールドの間にタブかコンマが挿入されます。

**4.** [ 決定 ] をクリックしてデータを保存します。

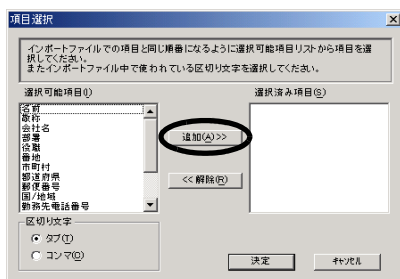
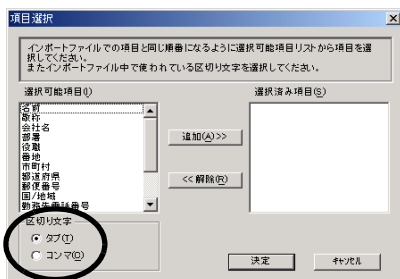
**5.** ファイル名を入力してから、[ 保存 ] をクリックします。

メモ

- 電話帳をエクスポートすることにより、他のアプリケーションのアドレス帳として使用することができます。
- 手順 1 で [Vcard] を選択した場合は手順 5 に進み、[ ファイルの種類 ] は「Vcard{*.vcf}」になります。
- エクスポートする項目を選択する場合は、並べたい順番に選択してください。
- Vcard（電子名刺）には、送信者の連絡先情報が格納されています。
- Vcard を作成する場合、メンバーを最初に選択しなければなりません。

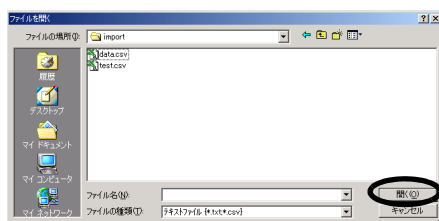
## 電話帳にインポートする

CSV 形式のファイルまたは vcf 形式のファイル（Vcards：電子名刺）を、電話帳にインポートできます。

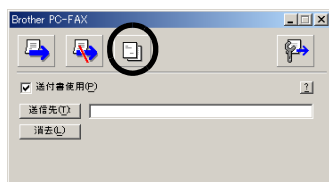
**1.** 電話帳の画面で、[ ファイル ] - [ インポート ] - [Text] の順にクリックします。
[Vcard] を選択した場合は、手順 5 に進みます。

**2.** [ 選択可能項目 ] 欄からインポートする項目を選択してから、[ 追加 (A)>>] をクリックします。

**3.** インポートするファイル形式により、[ 区切り文字 ] で [ タブ ] または [ コンマ ] を選択します。

**4.** [ 決定 ] をクリックして、データをインポートします。

**5.** ファイル名を入力して、[ 開く ] をクリックします。

メモ

- 手順 1 で [Vcard] を選択した場合は手順 5 に進み、[ ファイルの種類 ] は「Vcard{*.vcf}」になります。
- インポートする項目を選択する場合は、元のファイルの項目の並び順に合わせて選択してください。
- インポートを実行した場合、すでに電話帳に登録済みの情報は上書きされてしまいます。

## 送付書を作成する

ファクスを送信する画面（シンプルスタイルまたはファクススタイル）で をクリックすると、以下の画面が表示されます。

<シンプルスタイル>

<ファクススタイル>

Brother PC-FAX Cover Page Setup

送付書使用(V)

① 送信先
- 会社名(C):
- 部署名(D):
- 名前(N):

② 送信元
- 会社名(O):
- 部署名(P):
- 名前(M):
- 住所1(1):
- 住所2(S):
- TEL(T):
- FAX(X):
- E-Mail(E):

③ コメント　消去(L)

④ フォーム
- タイプ1(Y)　タイプ2(2)
- 挿入BMPファイル(I)　参照(B)...
- ファイル名　Cvrpage.bmp
- 位置　左寄せ(F)　中央(R)　右寄せ(H)　壁紙(W)
- 送付書をページ数に加える(G)

プレビュー(I)...　デフォルト値(U)　決定(K)　キャンセル(A)

### ①送信先

送信先の情報を入力します。

### ②送信元

送信元の情報を入力します。

### ③コメント

送付書に追加するコメントを入力します。

### ④フォーム

送付書のスタイルを選択します。

#### 挿入 BMP ファイル

会社のロゴなどのビットマップファイルを送付書に挿入する場合にチェックします。
[参照]ボタンをクリックしてBMPファイルを選択してから､ビットマップファイルの配置を選択します。

#### 送付書をページ数に加える

このチェックボックスをオンにすると、送付書がファクスの送付枚数に含まれます。チェックを外すと、送付書は送付枚数に含まれません。

メモ

- 複数の相手先にファクスを送信する場合、受信者情報は送付書に印刷されません。
- 個人情報が設定されていれば、送信元の情報は自動的に引用されます。

# PC-FAX を使用する：Macintosh™

## PC-FAX を利用してファクスを送信する

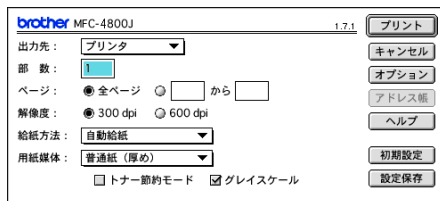
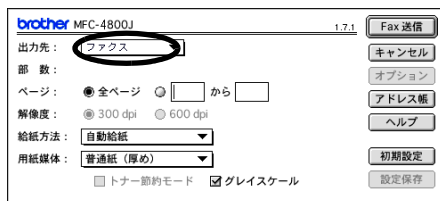
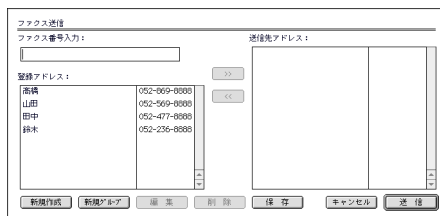
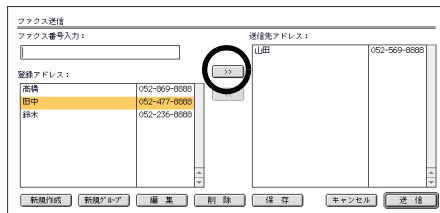
PC-FAX を利用すると、Macintosh™ 上のアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信することができます。
あらかじめ、PC-FAX の電話帳に相手先を登録しておくことで、電話帳を呼び出して、ファクスの宛先として設定できます。

メモ

- Mac OS® X への対応状況は、弊社ホームページにて最新情報を公開しております。以下のサイトを参照してください。
  http://solutions.brother.co.jp
- PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。

# Macintosh™ のアプリケーションからファクスを送る

**1.** Macintosh™ のアプリケーションでファイルを作成します。

**2.** [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。
プリントダイアログが表示されます。

**3.** [出力先]から[ファクス]を選択します。

**4.** [ 送信 ] をクリックします。
[ ファクス送信 ] ダイアログが表示されます。左のボックスには保存されているファクス番号リスト、右のボックスには送信先のファクス番号がそれぞれ表示されます。

**5.** ファクス番号入力ボックスにファクス番号を入力します。または、ファクス番号リストボックスから名前またはファクス番号を選択して [>>] をクリックします。ファクスの受信者ボックスに宛先が表示されます。

**6.** [ 送信 ] をクリックします。ファクス送信が開始されます。

**補足**

- 手順 5 で、[Shift] キーと [Ctrl] キーを使用すると、複数の宛先を一度に指定できます。また、手順 5 の画面で、[ 新規作成 ] をクリックすると、新しい宛先を電話帳に追加することができます。電話帳への登録については P. 183 を参照してください。

また、[ グループ ] をクリックすると新しいグループを登録できます。グループの登録については P. 184 を参照してください。

● 原稿の特定のページのみを選択して送信する場合には、[ＯＫ] をクリックして [ プリント ] ダイアログに戻ります。

## 電話帳に宛先を新規登録する

**1.** [ファクス]ダイアログの[アドレス帳] をクリックします。
[アドレス帳]ダイアログボックスが表示されます。

**2.** [ 新規作成 ] をクリックします。
右のダイアログボックスが表示されます。

**3.** 名前とファクス番号を入力します。メモ欄には１５文字以内のコメントを入力できます。

**4.** [OK] をクリックして、[ 電話帳 ] ダイアログボックスに戻ります。

メモ

● ファクスの宛先を指定している途中でも新しい宛先やグループを登録できます。

## 新規グループを登録する

**1.** [ 新規グループ ] をクリックします。
[グループ登録]ダイアログボックスが表示されます。

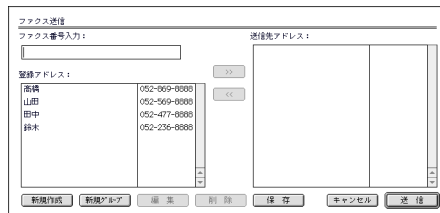
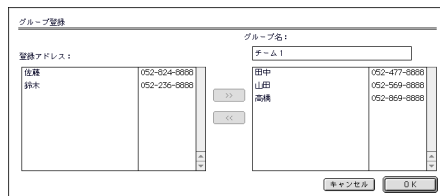
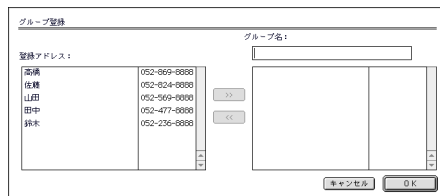
**2.** グループ名欄にグループ名を入力します。

**3.** ファクス番号リストで目的の名前を指定し [>>] をクリックします。
指定した名前はグループ名欄の下に表示されます。

**4.** [OK] をクリックします。
[ アドレス帳 ] ダイアログボックスが表示されます。

**5.** [OK] をクリックします。
[ ファクス ] ダイアログボックスが再び表示されます。

**6.** ファクスを送信する準備ができたら [ 送信 ] をクリックします。

メモ

● ファクスの送信手順については P. 182 を参照してください。

# 日常のお手入れ

■ 紙詰まりについて .................... 186
紙詰まりのときのメッセージ .................... 186
コントロールパネルの前側で原稿が詰まったときは .................... 186
給紙カセットで記録紙が詰まったときは .................... 187
記録紙が本機内部で詰まったときは .................... 188

■ 本体の掃除 .................... 190
キャビネット内部のお手入れ .................... 190
プリンタのお手入れ .................... 192
ドラムユニットのお手入れ .................... 193
トナーカートリッジの交換 .................... 194
ドラムユニットの交換 .................... 198

# 紙詰まりについて

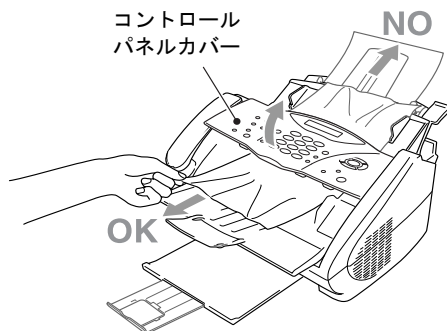
## 紙詰まりのときのメッセージ

紙詰まりのときは、ブザーが鳴り、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

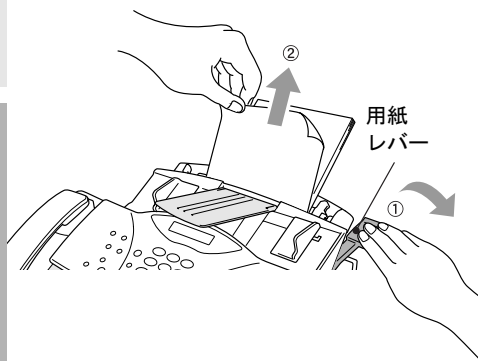
| | |
|---|---|
| ゲンコウ カクニン | :原稿が詰まったとき |
| キロクシ カクニン | :記録紙が詰まったとき |

## コントロールパネルの前側で原稿が詰まったときは

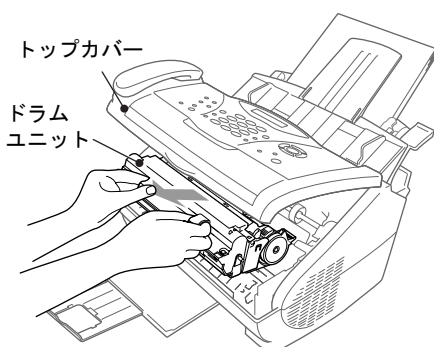
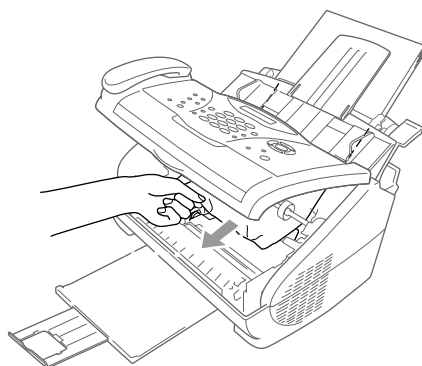
1. 送り込まれていない原稿を取り除きます。
2. コントロールパネルカバーを開きます。
3. 詰まった原稿を手前に引き、原稿を取り除きます。

4. コントロールパネルカバーを閉じます。
5. 停止/終了 を押します。

## 給紙カセットで記録紙が詰まったときは

**1.** 送り込まれていない記録紙を取り除きます。

**2.** 用紙レバーを押し（①）、詰まった記録紙を上側に引き抜きます（②）。

## 記録紙が本機内部で詰まったときは

**1.** トップカバーを開きます。

**2.** ドラムユニットを取り出します。

**3.** 詰まった記録紙を取り除きます。

**4.** ドラムユニットを取り付けます。

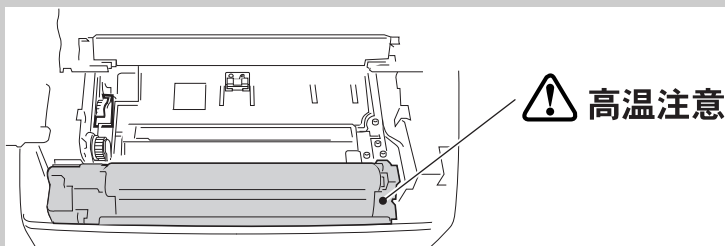
**5.** トップカバーを閉じます。

注意

■ 紙詰まりした記録紙を無理に取り除くと、本機内部に紙が残ったり、これから印刷される記録紙にトナーが付着する場合があります。

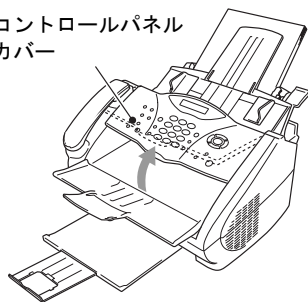
■ 本機の使用後、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本機のトップカバーを開いたときは、下図の網がけされた部分には絶対に触れないでください。

# 本体の掃除

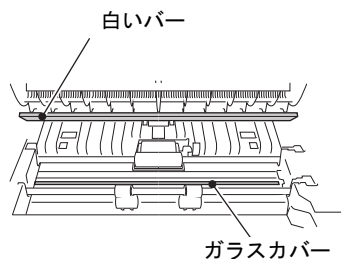
注意

■ 操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネル上の印刷が消えることがあります。

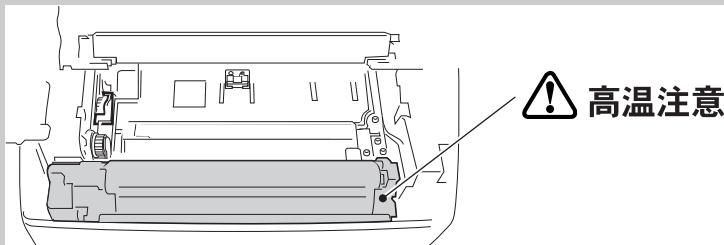
## キャビネット内部のお手入れ

いつもきれいな画質を得るために読み取り部の清掃を行ってください。読み取り部が汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーされます。送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには、読み取り部を清掃してください。

**1.** コントロールパネルカバーを開きます。

**2.** ドラムユニットを取り出します。

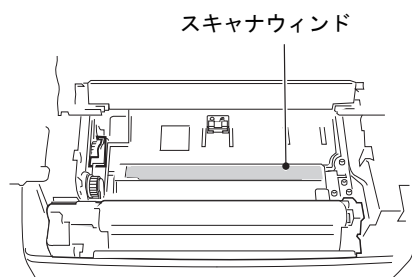
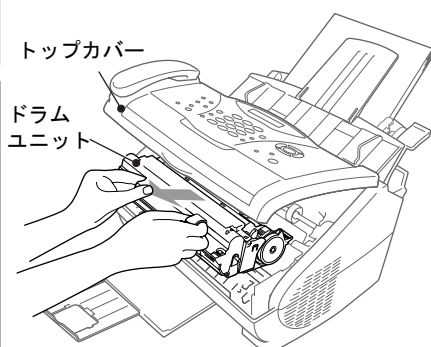
**3.** 少し濡らしたきれいな布で本機の汚れを拭き取ります。

**4.** きれいで柔らかい布に、OA クリーナーをひたして、白いバーとガラスカバーを清掃します。

■ キャビネット内部の手入れに、シンナーやベンジンは使用しないでください。

■ 本機の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本機のトップカバーを開けたときは、下図の網がけされた部分には絶対に触れないでください。

## プリンタのお手入れ

**1.** トップカバーを開きます。

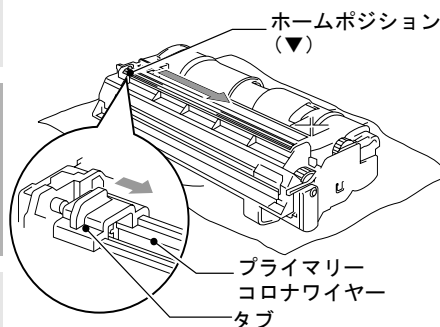
**2.** ドラムユニットを取り外します。

**3.** 乾いた布でスキャナウィンドを拭きます。

## ドラムユニットのお手入れ

ドラムユニットのお手入れを行わないと、印刷されたページに黒い縦線が入ったり、全体に黒く汚れがついたりします。

**1.** ドラムユニットを裏返します。

**2.** タブを右から左に数回ゆっくりと滑らせて、ドラムユニット内部のプライマリーコロナワイヤーをきれいにします。

**3.** タブをホームポジション(▼)に戻します。

■ タブをホームポジション ( ▼ ) に戻さないと、印刷されたページに縦縞が現れます。

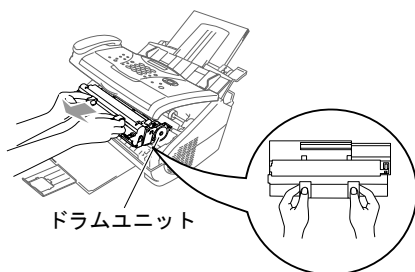
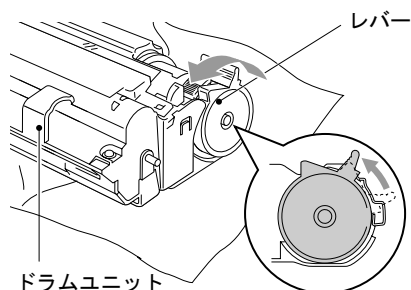
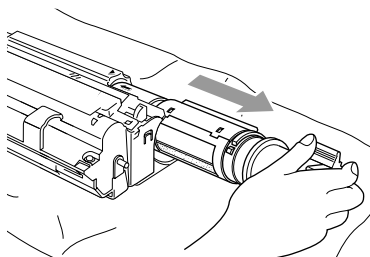
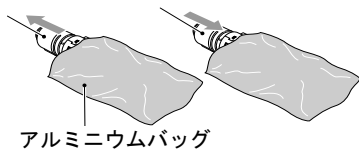
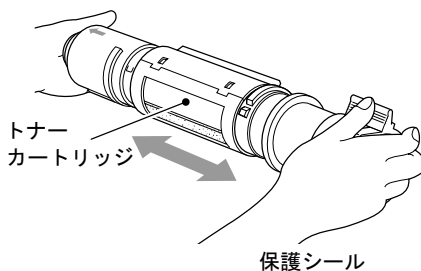
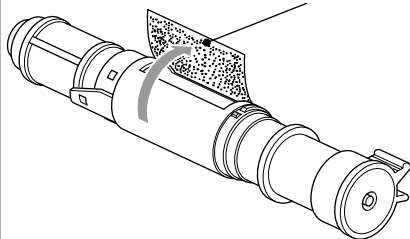
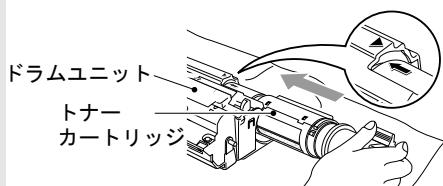
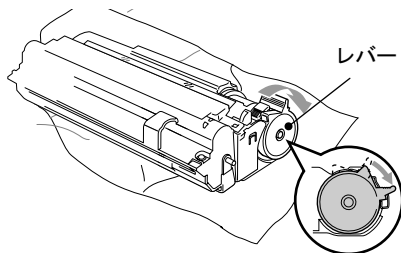
■ ドラムユニットを掃除するときは、大きな使い捨ての紙の上に置いて、トナーがこぼれたり飛び散らないようにしてください。

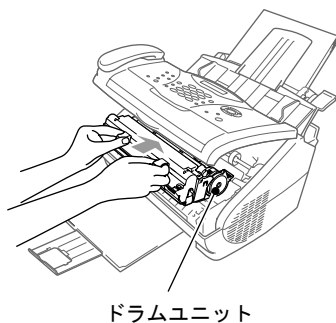
本書の使い方・目次
操作パネル
ご使用前の準備
ご使用前の基本設定
ファクス送信
ファクス受信
ファクスの応用機能
レポート・リスト
コピー
プリンタとして使う
PC-FAX
日常のお手入れ
困ったときには
用語集・仕様・索引

## トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジは、約 2,200 ページの印刷が可能です。トナーが減ってくると、ディスプレイに「ﾏﾓﾅｸ　ﾄﾅｰ　ｷﾞﾚﾃﾞｽ」と表示されます。このメッセージが表示されてから、約 500 ページを印刷した頃が交換の目安です（実際のページ数は印刷する文書の種類によっても変わってきます）。

**1.** トップカバーを開きます。

**2.** ドラムユニットを図のように取り外します。

**3.** トナーカートリッジのレバーを、止まるまでゆっくりと手前に回します。

**4.** ドラムユニットから使用済みのトナーカートリッジをゆっくりと引き抜きます。

**5.** 新しいトナーカートリッジを開封して取り出します。

**6.** トナーカートリッジを左右に5、6回ゆっくりと振ってから、保護シールを取り除きます。

**7.** 新しいトナーカートリッジをドラムユニットに差し込みます。このとき、トナーカートリッジのガイド矢印がドラムユニットのガイド矢印に正確に揃っていることを確認してください。

**8.** トナーカートリッジのレバーを、止まるまで矢印の方向にゆっくり回します。

**9.** ドラムユニットをもう一度取り付け、トップカバーを閉めます。

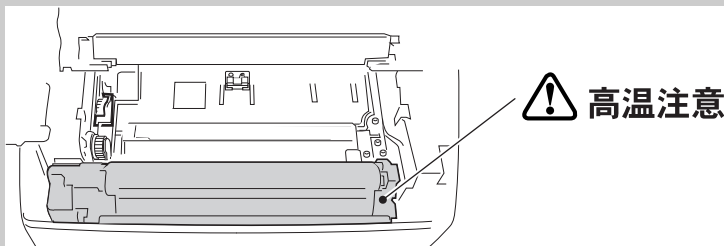
注意

■ トナーカートリッジは、本機に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。

■ トナーカートリッジは、最高の印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品 (TN-10J) をご使用ください。他のブランドのトナーカートリッジを使用した場合、ファクス機器の保証が無効になることがあります。

■ 使用済みのトナーカートリッジを廃棄するときは、アルミニウムバッグに入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。また、地域の規則に従って廃棄してください。

■ ドラムユニットにはトナーが入っているので取り扱いには注意してください。トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■ 本機の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本機のトップカバーを開けたときは、下図の網がけされた部分には絶対に触れないでください。

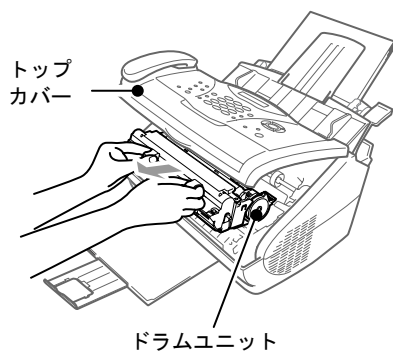
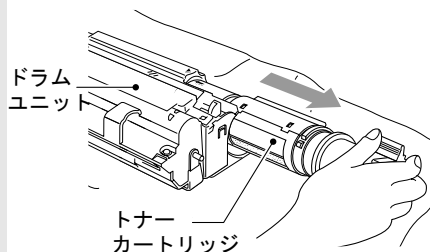
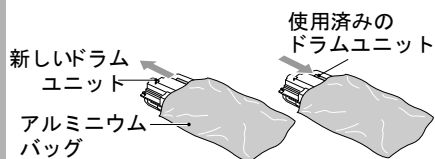
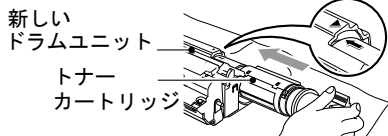
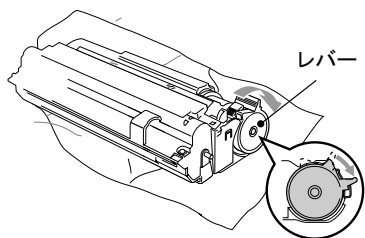
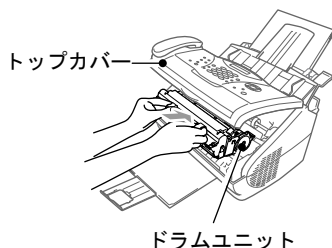
## 警告

**トナー（使用済みトナーを含む）またはトナーの入った容器を火中に投入しないでください。**

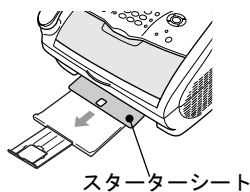
トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

## ドラムユニットの交換

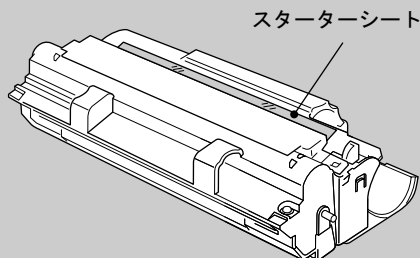
ディスプレイに「ﾄﾞﾗﾑ　ｺｳｶﾝ　ｼﾞｷﾃﾞｽ」と表示された場合は、新しいドラムユニットと交換する必要があります。

**1.** トップカバーを開きます。

**2.** 使用済みのドラムユニットを取り外します。

**3.** ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外し、安全な場所に保管します。

**4.** 新しいドラムユニットを開封して取り出します。

**5.** 手順３で保管しておいたトナーカートリッジを、新しいドラムユニットに取り付けます。
このとき、トナーカートリッジのガイド矢印がドラムユニットのガイド矢印に正確に揃っていることを確認してください。

**6.** トナーカートリッジのレバーを、止まるまで矢印の方向にゆっくり回します。

**7.** 新しいドラムユニットを図のように取り付けてから、トップカバーを閉めます。

**8.** しばらくすると、スターターシートが自動的に排出されます。

メモ

- ディスプレイに「ﾄﾞﾗﾑ　ｺｳｶﾝ　ｼﾞｷﾃﾞｽ」と表示されていても、しばらくの間はドラムユニットを交換せずに継続して印刷できることもあります。しかし、印刷品質が目立って低下した場合は、ドラムユニットを交換することをお奨めします。
- トナーカートリッジの交換については P. 194 を参照してください。
- ドラムユニットは消耗品で、定期的な交換が必要です。実際のドラムの寿命には温度、湿度、記録紙のタイプ、使用するトナー、印刷ジョブあたりのページ数など多くの要因が影響します。ドラムの寿命は、連続印刷で約 20,000 ページ、間欠印刷で約 8,000 ページと見積もることができます。ドラムで印刷できる実際のページ数は、使用条件によって変動します。

注意

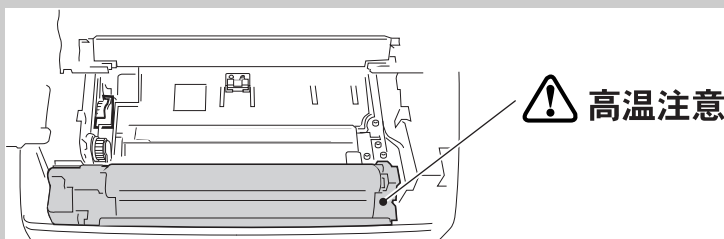
■ ドラムユニットを交換する際に、透明のスターターシートは取り除かないでください。

■ ドラムユニットは、本機に取り付ける直前に開封してください。

■ 開封したドラムユニットが過度の直射日光や室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。

■ ドラムユニットにはトナーが入っているので取り扱いには注意してください。トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■ 使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、アルミニウムバッグに入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。また、地域の規則に従って廃棄してください。

■ 本機の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本機のトップカバーを開けたときは、下図の網がけされた部分には絶対に触れないでください。

## 警告

トナー（使用済みトナーを含む）またはトナーの入った容器を火中に投入しないでください。
トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

# 困ったときには


■ 困ったときには......202
こんなときには......202
エラーメッセージ......203
本機で問題が発生した場合......206
故障かな？と思ったら......213

# 困ったときには

## こんなときには

本機をご利用中に問題が発生したら、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしていただき、対応する処置を行ってください。それでも問題が解決しないときは

お客様相談窓口 **0120-143410**

へご連絡ください。

（修理の場合は、持ち込み修理になります。）

メモ


● ディスプレイにエラーメッセージが表示される。................................... P. 203

● トラブルの原因と対処を知りたい。................................................ P. 206

## エラーメッセージ

本機や電話回線に異常が発生した場合は、エラーメッセージとともに処置方法がディスプレイに表示されます。ディスプレイに表示された処置方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決されないときは、お客様相談窓口 0120-143410 へご連絡ください。

| ディスプレイ表示 | 原因 | 処置 |
| --- | --- | --- |
| ｱｲﾃｻｷ ｶｸﾆﾝ | 相手先が電話回線を切りました。<br>ポーリング設定が間違っています。<br>パスワードが間違っています。<br>CNG に応答しません。 | 相手先を確認してください。<br>ポーリングのパスワードを確認してください。 |
| ｳｫｰﾐﾝｸﾞ ｱｯﾌﾟ<br>ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ | 装置内部の温度が低くなっています。 | しばらくお待ちください。 |
| ｶｲｾﾝｾｯﾃｲ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ | 自動で回線種別を設定することができませんでした。 | 手動で回線種別を設定してください。P. 24 |
| ｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｶｸﾆﾝ<br>ｶﾊﾞｰｦｱｹﾃ ﾄﾅｰｦ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ | トナーカートリッジが装着されていません。 | トナーカートリッジを装着してください。 |
| ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ<br>ｶﾊﾞｰｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ | トップカバーが完全に閉じていません。 | トップカバーを一度開け、再度閉じてください。 |
| ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ | 機械内部で記録紙などが詰まりました。 | トップカバーを開け、記録紙を取り除き、トップカバーを閉じてください。 |
| ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ<br>ｿｳﾁ ｶｸﾆﾝ ｹﾞﾝｺｳｦﾇｲﾃ<br>ｺｰﾙｾﾝﾀｰﾏﾃﾞ ｺﾞﾚﾝﾗｸｸﾀﾞｻｲ | 本機に何らかの機械的な異常が発生しました。 | お客様相談窓口 0120-143410 へ連絡してください。 |
| ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ<br>ﾚﾊﾞｰｦｵｼﾅｶﾞﾗ ｶﾊﾞｰｦｱｹﾃ<br>ﾂﾏｯﾀｷﾛｸｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ | 記録紙が詰まりました。 | トップカバーを開けて詰まった記録紙を取り除いてください。 |
| ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ<br>ﾚﾊﾞｰｦｵｼﾅｶﾞﾗ ｷﾛｸｼｦｾｯﾄｼﾃ<br>ﾌｧｸｽｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ | 記録紙がないか、正しくセットされていません。 | 記録紙を補給するか、正しくセットしてください。 |
| ｷﾛｸｼｻｲｽﾞｦ ｶｸﾆﾝ<br>A4 ｻｲｽﾞﾉ ｷﾛｸｼｦｾｯﾄｼﾃ<br>ﾌｧｸｽｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ | 記録紙に A4 サイズ以外の記録紙がセットされています。 | A4 サイズの記録紙をセットしてください。 |
| ｸｰﾙﾀﾞｳﾝ | ドラムユニットまたはトナーカートリッジの温度が高くなりすぎました。 | ドラムユニットとカートリッジの温度が下がるまでお待ちください。 |

| ディスプレイ表示 | 原因 | 処置 |
| --- | --- | --- |
| ｹﾞﾝｺｳｶｸﾆﾝ<br>ｹﾞﾝｺｳｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃ ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝｦ<br>ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ | 原稿送りが適正に行われませんでした。 | 原稿を取り除いて、「停止 / 終了」ボタンを押してください。 |
| ｿｳﾁｶｸﾆﾝ XX | 本機に何らかの異常が発生しました。 | お客様相談窓口 0120-143410 までご連絡ください。 |
| ﾂｳｼﾝｴﾗｰ | 電話回線の状態が悪い可能性があります。 | 少し時間を置いて、もう一度かけ直してください。 |
| | 相手が、ポーリングモードを設定していなかった可能性があります。 | 相手先のポーリング設定を確認してください。 |
| ﾃﾞﾝﾜｷ ｺｰﾄﾞ ｦ<br>ｾﾂｿﾞｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ | 電話機コードが正しく接続されていません。 | 電話機コードを正しく接続してください。P. 21 |
| ﾄｳﾛｸ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ | 電話番号／ファクス番号が登録されていないワンタッチダイヤル番号／短縮ダイヤル番号を押しました。 | 電話番号／ファクス番号を登録してください。登録されているかどうかはダイヤルリストをご確認ください。 |
| ﾄﾅｰｶﾞ ﾅｸﾅﾘﾏｼﾀ<br>ｶﾊﾞｰｦｱｹﾃ ﾄﾅｰｦ<br>ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ | トナーがなくなったので、プリントできません。 | トナーカートリッジを新しいものと交換してください。 |
| ﾄﾞﾗﾑ ｺｳｶﾝ ｼﾞｷﾃﾞｽ | ドラムユニットの寿命です。 | ドラムユニットを新しいものと交換してください。 |
| ﾊﾅｼﾁｭｳ / ｵｳﾄｳﾅｼ | 相手先が話し中か、応答がありませんでした。 | 少し時間を置いて、もう一度かけ直してください。 |
| ﾌﾟﾘﾝﾀ ｼﾖｳﾁｭｳ | 本機のプリンタが動作中です。 | プリント操作が終了してから再度操作してください。 |
| ﾏﾓﾅｸ ﾄﾅｰｷﾞﾚﾃﾞｽ | トナーが残り少なくなっています。 | 新しいトナーカートリッジを注文します。<br>ご注文シートをご利用ください。P. 122 |
| ﾒﾓﾘｰｶﾞｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ | メモリーがいっぱいです。 | メモリー内部の記録をプリントするか、メモリーの内容を消去してください。 |

| ディスプレイ表示 | 原因 | 処置 |
| --- | --- | --- |
| ﾒﾓﾘｰｶﾞｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ<br>ｺﾋﾟｰ：ｺﾋﾟｰｦ ｵｽ<br>ﾄﾘｹｼ：ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝ | メモリーがいっぱいです。 | コピーする原稿を分けてコピーするか、「停止／終了」ボタンを押し、コピーを中止してください。 |
| ﾒﾓﾘｰｶﾞｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ<br>ﾄﾘｹｼ：ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝ | メモリーがいっぱいです。 | 「停止／終了」ボタンを押し、コピーを中止してください。 |
| ﾒﾓﾘｰｶﾞｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ<br>ﾌｧｸｽｼﾞｭｼﾝﾃﾞｰﾀﾔ<br>PC ﾌﾟﾘﾝﾄﾃﾞｰﾀﾅﾄﾞｦ<br>ｼｮｳｷｮｼﾃｸﾀﾞｻｲ | メモリーがいっぱいです。 | メモリー内部の記録をプリントするか、メモリーの内容を消去してください。 |
| ﾒﾓﾘｰｶﾞｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ<br>ｿｳｼﾝ：ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝ<br>ﾄﾘｹｼ：ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝ | メモリーがいっぱいです。 | 「ファクススタート」ボタンを押して、読み込んだ分だけ送信するか、「停止／終了」ボタンを押してファクスを中止してください。 |

## 本機で問題が発生した場合

本機で問題が発生したとお考えの場合は、まずコピーを実行してください。コピーが正常な場合、本機には問題がないかもしれません。以下の表を参考にしながら問題解決を図ってください。

### ● 印刷とファクスの受信

| 問　題 | 対　応 |
|---|---|
| 印刷結果が圧縮され、水平の縞が現れる。または、上部と下部の文章が切れる。 | コピーが正常な場合、電話線に対する静電気や妨害によって接続状態が悪化している可能性があります。コピーが正常でない場合、スキャナ部分を清掃します。それでも問題が解決しない場合は、お客様相談窓口 0120-143410 にご連絡ください。 |
| 垂直の縞が現れる。または、受信したファクスに黒い線が現れる。 | 本機のプライマリーコロナワイヤーが汚れているか、送信側のファクススキャナが汚れている可能性があります。プライマリーコロナワイヤーを清掃する P. 193 か、送信側の機器に問題がないことを確認するためにコピーをとってみてください。または、別のファクシミリから受信してみてください。それでも問題が解決しない場合は、お客様相談窓口 0120-143410 にご連絡ください。 |
| 本機が声をファクス信号音として誤って検知してしまう。 | 「ｼﾝｾﾂ　ｼﾞｭｼﾝ」が「ON」に設定されていると、音に対して敏感になります。本機は回線上の特定の音声をファクス機器の呼び出しと間違って、ファクスの受信トーンで応答することがあります。親子電話をお使いの場合は「#51」を押し、本機または外付電話をお使いの場合は「停止 / 終了」ボタンを押します。「ｼﾝｾﾂ　ｼﾞｭｼﾝ」を「OFF」にしてこの問題が解決できないか試してください。 P. 96 |
| 水平の縞が現れる。または、行が抜ける。 | 通常、この現象は電話の接続が悪いことが原因です。相手にファクスを再送するように依頼してください。 |
| 受信したファクスでページが分割されて 2 ページに印刷されたり、余分な空白のページが現れる。 | 自動縮小を「ON」に設定してください。 P. 99 |

## ● 電話回線または接続

| 問　題 | 対　応 |
| --- | --- |
| ダイヤルできない。 | 電話回線の種別を調べます。P. 25<br>手動で回線種別を設定します。P. 24<br>すべての回線コードの接続を確認し、受話器コードが外付電話（EXT.）端子に接続されていないことを確認します。電源コードの接続を確認します。 |
| 受信時に本機が応答しない。 | 本機が正しい受信モードに設定されていることを確認します。ダイヤル音を確認します。可能なら本機に電話して応答が聞こえることを確認します。それでも応答しない場合は、電話機コードの接続を確認します。受話器を本機の電話ジャックに接続します。本機を呼び出しても呼び出し音がしないときは、電話会社に連絡して回線を確認してもらってください。 |
| 受話器でダイヤル音が聞こえない。 | 本機と壁の電話機コンセントと電話機コードの接続を確認します。受話器コードが本機の受話器ジャックに接続されていることを確認します。 |

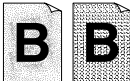
## ● ファクスの送信

| 問　題 | 対　応 |
|---|---|
| 画像品質が悪い。 | 解像度をファインか、スーパーファインに変更します。P. 74<br>コピーをとり、本機のスキャナ動作を確認します。 |
| 送信確認レポートで「ｹｯｶ：NG」と印刷される。 | 電話回線で一時的なノイズや静電気が発生しています。もう一度ファクスを送信してみます。問題が続いている場合、電話会社に連絡して電話回線を確認してもらってください。 |
| 受信側で図が明瞭でない。 | ファクスの送信時に選択した解像度が適切でないことがあります。ファインまたはスーパーファインモードを使用してファクスを再送信します。また、本機のスキャナが汚れている可能性があるので、きれいにします。<br>P. 192 |
| 受信側で受信したファクスに縦の縞が現れる。 | 本機のスキャナが汚れているか、受信側の印字ヘッドが汚れている可能性があります。スキャナをきれいにしたのち P. 192、コピーをとって、使用している機器が問題の原因ではないことを確認します。 |

## ● 受信通話の処理

| 問　題 | 対　応 |
|---|---|
| 通常モードで２回、呼び出し音が鳴る。 | 本機は受信通話がファクスでないことが分かると、電話に応答するように知らせます。本機の受話器を取るか親子電話で応答してから、本機のリモート起動番号（初期設定は「#51」）を押します。 |
| ファクスを本機に正常に転送できない。 | 本機で応答した場合は、「ファクススタート」ボタンを押してすぐに受話器を置きます。親子電話で応答した場合は、本機のリモート起動番号（初期設定は「#51」）を押します。<br>本機が応答したら受話器を置きます。 |

## ● 一般的な印刷の問題

| 問　題 | 対　応 |
|---|---|
| 本機で印刷できない。 | ・本機が接続されていることを確認します。<br>・トナーカートリッジとドラムユニットが適切に取り付けられていることを確認します。<br>・インターフェースケーブルが本機とコンピュータ間に確実に接続されていることを確認します。<br>・ディスプレイにエラーメッセージが表示されていないことを確認します。P. 203 |
| 最初の数ページは正常に印刷するが、その後のページで印刷が乱れる。 | プリンタの入力バッファがいっぱいになっているという信号をコンピュータが認識していません。プリンタケーブルが正しく接続されていることを確認します。 |
| 文書のすべてのページが印刷されない。または、「ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」というエラーメッセージが表示される。 | プリンタの解像度を下げます。文書を簡単にしてもう一度印刷します。アプリケーションソフトウェアでグラフィックスの品質を下げるかフォントサイズの数を減らします。 |

## ● Windows® で設定した印刷の問題

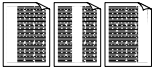
| 問　題 | 対　　応 |
|---|---|
| アプリケーションソフトウェアから印刷できない。 | Windows® のプリンタドライバがインストールされていて、それをアプリケーションソフトウェアで選択していることを確認します。 |
| 本機に給紙できない。 | ディスプレイに「ｷﾛｸｼ　ｶｸﾆﾝ」と表示されているかどうか確認します。表示されている場合、給紙カセットの記録紙がなくなっているか、適切に取り付けられていない可能性があります。記録紙がないときは、給紙カセットに記録紙を補給し「ファクススタート」ボタンを押します。給紙カセットに記録紙があるときは、記録紙がまっすぐなことを確認します。記録紙が丸くなっている場合、まっすぐにします。記録紙を取り出し、裏返して、給紙カセットに戻すとまっすぐにできます。給紙カセットの記録紙の枚数を減らしてもう一度試します。 |
| 封筒の給紙方法 | 給紙カセットから封筒を給紙することができます。アプリケーションソフトウェアで、使用する封筒サイズを印刷するように設定されていなければなりません。これは、通常ソフトウェアの［ページ設定］や［文書設定］メニューで設定できます。アプリケーションのマニュアルを参照してください。 |
| 使用できる記録紙サイズ | 普通紙、封筒、システム手帳の記録紙、OHP シートを使用できます。使用できる記録紙については P. 14 を参照してください。 |
| 詰まった紙の除去方法 | P. 186 を参照してください。 |

## ● コピー品質の問題

| 問　題 | 対　　応 |
|---|---|
| コピーに縦の縞が現れる。 | スキャナやプライマリーコロナワイヤーが汚れている可能性があります。両方をきれいにします。P. 193 |

## ● 印刷品質の問題

| 問　題 | 対　応 |
|---|---|
| 印刷結果が濃すぎるか薄すぎる。 | コントラストを設定して印刷条件を調整します。お買い上げ時は中央位置に設定されています。P. 138 |
| 印刷されたページに白い線が現れる。 | きれいな柔らかい布でスキャナウィンドウを拭くと、この問題を解決できる場合があります。P. 192<br>それでも白い線が現れたり、印刷結果が薄く、ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。 |
| 印刷されたページが汚れていたり、垂直の線が現れる。 | 本機の内部とトナーカートリッジのプライマリーコロナワイヤーをきれいにします。P. 193<br>コロナワイヤーのタブがホームポジションにあることを確認します。清掃後も黒い線やトナーの汚れが現れ、ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。 |
| 印刷されたページの黒い文字やグラフィックス領域に白い部分が現れる。 | 設定に合った記録紙を使用していることを確認します。表面が粗い場合や記録紙が厚い場合、この問題が発生することがあります。このような原因がないのに白い点が現れ、ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。 |
| 印刷されたページにトナーが飛び散り汚れる。 | 印刷条件を調整します。ドラムユニットを取り外し、本機の内部を清掃します。P. 192<br>仕様に合った記録紙を使用していることを確認します。P. 13<br>これらの対策後もトナーが飛び散り、ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。 |
| ページ全体が黒く印刷される。 | 白いバーとガラスカバーを拭きます。P. 190<br>また、感熱紙はこの問題の原因になるので使用しないでください。清掃後も印刷ページが黒くなり、ディスプレイに「ドラム　コウカン　ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。P. 198 |

| 問　題 | 対　応 |
|---|---|
| ページに何も印刷されない。 | トナーカートリッジが空でないことを確認します。<br>スキャナウィンドウに、裂けた紙片が残っていないことを確認します。 |
| 印刷されたページに規則的な間隔で跡が現れる。 | 跡は自然に消えることもあります。この問題を解決するには、複数のページをコピーします。本機が長期間使用されていないと跡が現れることがあります。ドラムの表面の傷が原因であることもあります。その場合、ドラムユニットを新しいものに交換します。跡が消えないときは、ドラムに跡が付いているか、過度に光にさらされて損傷している可能性があります。その場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。 |
| 印刷されたページの中心やどちらかの端に汚れが現れる。 | 湿度、高温等の特定の環境条件がこの問題の原因になることがあります。本機が平らな面に設置されていることを確認します。トナーカートリッジを取り付けたままドラムユニットを取り外します。トナーカートリッジとドラムユニットを左右に振ります。スキャナウィンドを柔らかいきれいな布で拭き取ると、汚れたページの問題を解決できることがあります。P. 192<br>清掃後も汚れたページが発生し、ディスプレイに「ﾄﾞﾗﾑ　ｺｳｶﾝ　ｼﾞｷﾃﾞｽ」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。P. 198 |
| ゴーストイメージが印刷されたページに現れる。 | 印刷条件を調整します。仕様に合った記録紙を使用していることを確認します。表面が粗い記録紙や、厚い／薄い記録紙がゴーストイメージの原因になることがあります。 |
| 印字面に触れると汚れる。 | 記録紙の設定に対して厚い記録紙をセットしています。設定を確認します。<br>P. 136　P. 147 |
| 紙がまるまって排出される。 | 記録紙の設定に対して薄い記録紙をセットしています。設定を確認します。<br>P. 136　P. 147 |

## 故障かな？と思ったら

| | こんなときは | ここをチェック | 対処方法 |
|---|---|---|---|
| 原稿 | 原稿が送り込まれていかない。 | 原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。 | 原稿を一度取り出し、もう一度確実に挿入します。 |
| | | コントロールパネルカバーは確実に閉まっていますか。 | コントロールパネルカバーをもう一度閉じ直します。 |
| | | 原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。 | 推奨する厚さの記録紙を使用します。 |
| | | 原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっていませんか。 | P. 57 を参照して対処してください。 |
| | | 原稿が小さすぎませんか。 | |
| | | 原稿挿入口に破れた原稿などが詰まっていませんか。 | コントロールパネルカバーを開け、詰まっている原稿を取り除きます。 |
| | 原稿が斜めになってしまう。 | 原稿ガイドを原稿に合わせていますか。 | 確実に原稿ガイドを原稿に合わせます。 |
| | | 原稿挿入口に破れた原稿などが詰まっていませんか。 | コントロールパネルカバーを開け、詰まっている原稿を取り除きます。 |

| | こんなときは | ここをチェック | 対処方法 |
|---|---|---|---|
| 送信および受信 | スタートボタンを押しても送信または受信しない。 | 電話機コードを正しく接続していますか。 | 電話機コードを正しく接続してください。P. 21 |
| | | 原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。 | 原稿をもう一度取り出し、セットし直します。 |
| | | 外付電話機が通話中ではありませんか。 | 外付電話の受話器を確認してください。 |
| | | 回線種別は正しく設定されていますか。 | 回線種別を確認します。P. 23 |
| | | ターミナルアダプタは正しく設定されていますか。（ISDN 回線の場合） | ターミナルアダプタの設定を確認します。 |
| | 送信後、受信側から画像が乱れていると連絡があった。 | きれいにコピーがとれますか。 | コピーに異常があるときは読み取り部の清掃をしてください。 |
| | | 相手先に異常がありませんか。 | 別のファクスから相手先に送信してみます。 |
| | | 画質モードは適切ですか。 | 画質を変更して送信します。 |
| | | キャッチホンが途中で入っていませんか。 | 「キャッチホンⅡ」のサービスに変更し、「キャッチホンⅡ」の呼び出しベル回数を 0 回に設定してください。<br>「キャッチホンⅡ」の詳しい内容は NTT の 116 番におたずねください。 |
| | | 並列接続された別の電話機の受話器を上げていませんか。 | 極力、並列接続はしないようにします。 |
| | 送信後、受信側から受信したファクスに縦の線が入っているという連絡があった。 | 本機の読み取り部分が汚れているか、または受信側のプリンタのヘッドが汚れている可能性があります。 | 読み取り部の清掃を行って送信します。それでも現象が変わらなければ、相手のファクスの状態を調べてもらいます。 |

| | こんなときは | ここをチェック | 対処方法 |
|---|---|---|---|
| 受信 | リモート起動できない。 | リモート起動の設定は「ON」になっていますか。 | リモート起動設定を「ON」にします。P. 98 |
| | | リモート起動番号を正しくダイヤルしましたか。 | リモート起動番号を正しくダイヤルします。P. 98 |
| | | メモリーがいっぱいになっていませんか。 | メモリー受信したファクスを出力します。P. 109 |
| | 受信しても、記録紙が出てこない。 | 記録紙は正しくセットされていますか。 | 記録紙を正しくセットします。P. 20 |
| | | 記録紙が詰まっていませんか。 | 本機内部を確認します。 |
| | | 記録紙がなくなっていませんか。 | 記録紙がセットされていることを確認します。 |
| | | トナーの残量は十分ですか。 | ディスプレイを確認します。 |
| | 2 枚に分かれて印刷される。 | 送信側の原稿が A4 より長いことが考えられます。 | 自動縮小の設定を「ON」にします。 |
| プリント | プリントページの端や中央がかすむ。 | トナーカートリッジを交換してください。 | トナーカートリッジを交換してもまだプリントの質に問題がある場合、お客様相談窓口 0120-143410 にご連絡ください。 |
| | プリントの質が悪い。 | トナーカートリッジを交換してください。 | それでも改善されない場合、お客様相談窓口 0120-143410 にご連絡ください。 |

| | こんなときは | ここをチェック | 対処方法 |
|---|---|---|---|
| ＊ISDN回線 | 電話を受けても本機のベルが鳴らない（電話をかけた側は、呼び出し続けている）。 | 電話回線が接続されているか確認します。 | 確実に本機に接続します。 |
| | | 電源が入っているか確認します。 | 電源コードを接続します。 |
| | | ターミナルアダプタ の設定を確認してください。 | 何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。 |
| | | 契約回線番号およびダイヤルイン番号、i・ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。 | それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたは最寄りのNTT におたずねください。 |
| | 1～2回おきにしか本機が接続されているアナログポートに、着信しない。 | 「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1～2回おきにしか着信できません。 | 「着信優先」または「応答平均化」を解除します。 |
| | 電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）。 | 本機を接続しているアナログポートの設定内容を確認します。 | 契約回線番号のアナログポートに本機を接続している場合<br>・サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。<br>・HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。<br>・識別着信は「識別着信しない」に設定してください。 |
| | | | ダイヤルイン番号またはi・ナンバー情報のアナログポートに本機を接続している場合<br>・ダイヤルイン番号またはi・ナンバー情報を登録してください。<br>・サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。<br>・HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。<br>・識別着信は「識別着信しない」に設定してください。 |

＊　ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルーターの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

| | こんなときは | ここをチェック | 対処方法 |
|---|---|---|---|
| ＊ISDN回線 | 電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）。 | 相手側ターミナルアダプタの設定を確認します。 | 相手もISDN回線の場合、相手側ターミナルアダプタの設定が誤っていることもあります。<br>この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本機を接続しているターミナルアダプタの設定は正しいことになります。 |
| | | ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認します。 | 異常があった場合はNTT故障係（113）へご連絡ください。 |
| | 契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、ダイヤルイン追加番号のアナログポートに接続した機器の呼出ベルも一緒に鳴る。 | ダイヤルイン番号またはi・ナンバー情報のアナログポートはグローバル着信を確認します。 | ダイヤルイン番号またはi・ナンバー情報のアナログポートはグローバル着信「しない」に設定してください。 |
| | 特定の相手とFAX通信できない。 | 別のファクスから送信して、うまくいくかどうか確認してください。 | それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口0120-143410へご連絡ください。 |
| | FAX送受信ができない（電話はかけることも、受けることもできる）。 | ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認します。異常があった場合はNTT故障係（113）へご連絡ください。 | 回線に異常がなければ、<br>お客様相談窓口0120-143410へご連絡ください。 |
| その他 | 電源が入らない。 | 電源コードは確実に差し込まれていますか。 | 電源コードを確実に差し込みます。 |

＊ ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルーターの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ADSL回線 | ADSLにする前と比較して自分の声が響く、または相手の声が聞きづらい。 | ADSLのスプリッターが影響している可能性があります。 | ADSL回線のスプリッターを交換すると改善する場合があります。<br>ブラザー推奨品：NTT東西日本製 |
| | 通は中に雑音が入るまたは音量が小さくなった。 | 他の機器と並列接続していませんか | 並列処理をしないでください。 |
| | ファクス通信でエラー発生が多くなった | | |

# 用語集

## あ

● アイコン
画面上で、ファイル、フォルダ、またはプログラムなどを示す絵文字です。

● アプリケーションソフトウェア
ワープロや表計算など、ユーザーが直接触って操作するソフトウェアです。

● インターフェース
PC と周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● ウィザード
Windows® 95/98/Me などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● オプション機能
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

● 親切受信
ファクスを着信したときに間違えて外付電話を取ってしまったときでも自動的に本機がファクス受信を行う機能です。

## か

● 回線種別
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● 機密ポーリング
受信側のファクス操作で暗証番号を入れることによって、送信側のファクスにセットしてある原稿を暗証番号が合っているときにだけ自動的に送信させる機能です。

● 公衆回線
一般の電話回線です。

## さ

● 順次同報送信
同じ原稿を複数の送信先を設定して一度に送信させる機能です。

● スタックコピー
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、1 枚目を希望枚数分、2 枚目を希望枚数分のようにコピーしていくことです。

● ソートコピー
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、原稿 1 部すべてコピーした後、再度 1 ページ目からコピーし、希望部数分コピーしていくことです。

## た

● タスクバー
画面の上にあるプログラムの起動やフォルダの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● デバイス
ハードディスクやプリンタのような、コンピュータで使用されるハードウェアのことです。

● デュアルアクセス
1 つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● 電話呼び出し機能
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先の電話に知らせる機能です。

● 取りまとめ送信
メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめてタイマーで指定された時間に送信する機能です。

## は

● パラレルプリンタケーブル
複数の信号線をまとめてあるケーブルで同時に数ビットまとめてデータを送ることができます。コンピュータと本機を接続します。

● ファクス転送
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先のファクスに転送させる機能です。

● プリンタケーブル
本機とコンピュータを接続するケーブルです。

● プリンタドライバ
アプリケーションソフトウェアのコマンドをプリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェアです。

● ポーリング通信
受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

## ま

● メモリー送信
ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● メモリー代行受信
記録紙がセットされていないときなど、着信したデータをいったんメモリーに貯えておく機能です。

## ら

● リアルタイム送信
メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● リモート起動
本機に接続された外付電話機から本機を操作する機能です。

● リモコンアクセス
外出先から本機をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● レーザープリンタ
レーザーを使って文字や画像を印刷用のドラムに照射し、トナーを記録紙に定着させるタイプのプリンタです。高解像度、高品位、高速、静音といった特徴をもっています。

● ログオン（ログイン）
コンピュータやシステムでアクセスするときに行う操作です。

## 数字

● 2 IN1
2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

● 3 極 -2 極変換アダプタ
電源コードでアース線つき（3 極コード）のものを 2 極のコンセントに差し込むときに使うアダプタです。

● 4 IN1
4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

## A to Z

● ADF
自動原稿送り装置。コピーするときに原稿を 1 枚ずつ入れるのではなく、自動的に原稿を本機に送ります。

● Automatic E-mail Printing
E メールを自動的にプリントしたり、定期的に新着メールを確認するソフトウェアです。

● CSV 形式
Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。

Microsoft Excelなどの表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI

Dot Per Inch の略で、1 インチ (2.54cm) 幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● ECM 通信

Error Correction Mode の略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。

● ISDN

NTT が行っている電話線のサービスです。デジタルの回線で1回線でコンピュータと電話など一度に 2 回線分使うことができます。

● LCD

液晶表示管です。本機ではディスプレイとして使用します。

● MFL-ProJ

本機に付属されているソフトウェア。プリンタドライバなどを持っています。

● OS

Operating System（オペレーティングシステム）の略で、コンピュータの基本ソフトウェア群です。

● PC

Personal Computer（パーソナルコンピュータ）の略で、個人仕様の一般的なコンピュータです。

● PC/AT 互換機

IBM 社が開発したパーソナルコンピュータ（IBM.PC/AT）の互換パソコンに付いた名称です。日本では DOS/V パソコンとも言われます。

● PC-FAX

PC のアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC-FAX の電話帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先を簡単に指定することができます。また、送付書を添付して送信することもできます。

● USB ケーブル

Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識するプラグアンドプレイ機能や、コンピュータの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● Vcards(vcf 形式 )

電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● Windows® 2000

Windows NT® 4.0 の後継となる Microsoft 社の OS です。使いやすさが配慮されており、個人用途向けとしても利用されています。インターネットなどのネットワーク環境を前提として設計されている点が特徴です。

● Windows® 95/98/98SE/2000/XP

Microsoft 社が開発した OS で、それぞれ 95 年、98 年、00 年（= Millennium edition）、XP は 01 年に発売されました。

● Windows NT®

Microsoft 社が開発したネットワーク OS です。

# 本装置の規格

## 国際エネルギースタープログラム

この制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むために、エネルギー消費の少ない効率的な製品を開発・普及させることを目的としています。
当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

## VCCI 規格

この装置は、情報装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

# 本装置の仕様

## ファクシミリ

| 互換性 | ITU-T グループ 3(G3) |
|---|---|
| 圧縮方式 | MH/MR/MMR |
| 通信速度 | 14400/12000/9600/7200/4800/2400bps<br>（自動フォールバッグ付き） |
| 直流抵抗値 | 199Ω |
| 原稿サイズ幅 | 最大：257mm<br>最小：148mm |
| 原稿サイズ長さ | 最大：370mm<br>最小：100mm |
| 有効読み取り幅 | 252mm |
| 原稿セット枚数 | 20 枚 |
| 給紙カセット枚数 | 約 200 枚（64g/ ㎡） |
| 記録紙サイズ | A4（幅 210mm ×長さ 297mm） |
| 電送時間 | 約 6 秒 * |
| 中間調伝送 | 64 階調 |
| LCD 表示 | 16 桁 |
| 読み取り方式 | 密着イメージセンサーによる読み取り |
| 走査線密度 | 主走査：8 ドット /mm<br>副走査：3.85 本 /mm（標準）<br>7.7 本 /mm（ファイン / 写真）<br>15.4 本 /mm（S. ファイン） |
| ポーリングタイプ | スタンダード / 機密 / 時刻指定 |
| 適用回線 | 一般電話回線 |

* A4 判 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本 /mm)、高速モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間です。通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の電送時間は原稿の内容および回線状況によって異なります。

## プリンタ

| | |
|---|---|
| 対応コンピュータ | PC/AT 互換機<br>Apple 社製 Macintosh の USB ポート搭載機 |
| 対応 OS | Windows® 95/98/98SE/Me/XP、Windows® 2000 Professional、Windows NT® Workstation 4.0<br>Mac OS® 8.5 ～ 9.1 |
| インターフェース | IEEE1284 準拠パラレルインターフェース<br>または USB1.1/2.0（USB2.0 対応の PC からもご使用いただけますが、USB1.1 の転送速度での動作となります）。 |
| プリント方式 | レーザー |
| プリント解像度 | 600 × 600dpi |
| プリント速度 | 10 枚 / 分（A4）* |

* 実際のプリント速度は、原稿の内容によって異なります。

## 電源と使用環境

| | |
|---|---|
| 使用環境 | 温度：10 ～ 32.5 ℃<br>湿度：20 ～ 80%（結露なきこと） |
| 電源 | AC100Ｖ ± 10V　50/60Hz |
| 消費電力 | 待機時：約 10W 以下<br>動作時（平均）：約 260W 以下<br>ピーク時：約 940W 以下 |
| 稼働音 | 動作時：50dBA 以下<br>待機時：39dBA 以下 |
| 外形寸法 | 395（横幅）× 359（奥行き）× 243（高さ）mm<br>（突起部を除く） |
| 質量 | 約 7.5kg |
| メモリー容量 | 8MB |

メモ

● MacOS® X への対応状況は、弊社ホームページにて最新情報を公開しております。以下のサイトを参照してください。
http://solutions.brother.co.jp

# 主な仕様

## コンプュータ環境〔Windows®〕

本機とコンピュータを接続してお使いいただくには、以下のコンピュータ環境が必要になります。

| | |
|---|---|
| **OS** | Windows® 95/98/98SE/Me、<br>Windows NT® Workstation 4.0 SP6、<br>Windows® 2000 Professional、Windows® XP |
| **CPU** | Windows® 95/98：Pentium® 75MHz 以上<br>Windows® Me：Pentium® 150MHz 以上<br>Windows NT® Workstation 4.0：Pentium® 75MHz 以上<br>Windows® 2000 Professional：Pentium® 133MHz 以上<br>Windows® XP：Pentium® 233MHz 以上 |
| **メモリ** | Windows® 95/98/98SE：24MB 以上<br>（32MB 以上をお勧めします。）<br>Windows® Me：32MB 以上<br>（64MB 以上をお勧めします。）<br>Windows NT® Workstation 4.0 ：32MB 以上<br>（64MB 以上をお勧めします。）<br>Windows® 2000 Professional / XP：64MB 以上<br>（128MB 以上をお勧めします。） |
| **ディスク容量** | 130MB 以上の空き容量 |
| **CD-ROM ドライブ** | 2 倍速以上必須 |

メモ

- メモリの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Windows NT® Workstation 4.0、Windows® 2000 Professional、Windows® XP の場合、Administrator 権限でログインする必要があります。

## コンピュータ環境〔Macintosh™〕

本機とコンピュータを接続してお使いいただくには、以下のコンピュータ環境が必要になります。

| | |
|---|---|
| **OS** | Mac OS® 8.5 ～ 9.1 |
| **CPU** | Power PC G3 以上、Power PC G4 対応 |
| **メモリ** | 24MB 以上（64MB 以上をお勧めします。） |
| **ディスク容量** | 100MB の空き容量 |
| **CD-ROM ドライブ** | 2 倍速以上必須 |
| **インターフェース** | USB（本体搭載機能）のみ |

メモ

- メモリの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Mac OS® 9.0.2/9.0.3 をお使いの場合は、9.0.4 へのバージョンアップが必要となります。
- Mac OS® X への対応状況は、弊社ホームページにて最新情報を公開しております。以下のサイトを参照してください。
  http//solutions.brother.co.jp

# 索引

## 数字


2 IN 1 コピー ............................135
4 IN 1 コピー ............................135


## A


ADF .........................................58
ADF を使ってコピーする ...........127
ADSL 回線に接続する .................33


## F


F/T ...................................31, 92
FAX ..................................31, 92
FAX 専用モード .........................88


## I


ISDN 回線に接続する ..................34


## T


TEL ...................................31, 92


## あ


明るさ（コントラスト） .............133
暗証番号の設定 ........................118


## い


印刷可能範囲 .............................15
インポート ..............................178


## う


ウォーターマーク .....................152


## え


エクスポート ............................176
エラーメッセージ .....................203


## お


お使いの電話機を接続する ...........33
オプションコピー .....................135
オプションボタン .....................129
オリジナルコメント ....................79
オンフックボタン .......................60


## か


海外送信モード ........................... 83
外出先から本機を操作する ........ 113
回線種別 .................................... 24
回線接続（LINE）端子 ............... 21
拡大率 ..................................... 131
拡大・縮小コピー .................... 130
各部の名称とはたらき .................. 8
画質モード ........................... 74, 75
画質を設定する .................... 74, 75
紙詰まり ................................. 186


## き


キータッチ & ブザー音量 ............. 47
キータッチ音量を変える ............. 47
機能案内リスト ........................ 120
機能一覧 .................................... 40
基本設定機能 .............................. 41
基本的な文字入力 ...................... 30
機密ポーリング受信の設定 ........ 106
機密ポーリング送信の設定 ........ 103
記録紙 ....................................... 13
記録紙ホルダー .......................... 19


## く


グループダイヤルを登録する ....... 70
グループダイヤルを変更する ....... 72


## け


原稿ガイド .............................. 127
原稿サイズ ......................... 56, 125
原稿サポーター .......................... 19
原稿濃度 .................................... 76
原稿のタイプ ........................... 132
原稿の読み取り範囲 .................... 57
原稿排紙トレイ ........................ 127
原稿を直接送信する .................... 82


## こ


公衆回線に接続する ............. 32, 33
コピー機能 ......................... 45, 124
コピーの明るさ ........................ 133
コピーの読み取り範囲 .............. 125
コピー枚数を設定する .............. 131

## さ

再ダイヤル ................................63

## し

時刻指定ポーリングの設定 .........107
指定時刻に送信する ....................84
自動切替モード ..........................89
自動送信 ...................................58
自動で回線種別を設定する ...........23
自動的に縮小受信する .................99
写真 .......................................132
写真モード ..........................74, 75
縮小率 ...................................131
受信モードについて ....................88
受信モードを選ぶ .................31, 92
出力間隔 ................................121
手動で回線種別を設定する ...........24
手動両面印刷 ...........................143
受話器コード .............................19
順次同報送信 .............................80
使用できる記録紙 .......................14
消耗品シート ...........................120
初期設定を変更する
〔コントラスト〕 ................138, 139
親切受信で受信する ....................96
シンプルスタイル画面 ...............166

## す

スーパーファインモード ........74, 75
スキャナウィンド .....................192
スターターシート .......................18
スタックコピー ........................133
スピーカー音量を調節する ...........48

## せ

接続イメージ .............................32
設定内容リスト ........................120

## そ

送信操作画面 ...........................170
送信待ち確認 .............................86
送信レポート ...........................120
送付書 .....................................77
ソートコピー ...........................133
外付電話（EXT.）端子 ...............21
外付留守電モード ......................90

## た

タイマー送信 .............................84
タイマー通信レポート ..............120
タイマーポーリング受信 ...........107
ダイヤル回線 .............................25
ダイヤル設定 ...........................170
ダイヤルのしかた .......................62
ダイヤルボタン ..........................29
ダイヤルボタンを使用する ..........62
ダイヤルリスト ........................120
短縮ダイヤルを使用する .............62
短縮ダイヤルを登録する .............68
短縮ダイヤルを変更する .............69

## ち

着信ベル回数を設定する .............93
着信ベルの音量を調節する ..........46

## つ

通信管理レポート ....................120

## て

ディスプレイの特徴 ...................38
ディスプレイの表示言語を
切り替える ...............................53
ディスプレイの表示例 ................38
電源コード ...............................21
電話回線の種別を調べる .............25
電話帳ファイル .......................170
電話帳を作成する ......................65
電話帳を使用する ......................62
電話モード ...............................91
電話呼び出し機能の設定 ...........110
電話呼び出し機能の流れ ...........110

## と

同報送信レポート ....................120
時計セット ...............................26
トップカバー ............................17
ドラムユニット .........................18

ドラムユニットを取り付ける ........17
取りまとめ送信 ...........................85

## な

内線電話として接続する ..............36
ナビゲーションキー ....................39
名前と電話番号を登録する ...........27

## に

任意倍率 .................................130

## は

排紙トレイ ..............................144
倍率 .......................................130
はがき ....................................143
発信元登録 ...............................27
発信元登録を消去する .................28

## ひ

日付・時刻を合わせる .................26
標準モード ..........................74, 75

## ふ

ファインモード ....................74, 75
ファクス機能 .............................42
ファクススタイル画面 ...............166
ファクス転送の設定 ..................112
ファクス転送の流れ ..................111
ファクスメッセージ ..................110
ファクスを受信する ....................88
ファクスを送信する ....................56
ファクスを送信する〔手動送信〕 ...60
封筒 .......................................143
プッシュ回線 ............................25
プライマリーコロナワイヤー ......193
プリンタとファクスとして使う .....32
プリントできない部分 .................15

## へ

ヘッダー .................................170

## ほ

ホームテレホン、ビジネスホンに
接続する ................................. 36
ポーリング受信の設定 .............. 105
ポーリング送信の設定 .............. 102
ポーリングレポート ................. 120

## め

メモリー受信を設定する ........... 108
メモリーに入ったファクスを
出力する ................................ 109
メモリー代行受信 ...................... 93

## も

文字入力をする .......................... 29
文字配列 .................................. 29

## よ

用紙トレイ ............................... 19
用紙レバー ............................... 20
読み取り部の清掃 .................... 190

## り

リアルタイム送信 ...................... 82
リモート起動 ............................ 97
リモート起動設定 ...................... 98
リモートコントロール .............. 113
リモコンアクセス .................... 113
リモコンアクセスコマンド ........ 115
両面印刷 ......................... 143, 151

## る

ルス ................................... 31, 92

## れ

レポート・リストのプリント ..... 120

〈キリトリ線〉

## リモート　アクセス

暗証番号

＊

あなたの暗証番号を
記入してください。

### リモコンアクセスの使用方法

1.プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2.ファクシミリが応答して約4秒間の無音状態のときに、暗証番号を入力します。

①

3.「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。
「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。
4.次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5.90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が3回聞こえますので、もう1度やり直してください。

②

〈キリトリ線〉

## リモコンアクセスコマンド

| 操作内容 | | ボタン操作 |
|---|---|---|
| 電話呼び出し、ファクス転送の設定変更 | OFF | 951 |
| | ファクス転送 | 952（※1） |
| | 電話呼び出し | 953（※2） |
| ファクス転送番号の登録・変更 | | 954 |
| メモリー受信の設定 | ON | 956 |
| | OFF | 957 |
| ファクスの取り出し | ファクスの取り出し | 962+ダイヤル入力+## |
| | ファクス消去 | 963 |
| 受信状況のチェック（※2） | ファクス | 971 |



| 操作内容 | | ボタン操作 |
|---|---|---|
| 受信モードの変更 | 外付留守電 | 981 |
| | 自動切替 | 982 |
| | ファクス専用 | 983 |
| 終了 | | 90 |

※1：呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し、転送機能をONにすることはできません。

※2：「ピーピピッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信しています。「ピピピッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していません。

# ご注文シート

・消耗品のご注文は、インターネット、電話、FAXにて 承っております。
・FAXにてご注文される場合は、本 オーダーシートにご記入の上、お申し込みください。
・配送料は、お買い上げ金額の合計が5,000円以上の場合は全国無料です。
・5,000円未満の場合は、500円の配送料を頂きます。(代引き手数料は全国一律無料)
・配送地域は日本国内に限らせて頂きます。

〈代引き〉・・・・・・・・・・・**ご注文後2～3営業日後の商品発送**

*配送先が離島の場合は、代引きによるお支払いはできません。

〈お振込(銀行・郵便)〉・・・・**ご入金確認後2～3営業日後の商品発送**

※代金は先払いとなります。
※振込手数料はお客様負担となります。

〈クレジットカード〉・・・・・**カード番号確認後2～3営業日後の商品発送**

※カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせて頂きます。

## 【ご注文先】

ブラザー販売(株)情報機器事業部ダイレクトクラブ
インターネット : http://www.brother.co.jp/direct/
FAX : 052-825-0311
電話番号 : 0120-118-825 (土・日・祝日、長期休暇を除く9時～17時)
振込先 : 口座名義:ブラザー販売株式会社
銀行:三井住友銀行 上前津(かみまえず)支店 普通 6428357
郵便:振り込み番号 00860 - 1 - 27600

〈キリトリ線〉

お客様ご住所〒

お名前　　TEL　　FAX

お支払い方法　銀行前振込・郵便前振込・代引き・カード
カード種類　①VISA ②JCB ③UC ④DINERS ⑤CF ⑥Master ⑦JACCS

カードNo.

カード名義人名　　有効期限　年　月

| 品　名 | 商品コード | 単価(税込) | ご注文数 | 金　額 |
|---|---|---|---|---|
| TN-10J | 54X-X26-001-47 | ¥6,930 | | |
| DR-10J | 54X-X25-001-47 | ¥20,475 | | |
| | | 合　計 | | |

※配送量および消費税は変更の可能性があります。
(消費税:２００４年２月現在)

*この「ご注文シート」は、本機からプリントすることができます。
P.122 を参照してください。

# アフターサービスのご案内

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設置しております。
ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。その際、ディスプレイにどのような表示が出ているかなどおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

## 【お客様MFCお問い合わせ窓口】

お客様相談窓口　TEL:0120－143410

受付時間　9:00～18:00（土曜日のみ17:00まで）
営業日　月曜日～土曜日
（日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます）

## 【消耗部品のお問い合わせ窓口】

ブラザー販売 (株) 情報機器事業部　ダイレクトクラブ
〒467-8577 名古屋市瑞穂区苗代町15－1
TEL：(052) 824－3410
FAX：(052) 825－0311
インターネット：http://www.brother.co.jp/direct/

・消耗品については、お買い上げの販売店にてお買い求めください。
・万一、販売店よりお買い求めできない場合は、弊社ダイレクトクラブにて対応させていただきます。
・なお、ご注文の際は、取扱説明書の「ご注文シート」にてFAXなどの方法でご注文願います。
（本機のリストプリント機能のご注文シートをご利用いただき、FAXなどの方法でご注文いただくこともできます。）

brother

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。現地での各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が本製品に適切でないおそれがあります。
海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。

version②